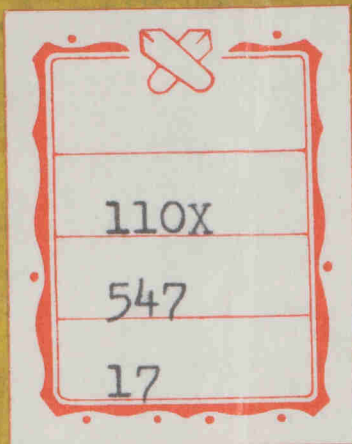
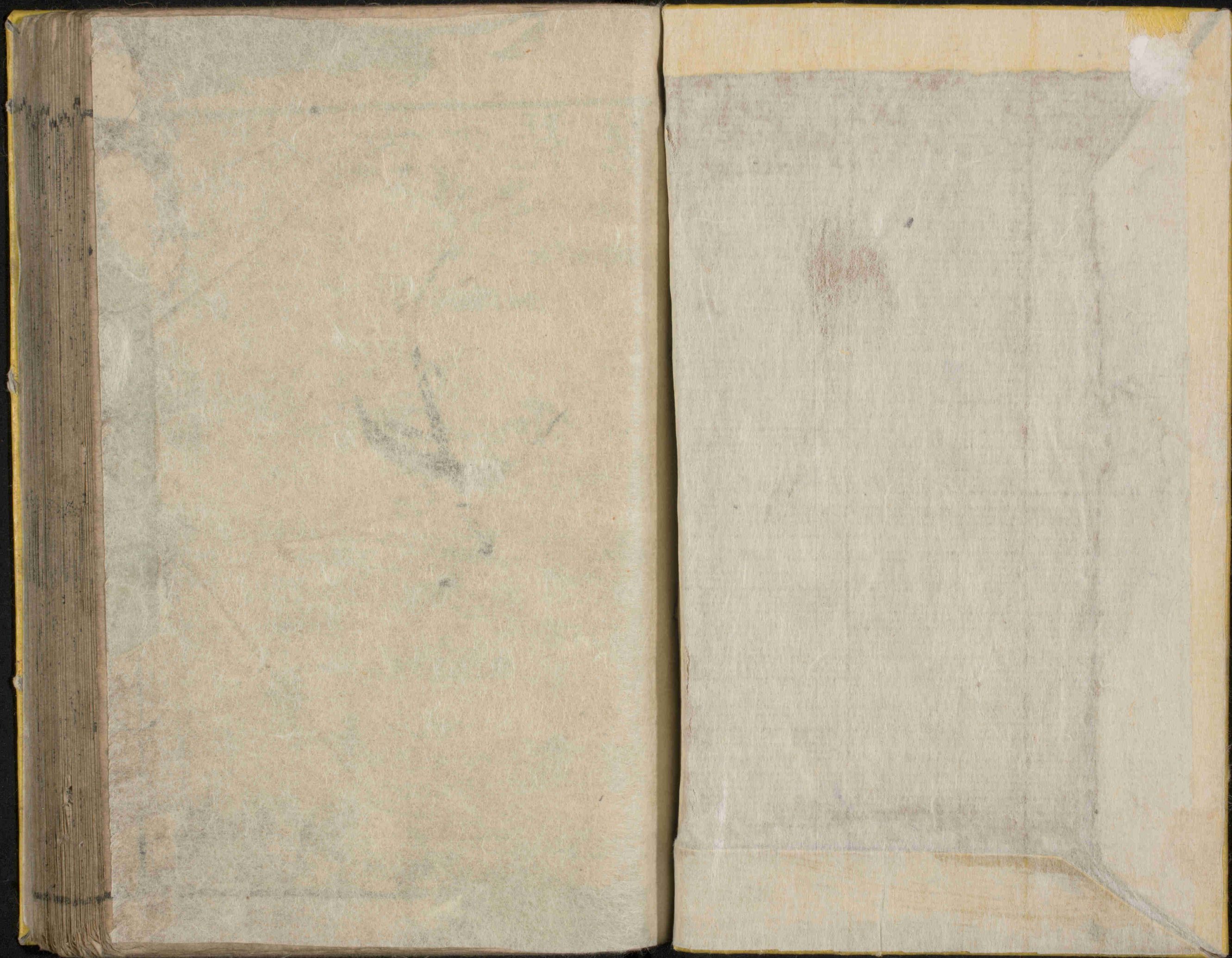






東海兩道中懷寶圖

琵琶

湖風景



凡例

一此兩道中記上方乃方東海道を寫し下の方
 本曾路と爲して何きの乃を以て重寶とす
 一紙を牧の面と一宿と定めて是を以て
 一東海及びよりを煩う記しあるはよりを以て
 一東海道とよりを煩う記しあるはよりを以て
 一本曾路も是より煩うてあるを以て
 一中仙道修智路とよりを煩う記しあるはよりを以て

目録

奥の書出するもの且々多く具の見安くしむ

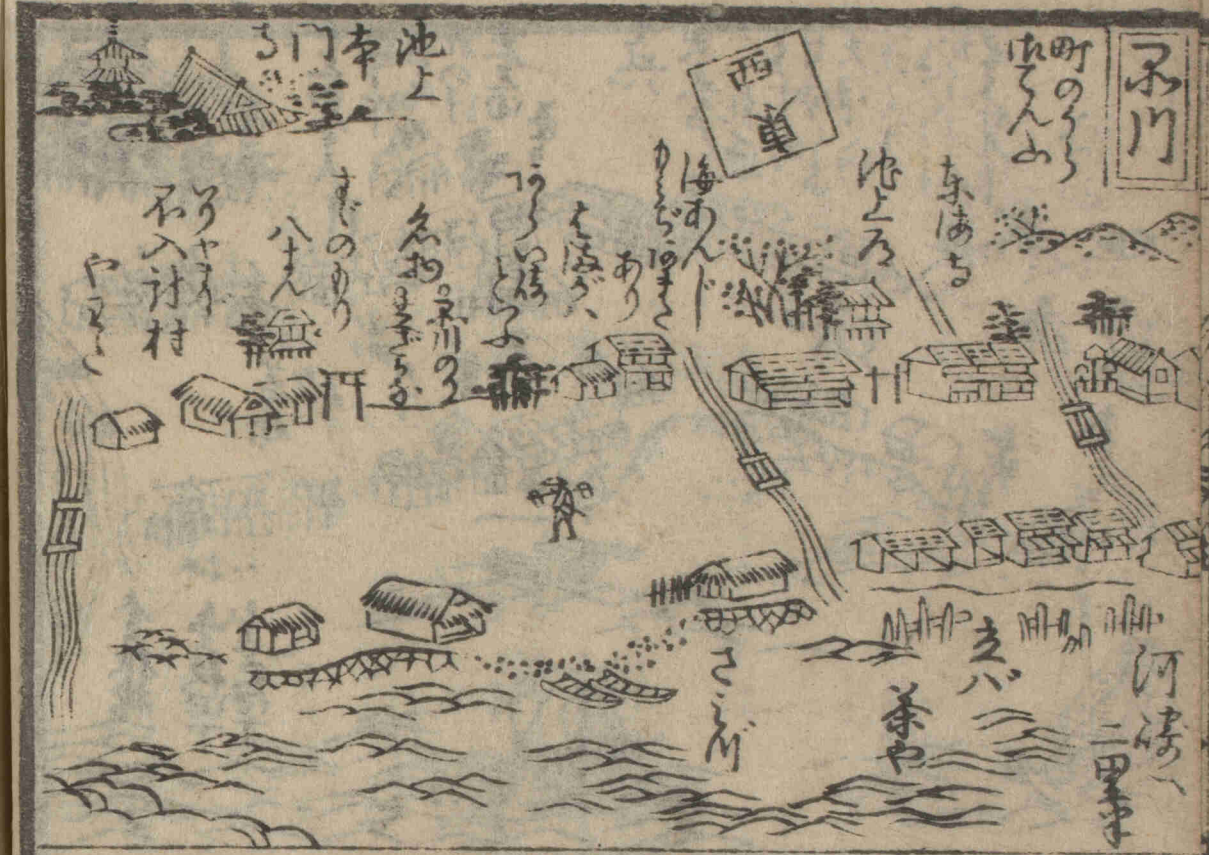
中仙道 幸寺 糸宮道 幸寺 鎮倉 六丁

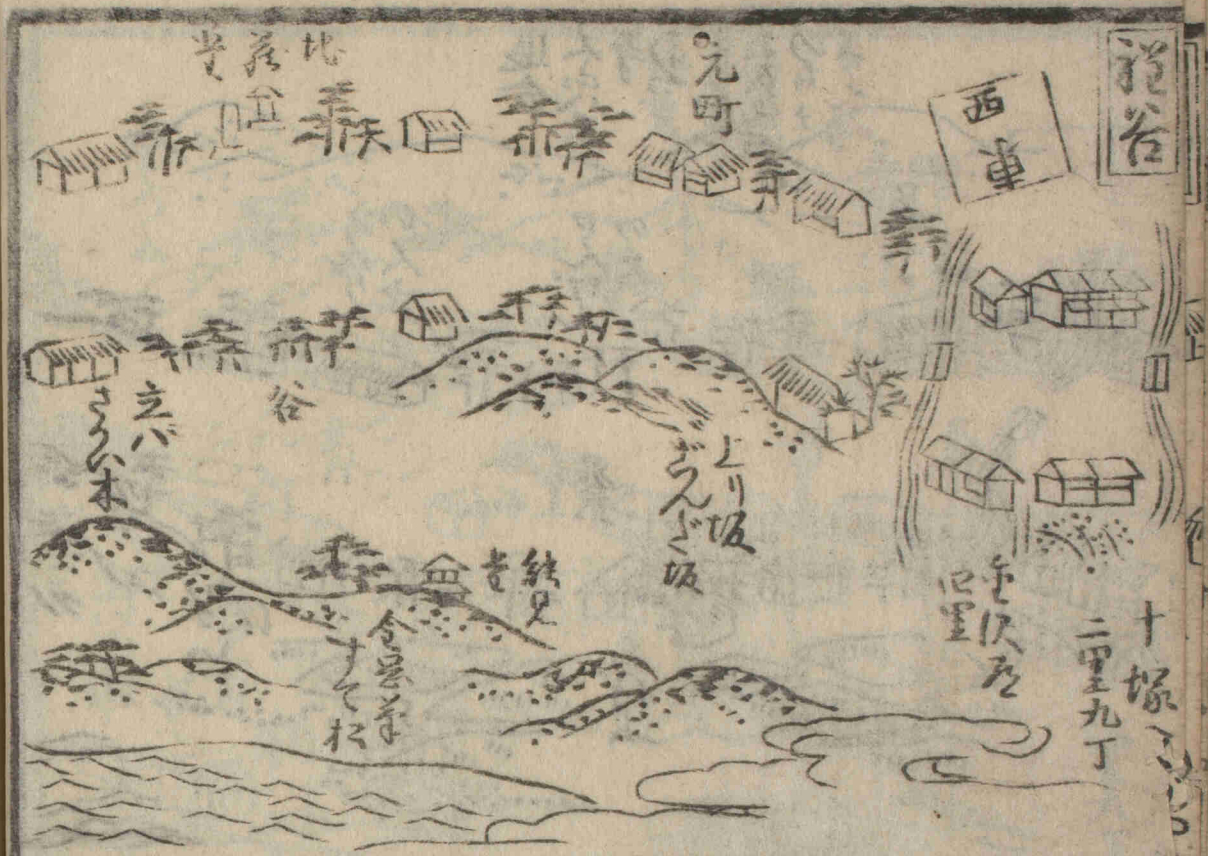
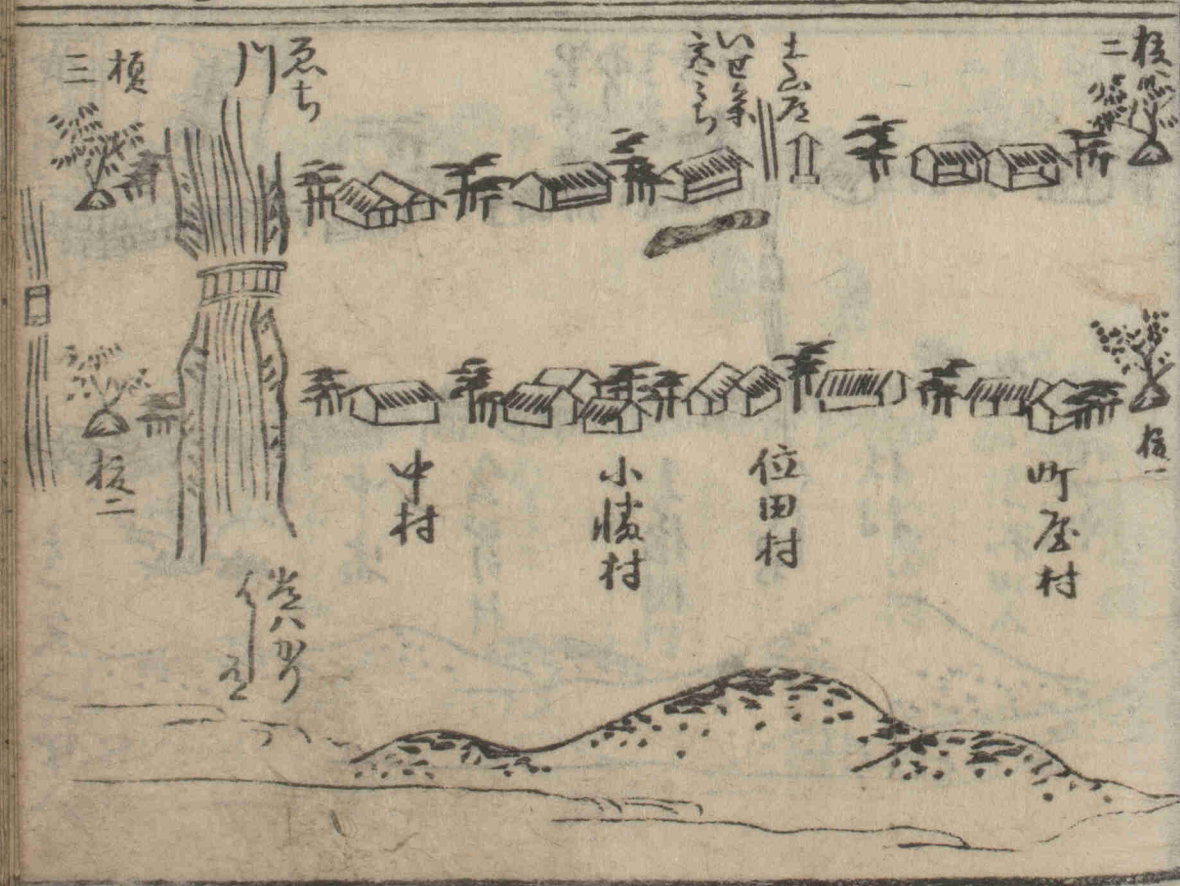
箱根湯 六丁 善光寺 聖寺 秋葉 六丁

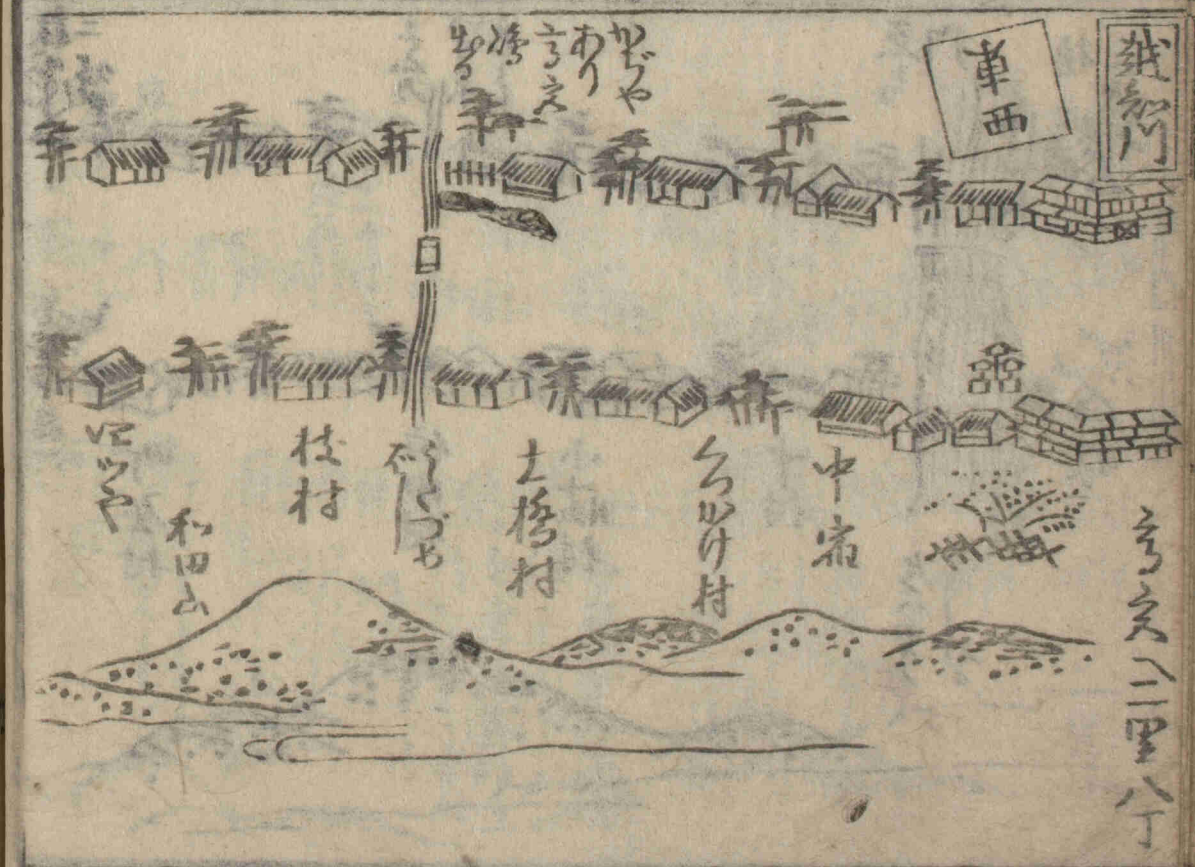
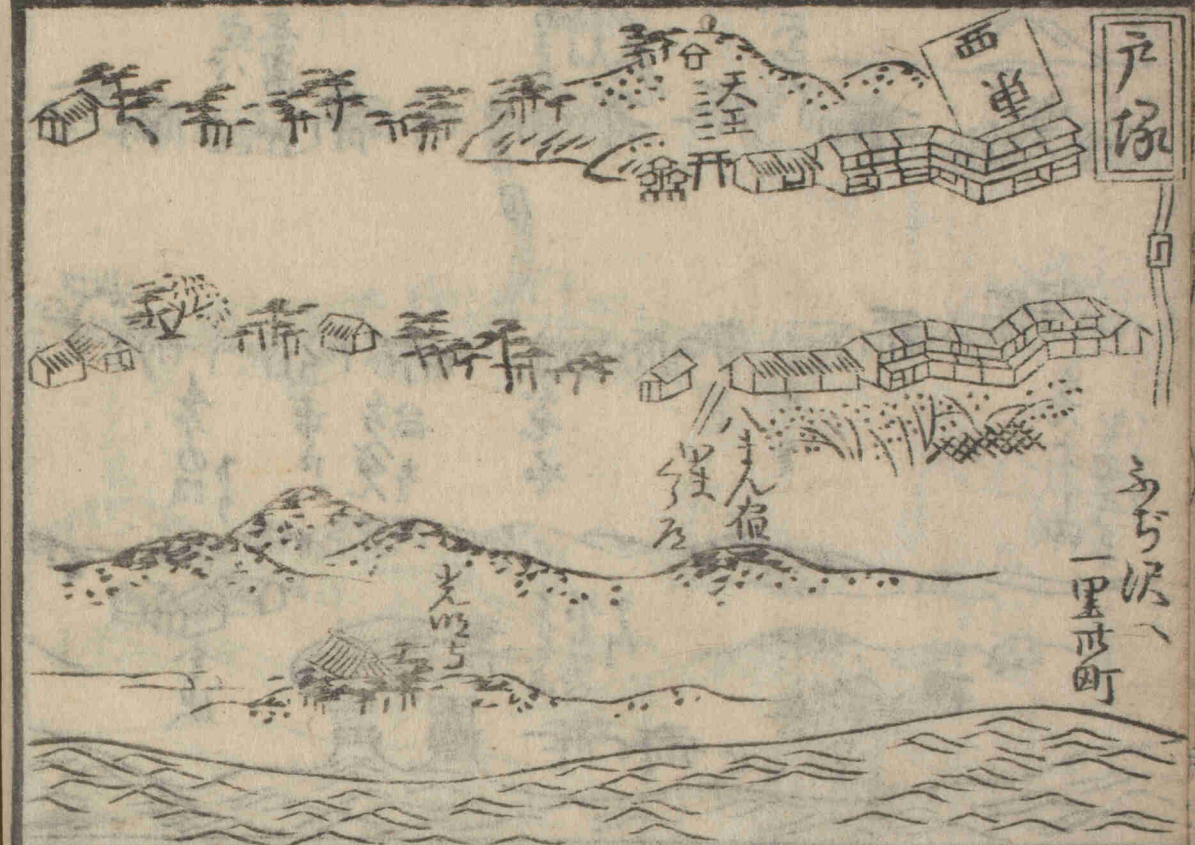
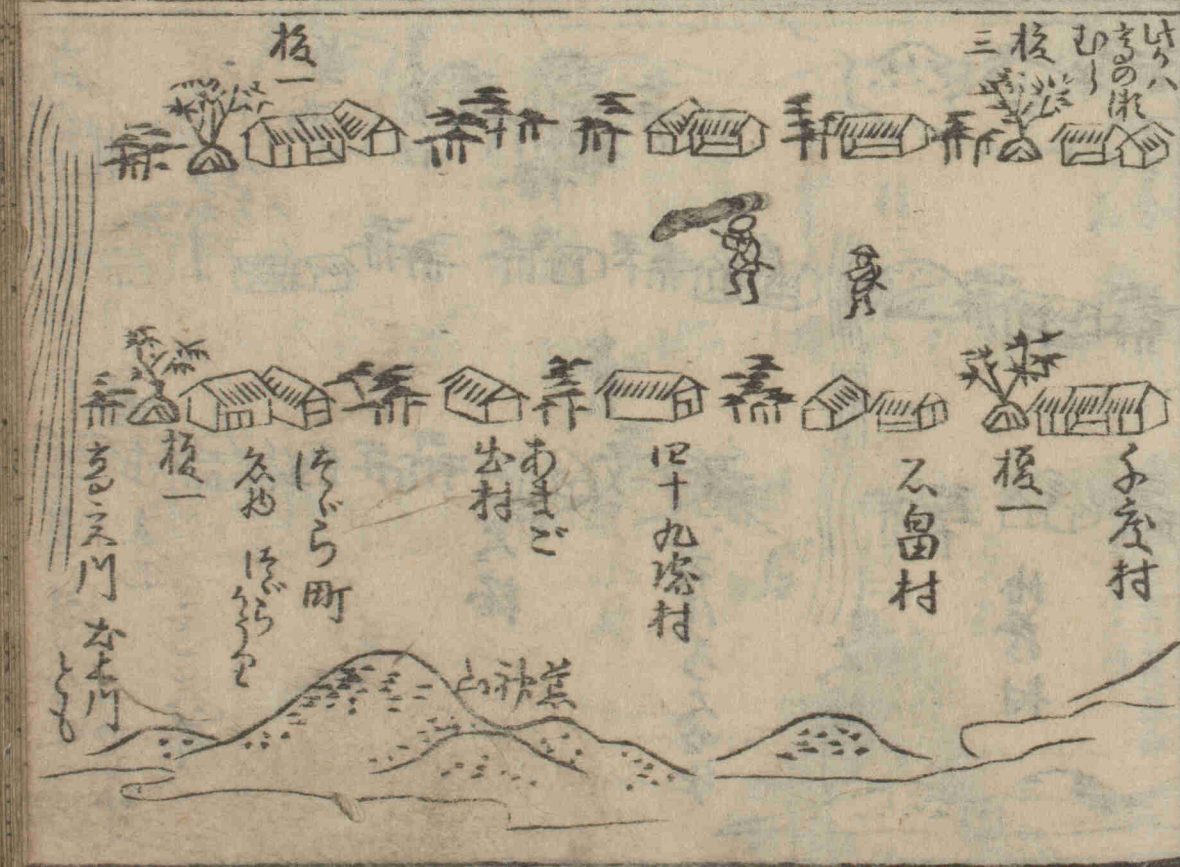
本坂越 幸寺 伏見廻 幸寺 日光 六丁

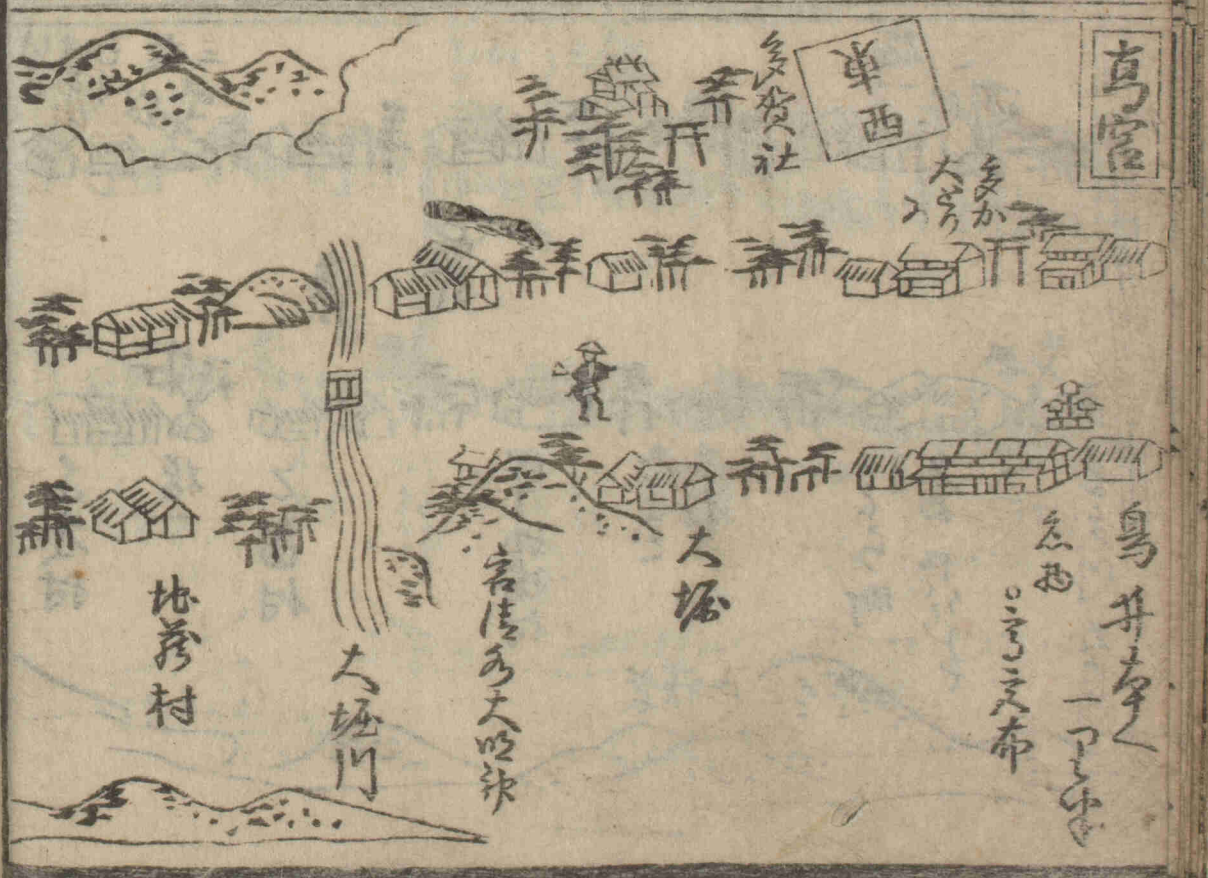
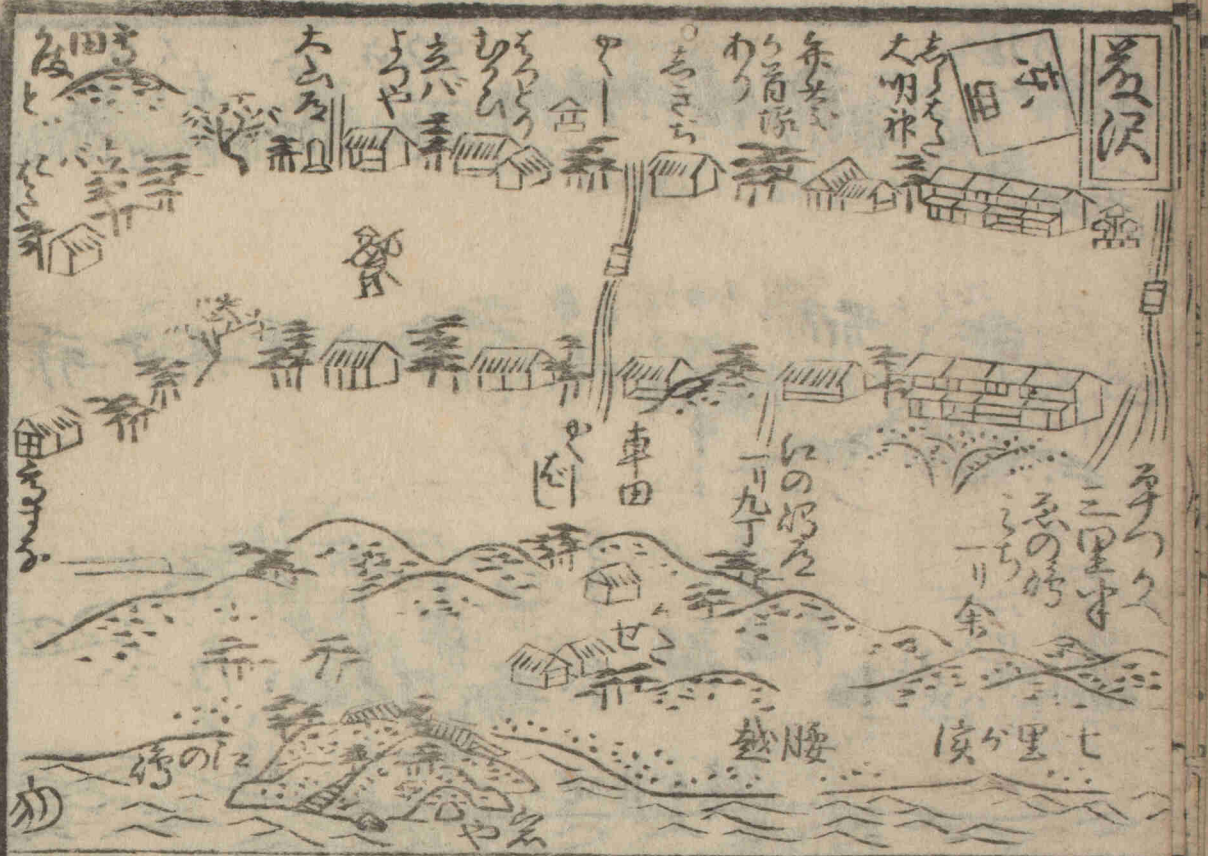
名寄 幸寺 六丁 大津 六丁
 本坂越 幸寺 六丁 大坂道 六丁

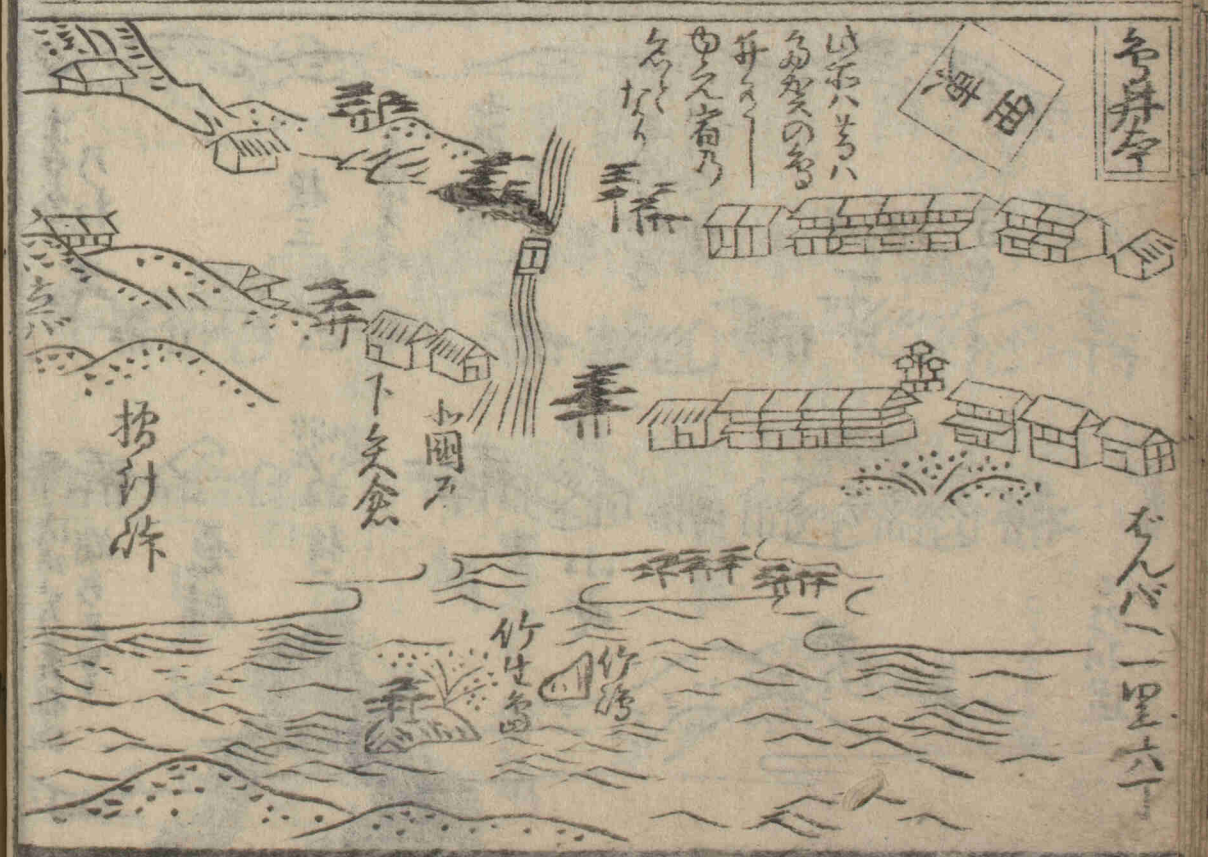
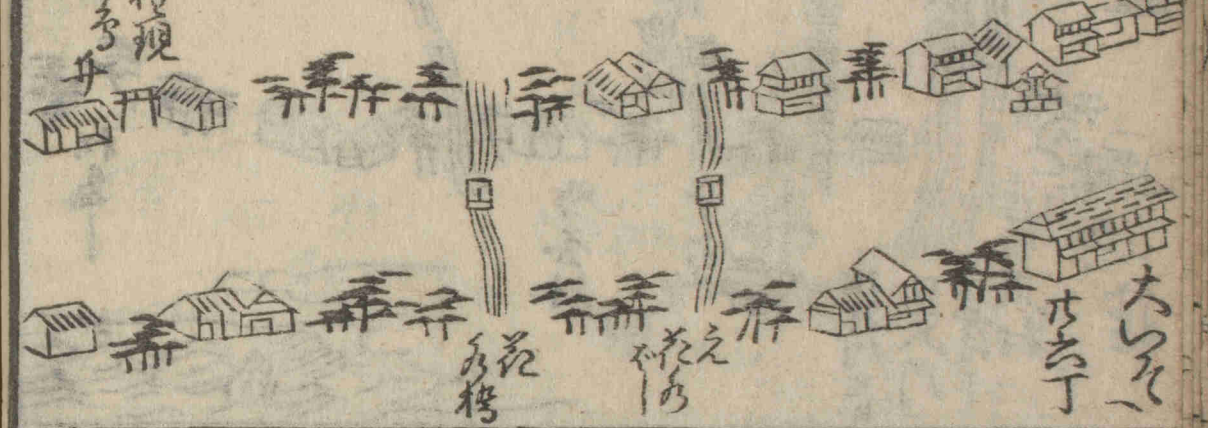
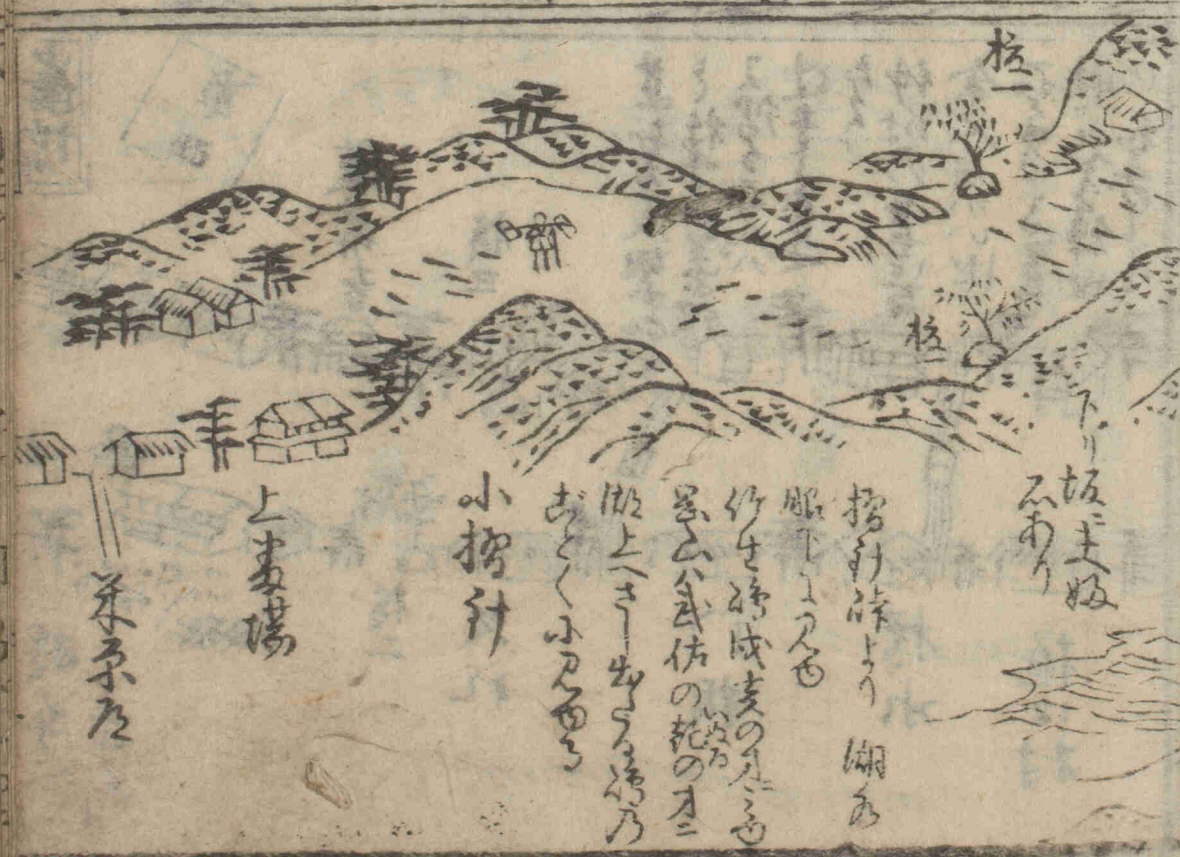












平塚

名井

せんぱー里六丁

平

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

子

田

大

丁

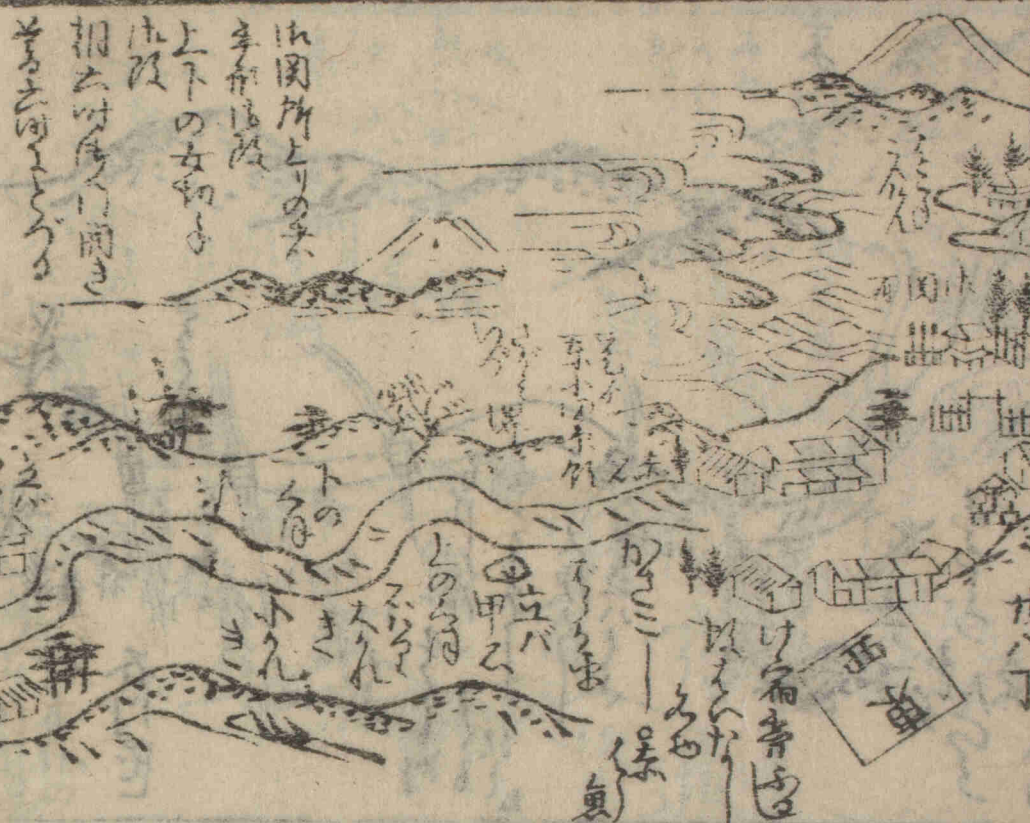
子

田

大

丁

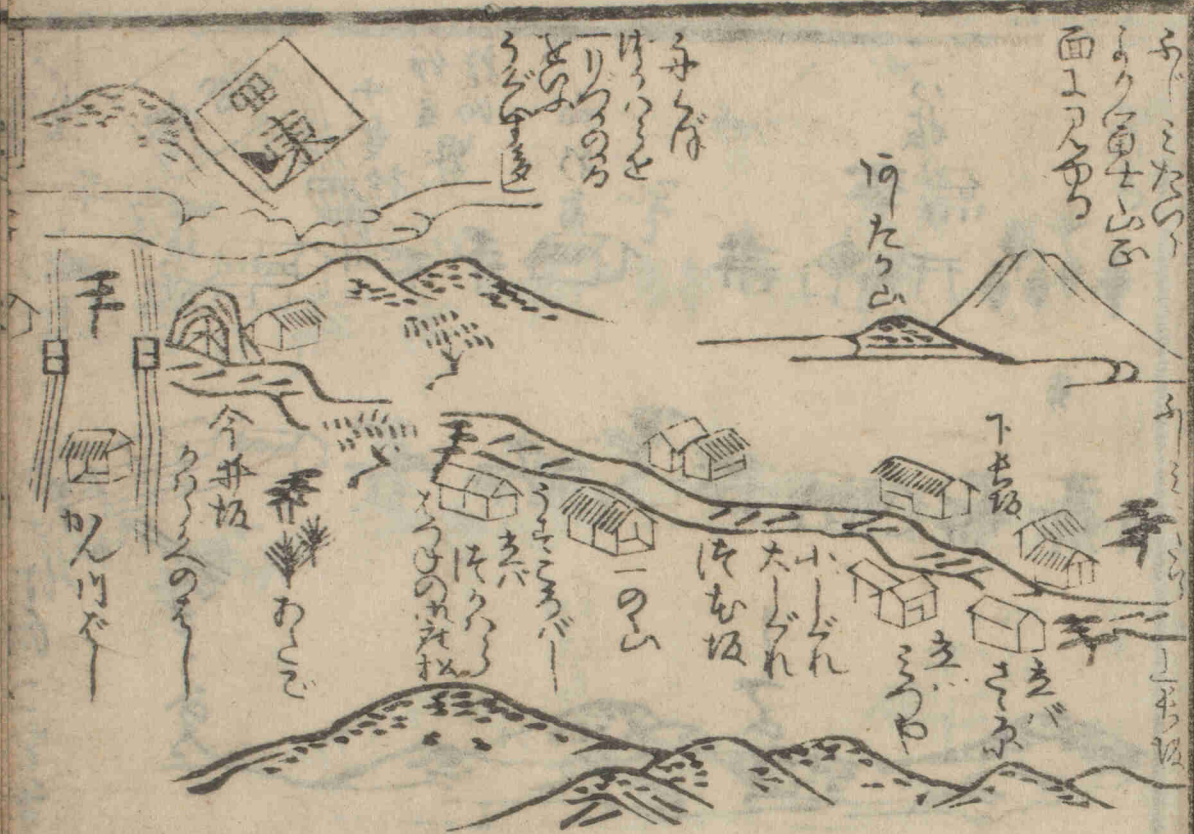
多摩川



柏原

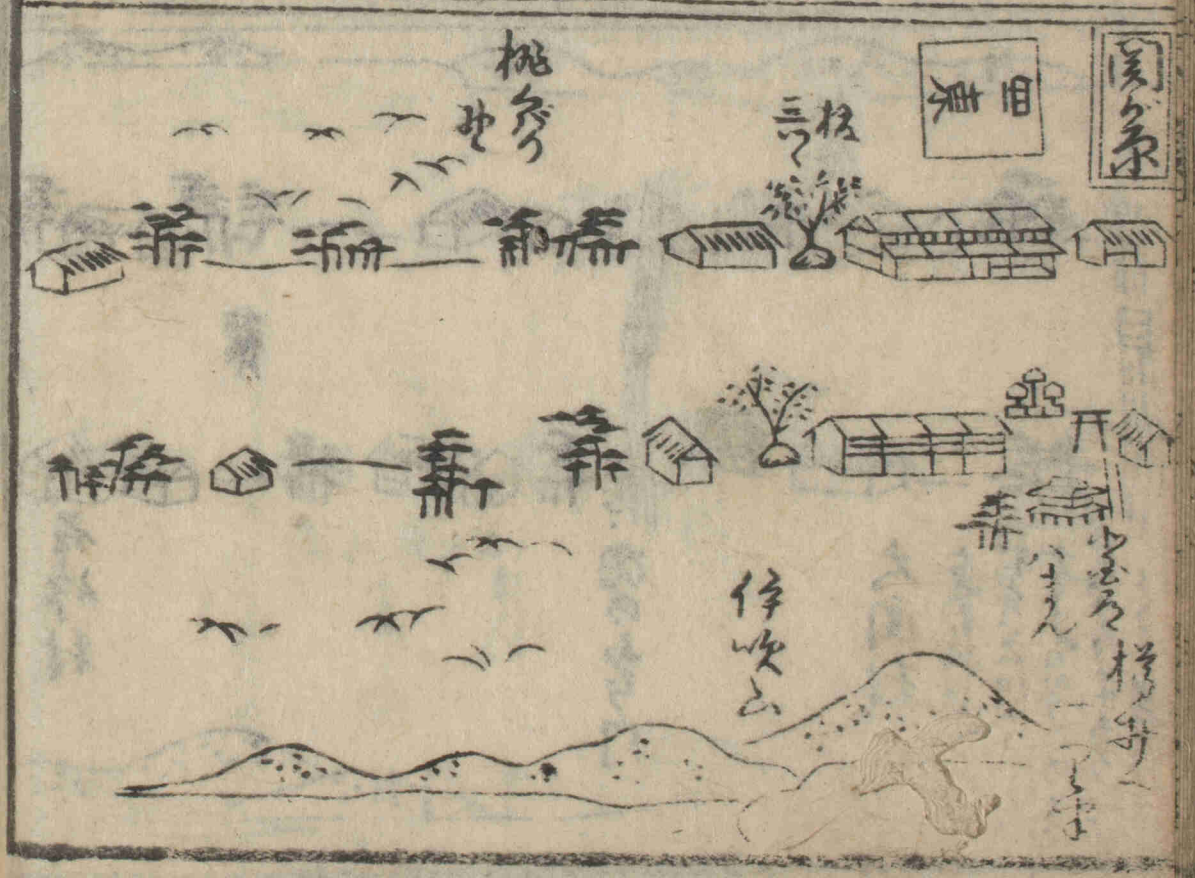
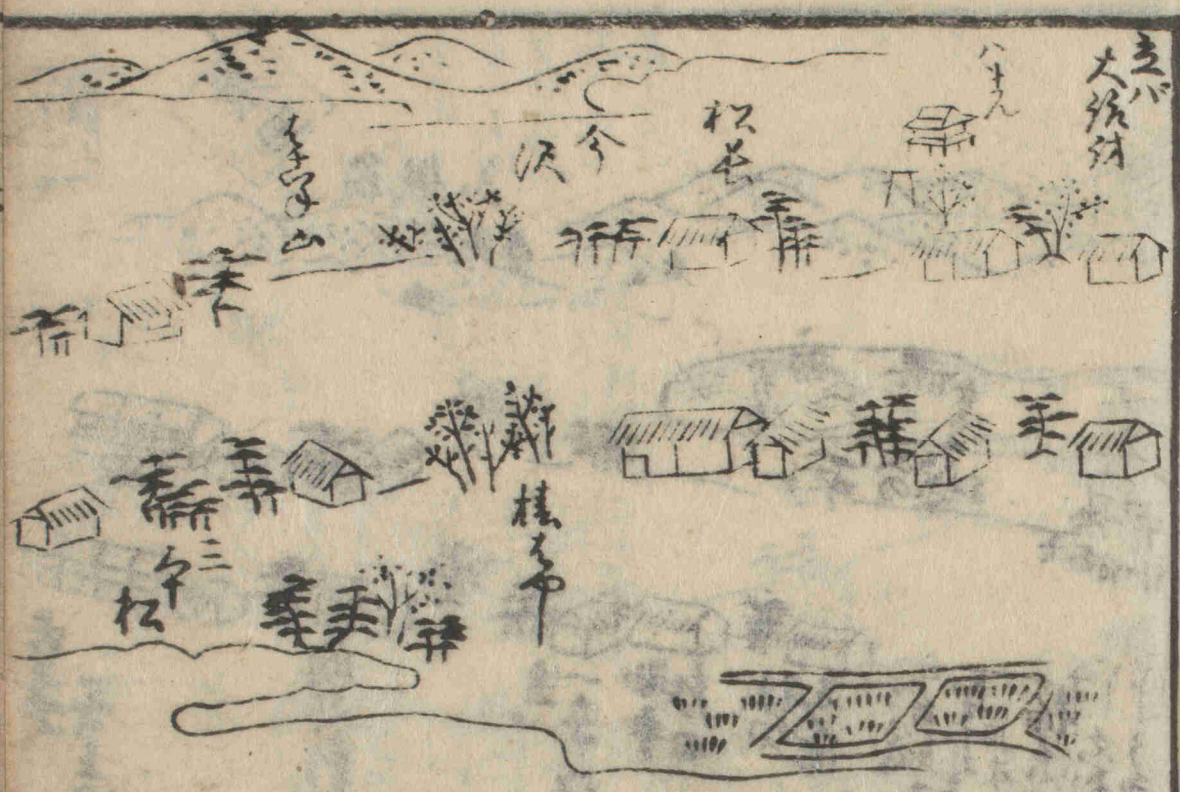


多摩川



柏原

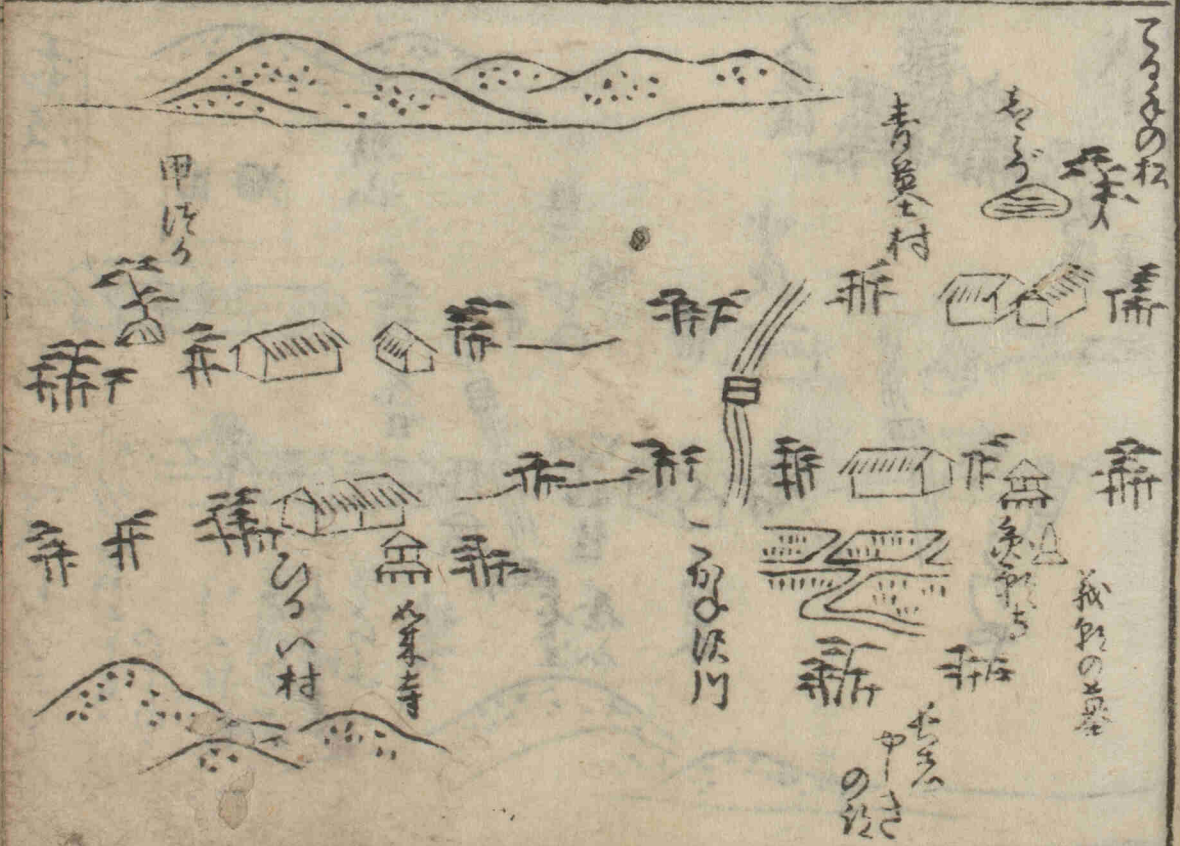




博學

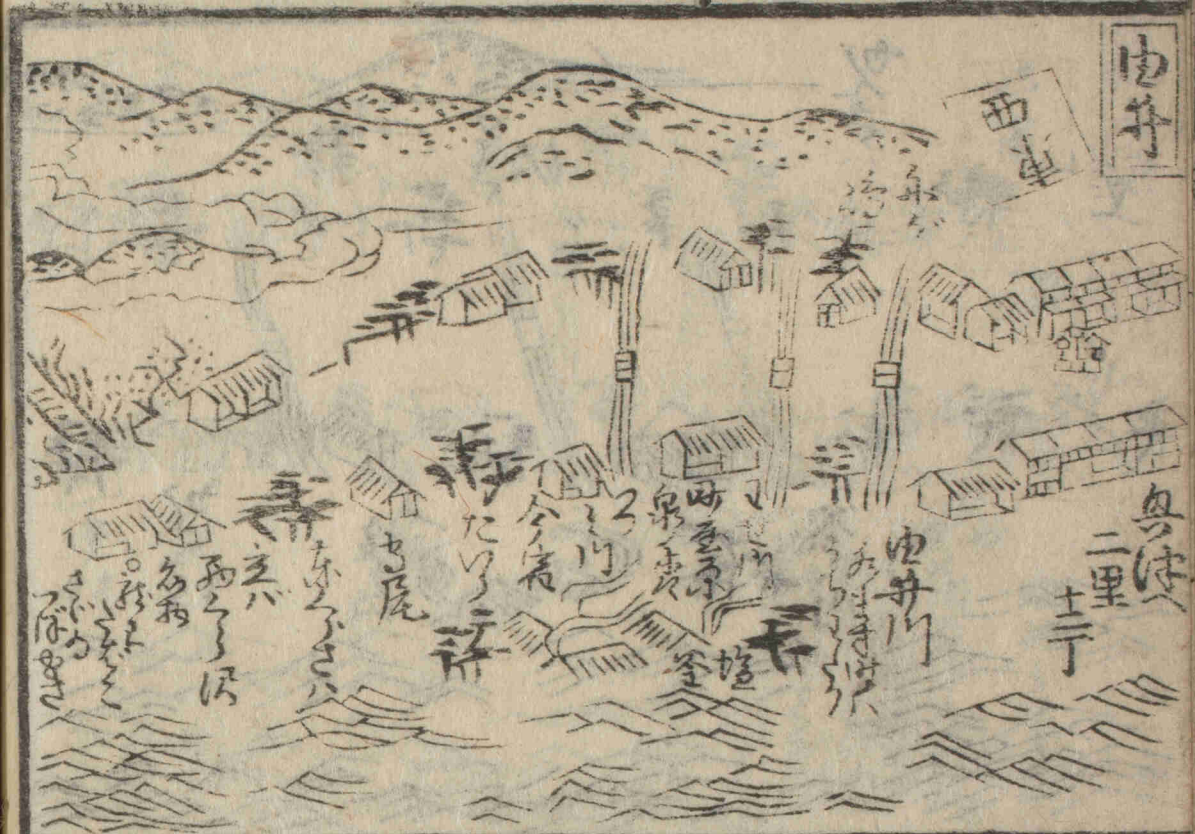


重刊

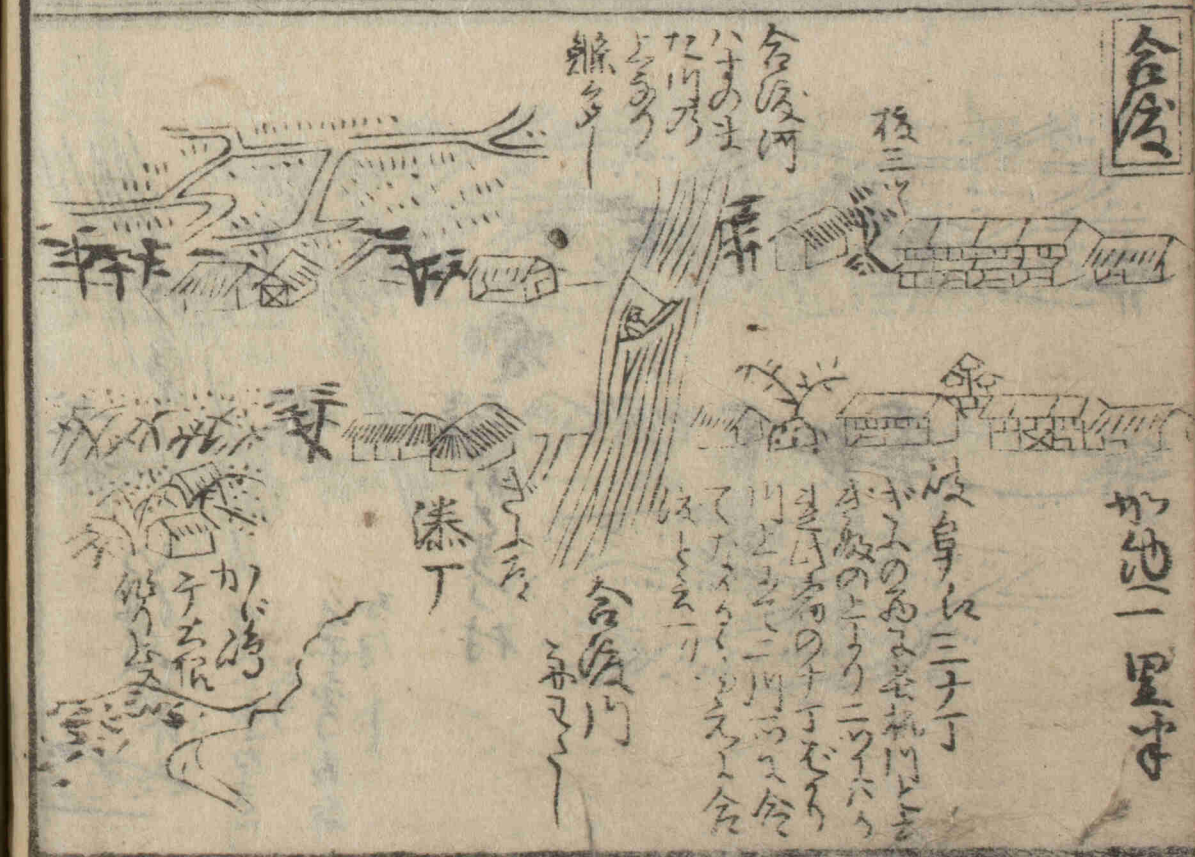


由井

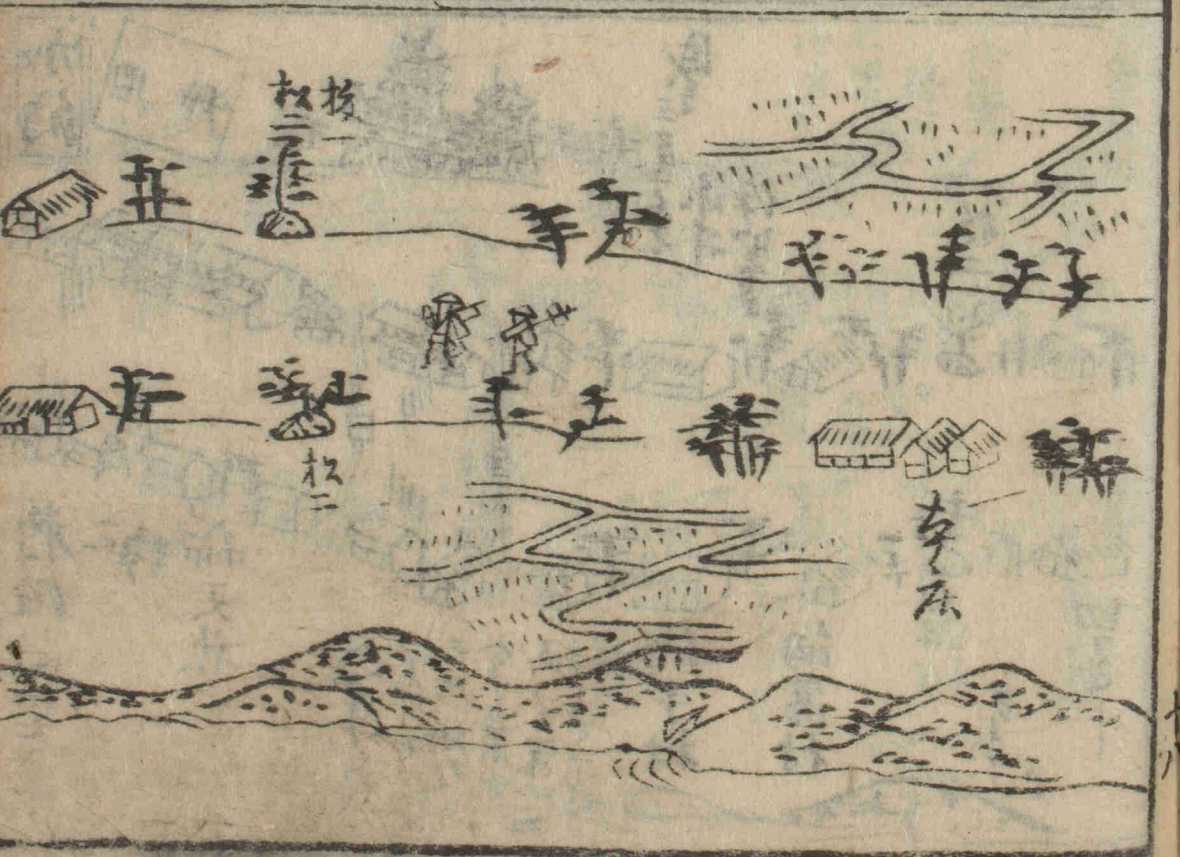
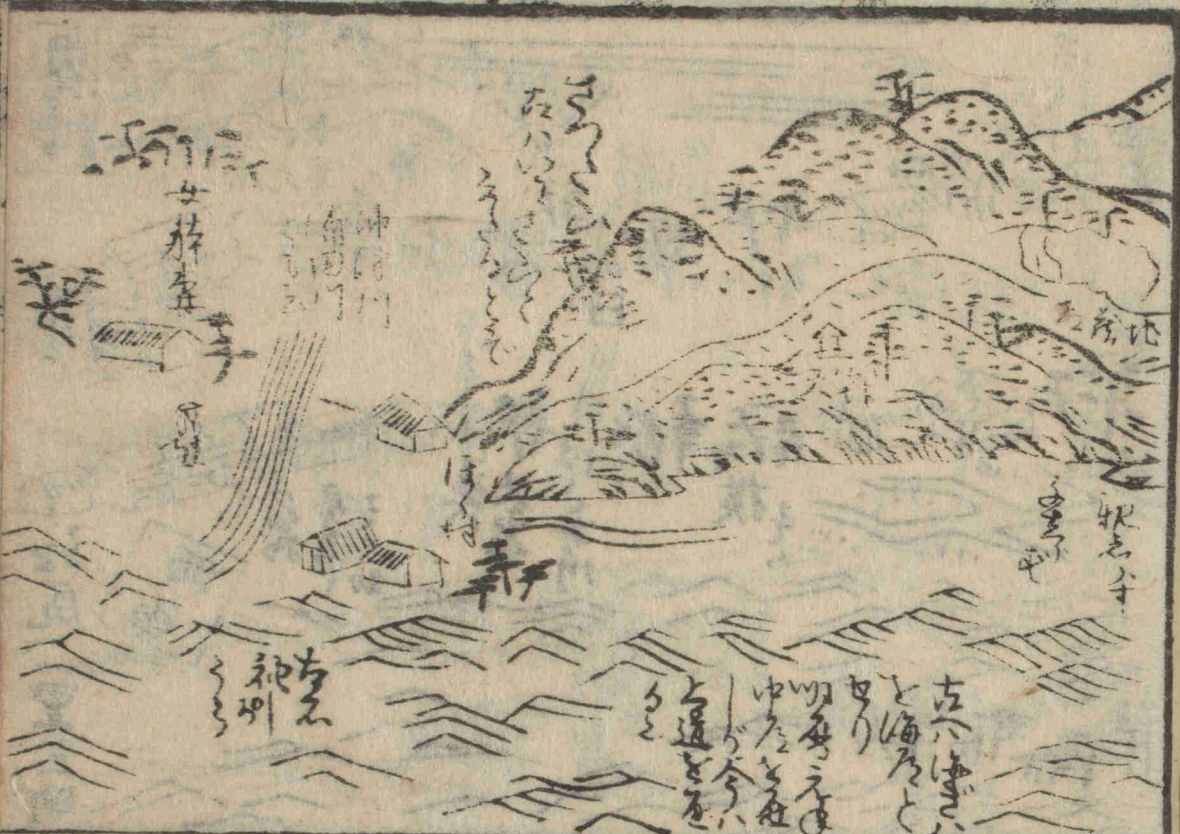
西車



合



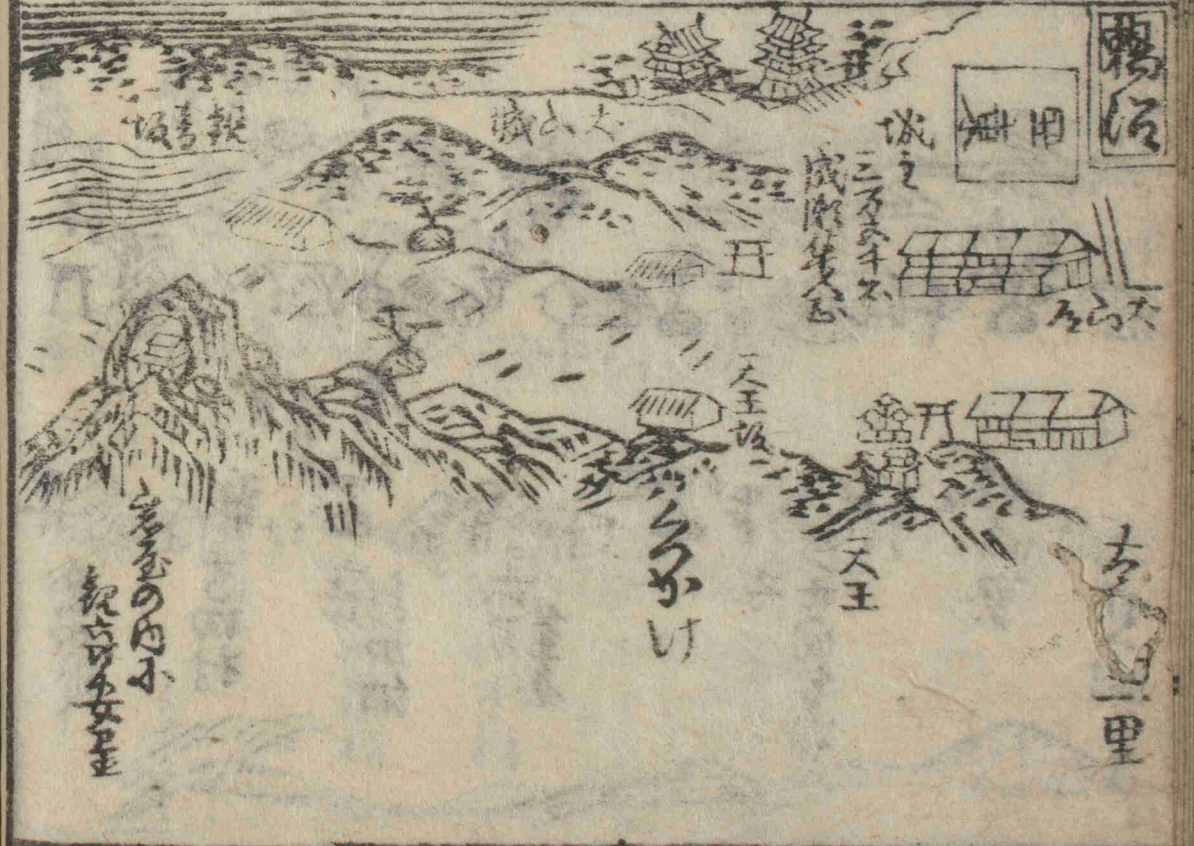
加地二里す



江尻



鶴沼



府中

田舎



大田

田舎



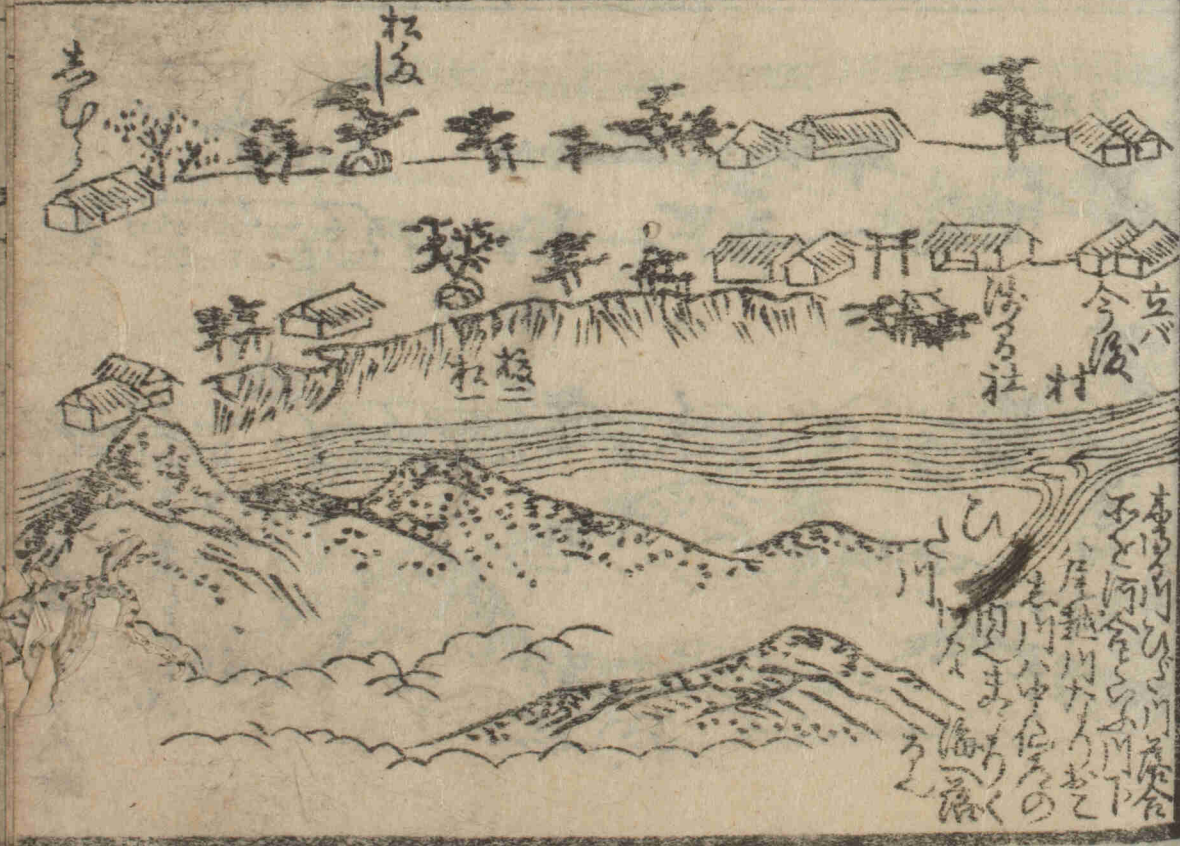
あひ川

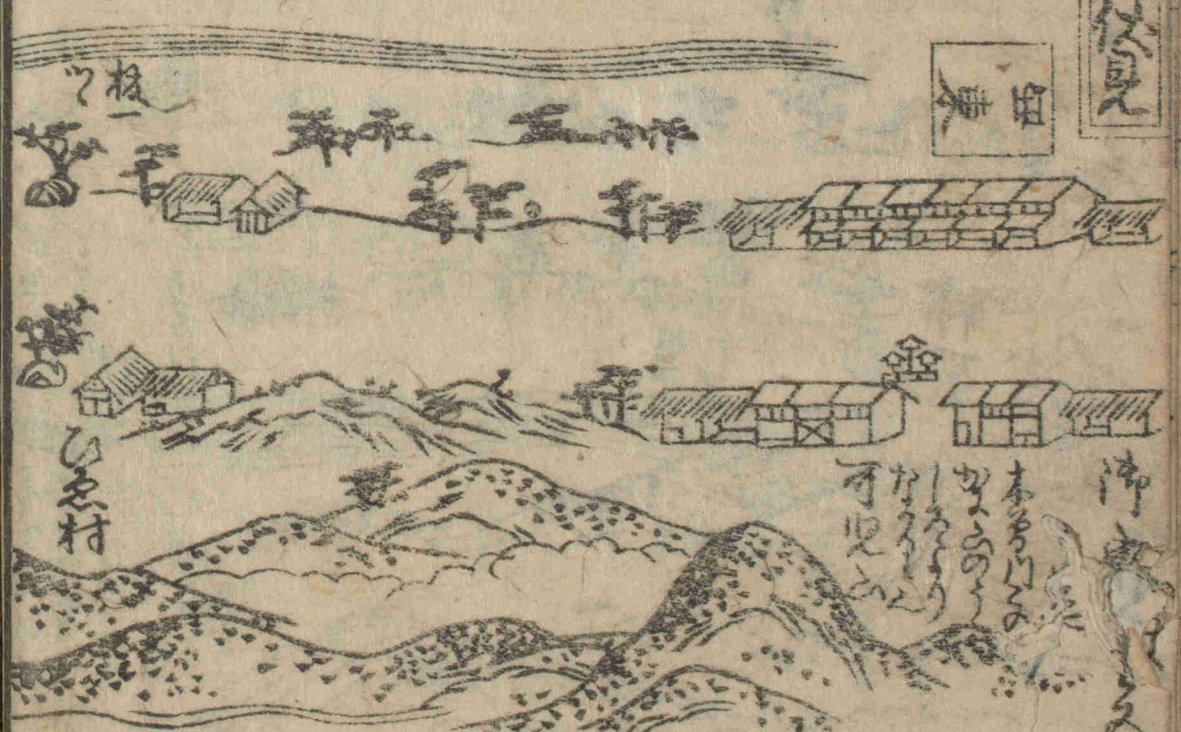
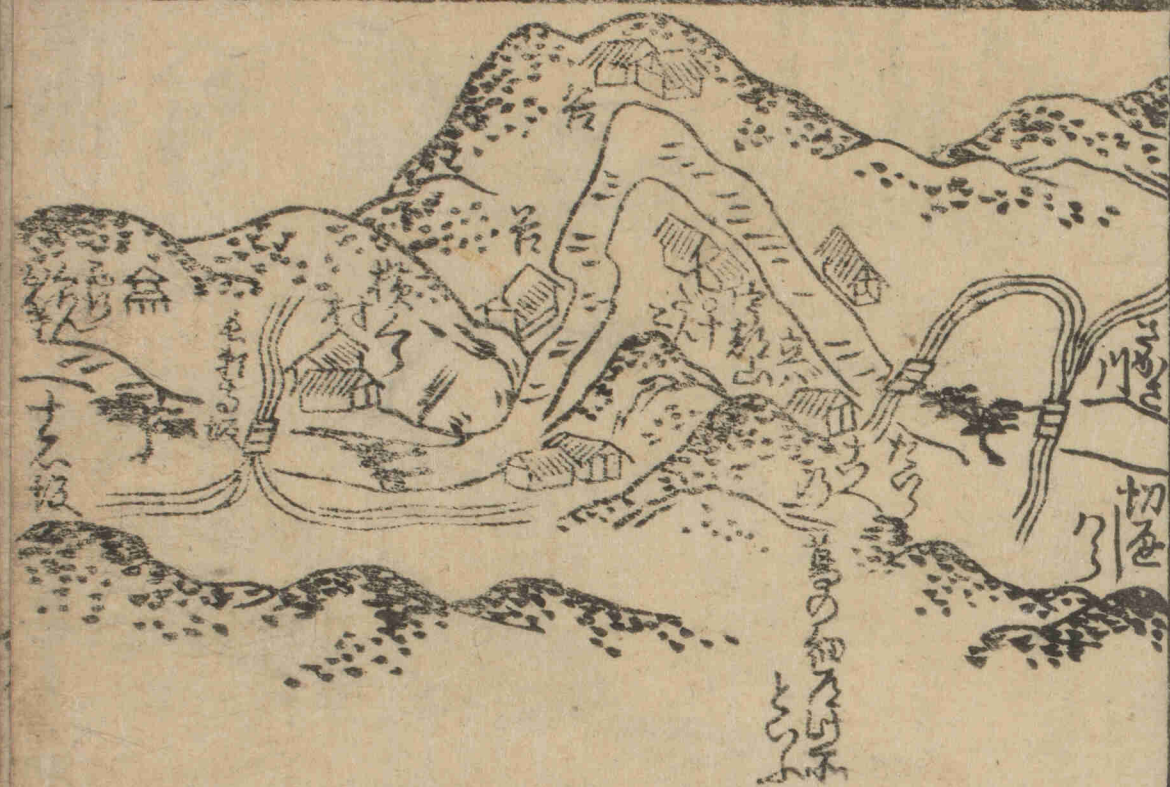
あひ川

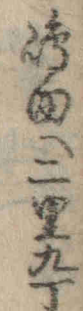


あひ川

あひ川







林

2

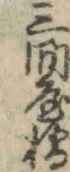
五

細



け宿まで乃ち
より改め

25



...

14



五ノ
 一ノ
 二ノ
 三ノ
 四ノ
 五ノ
 六ノ
 七ノ
 八ノ
 九ノ
 十ノ
 十一ノ
 十二ノ
 十三ノ
 十四ノ
 十五ノ
 十六ノ
 十七ノ
 十八ノ
 十九ノ
 二十ノ
 二十一ノ
 二十二ノ
 二十三ノ
 二十四ノ
 二十五ノ
 二十六ノ
 二十七ノ
 二十八ノ
 二十九ノ
 三十ノ
 三十一ノ
 三十二ノ
 三十三ノ
 三十四ノ
 三十五ノ
 三十六ノ
 三十七ノ
 三十八ノ
 三十九ノ
 四十ノ
 四十一ノ
 四十二ノ
 四十三ノ
 四十四ノ
 四十五ノ
 四十六ノ
 四十七ノ
 四十八ノ
 四十九ノ
 五十ノ
 五十一ノ
 五十二ノ
 五十三ノ
 五十四ノ
 五十五ノ
 五十六ノ
 五十七ノ
 五十八ノ
 五十九ノ
 六十ノ
 六十一ノ
 六十二ノ
 六十三ノ
 六十四ノ
 六十五ノ
 六十六ノ
 六十七ノ
 六十八ノ
 六十九ノ
 七十ノ
 七十一ノ
 七十二ノ
 七十三ノ
 七十四ノ
 七十五ノ
 七十六ノ
 七十七ノ
 七十八ノ
 七十九ノ
 八十ノ
 八十一ノ
 八十二ノ
 八十三ノ
 八十四ノ
 八十五ノ
 八十六ノ
 八十七ノ
 八十八ノ
 八十九ノ
 九十ノ
 九十一ノ
 九十二ノ
 九十三ノ
 九十四ノ
 九十五ノ
 九十六ノ
 九十七ノ
 九十八ノ
 九十九ノ
 百ノ

河田



金谷入里

大久保



大井の里

河田
遠江
の界





上三ノ宮
山崎
大井
新井



新井
山崎
大井

新井
山崎
大井

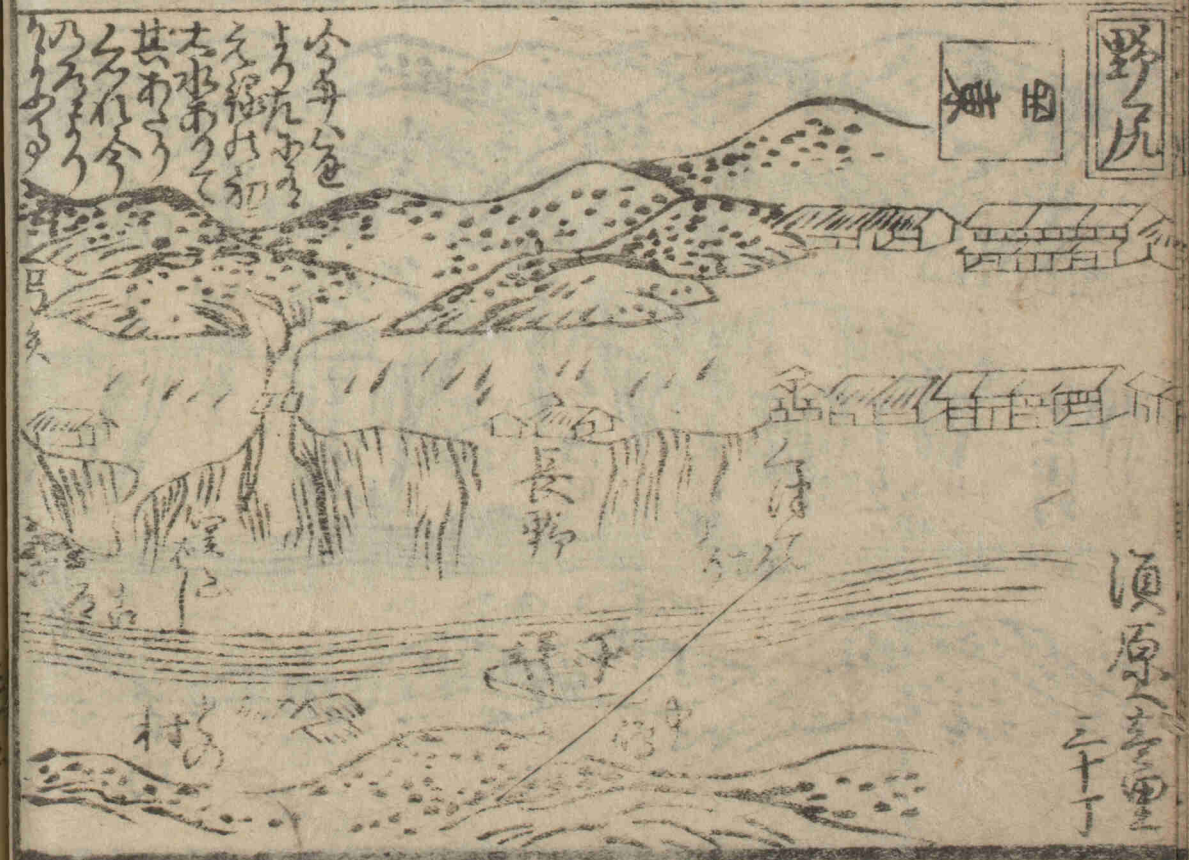
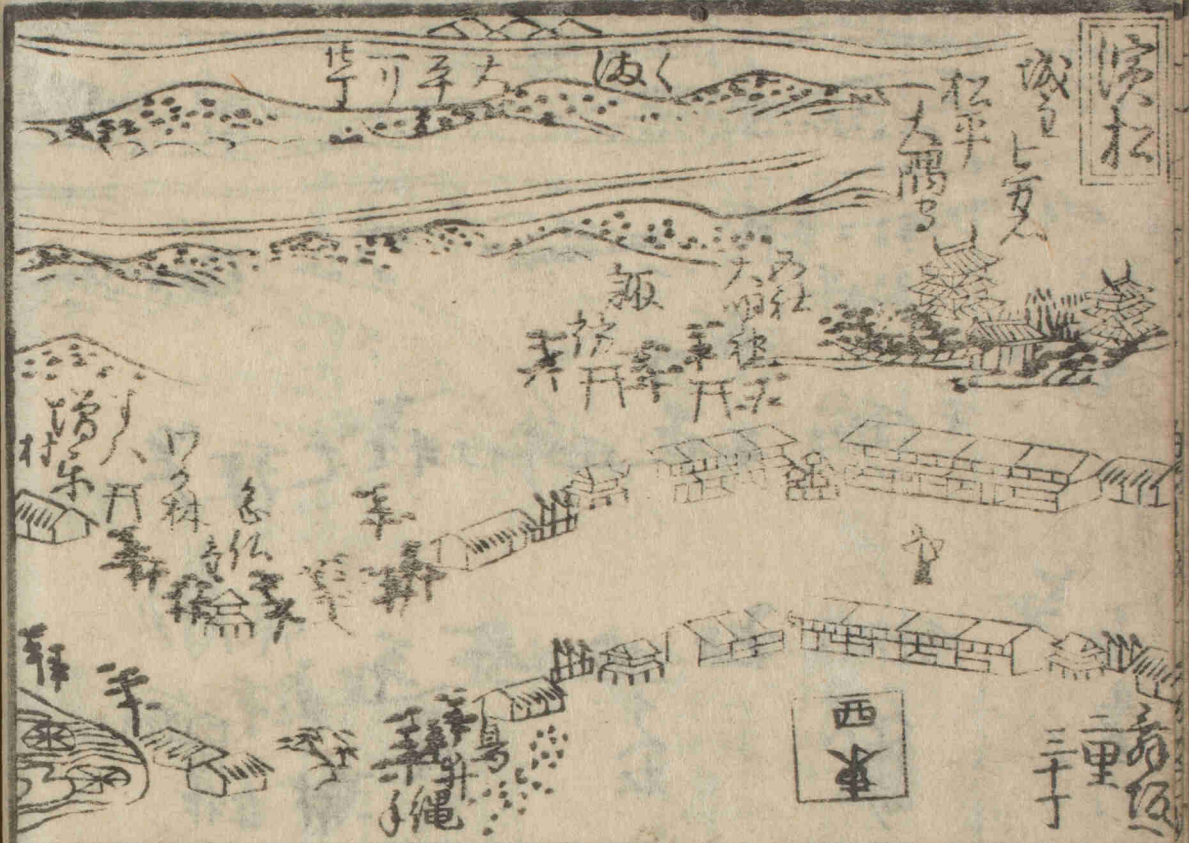
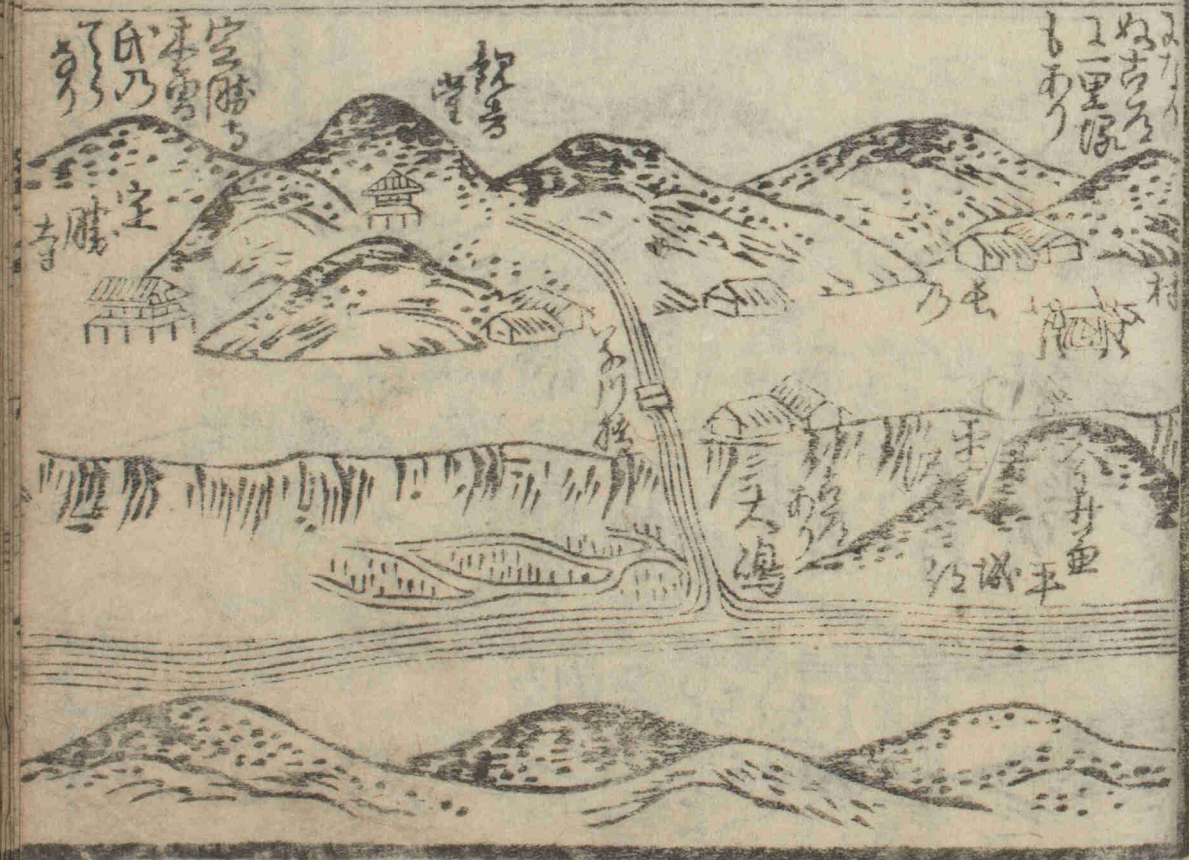
新井

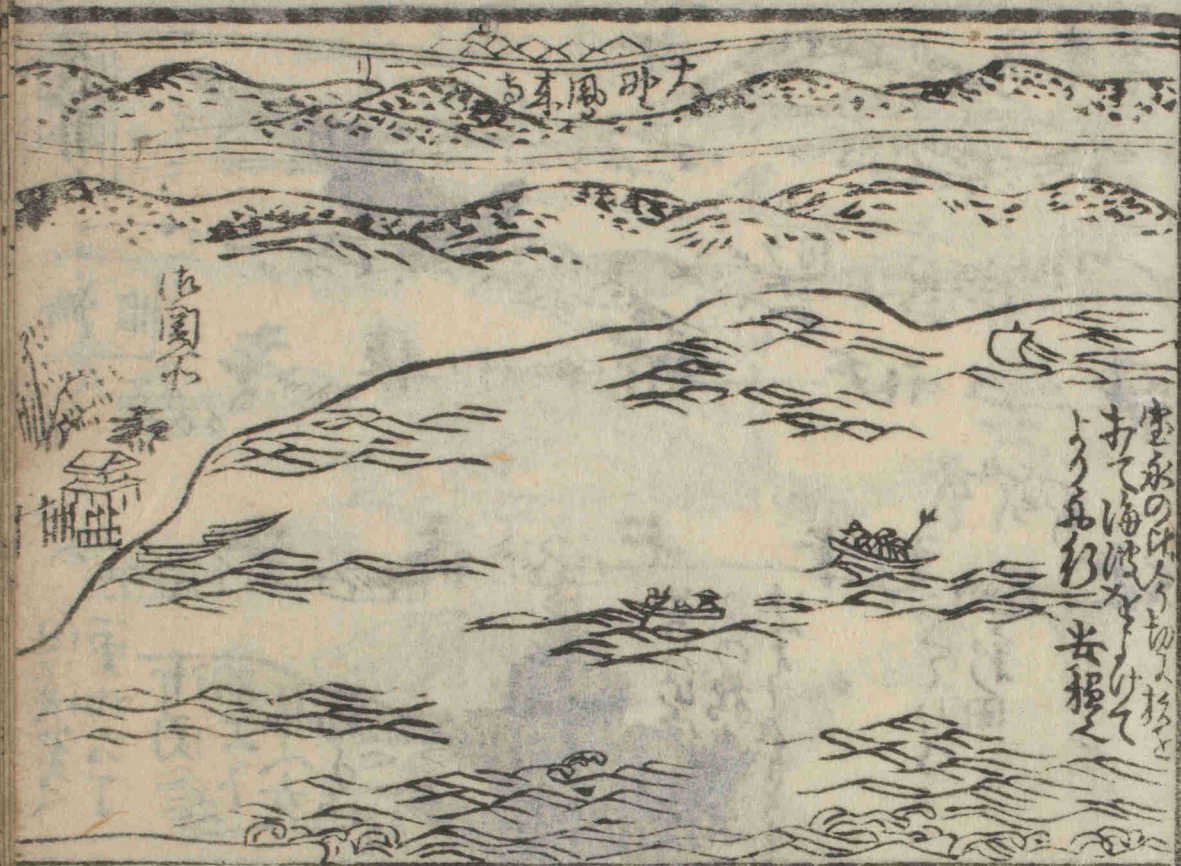
新井

新井









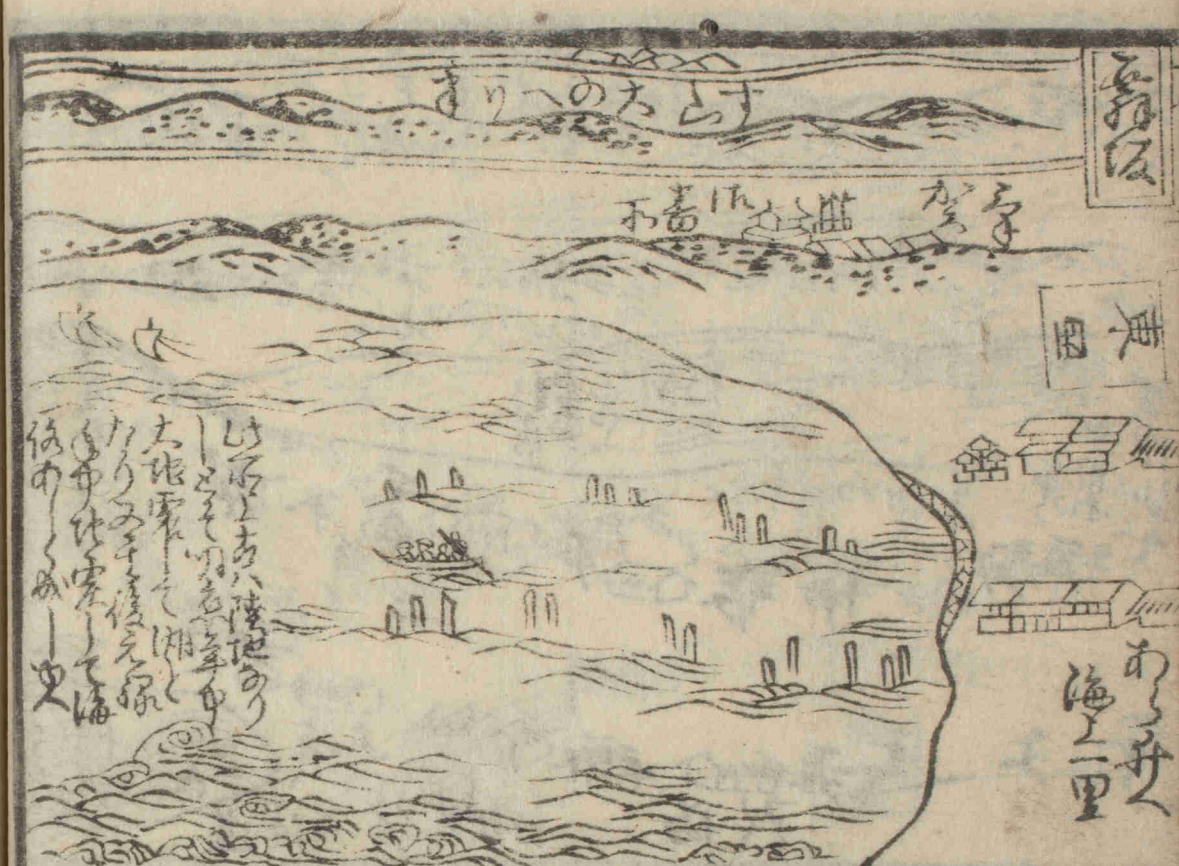
大風吹来
おて海波をうけて
ようねね 長程



奇景

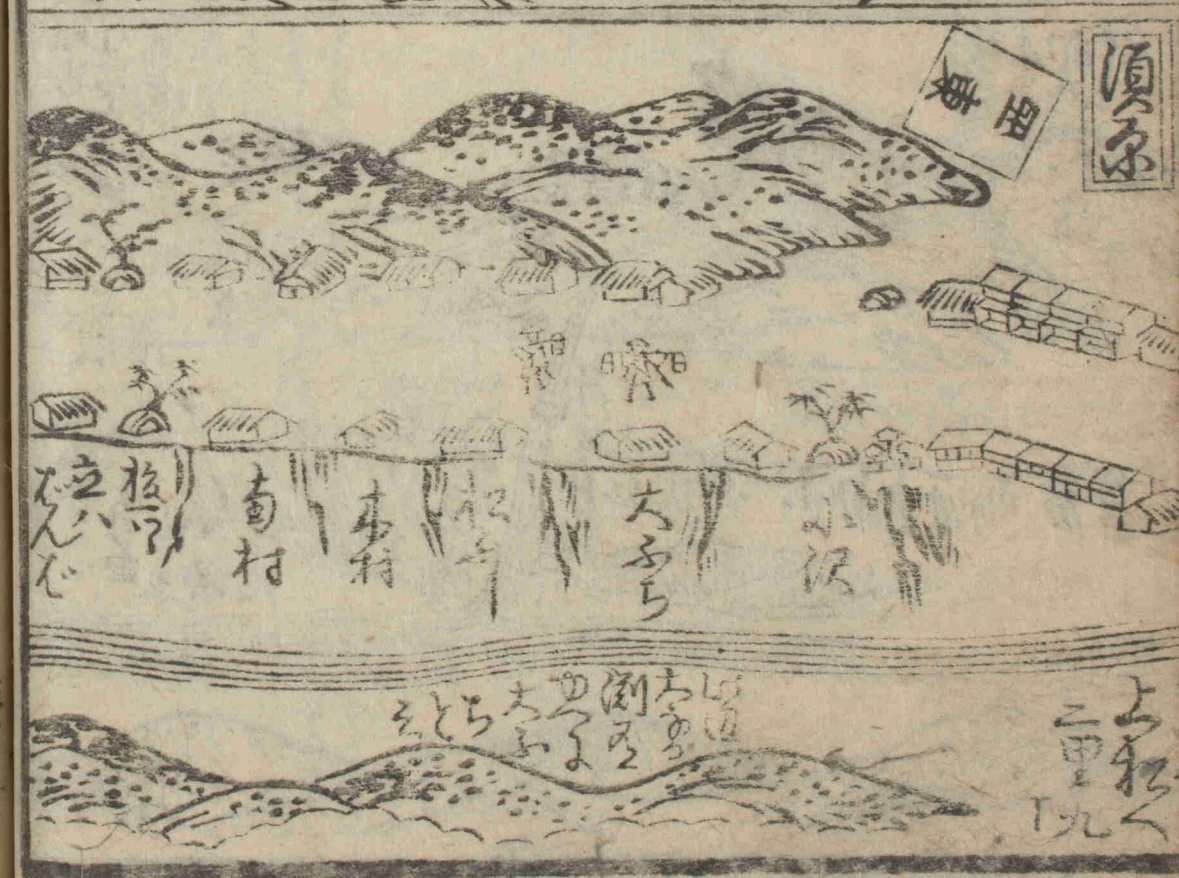
奇景
おて海波をうけて
ようねね 長程

奇景
おて海波をうけて
ようねね 長程



大風吹来

大風吹来
おて海波をうけて
ようねね 長程

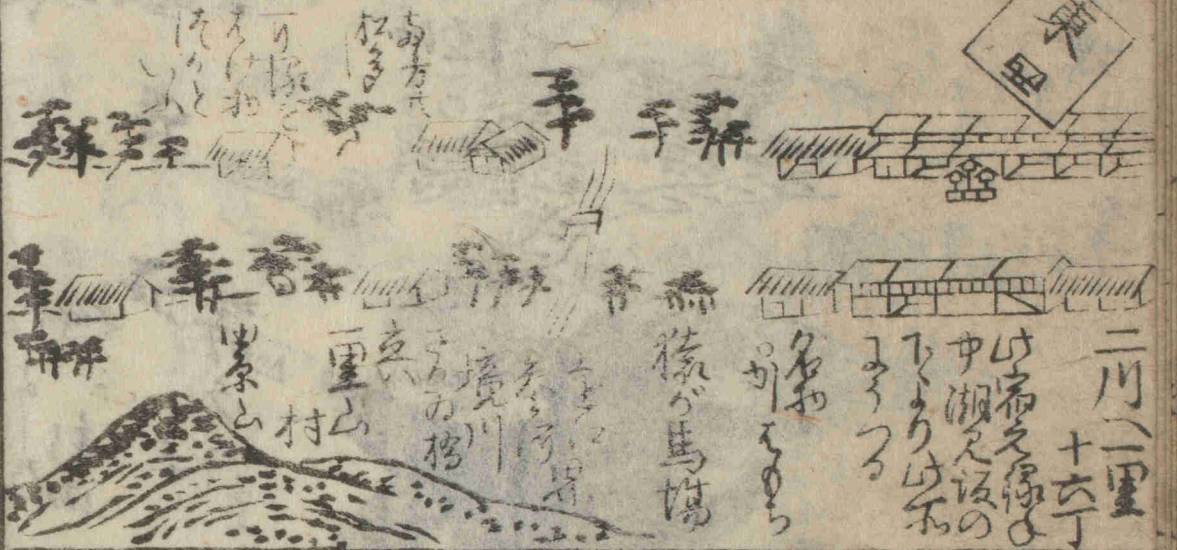


大風吹来

大風吹来
おて海波をうけて
ようねね 長程

大風吹来
おて海波をうけて
ようねね 長程

新城



乃越二里

上田八
仲之
義
志
居
信
也

奥疆

山村

西



西



石

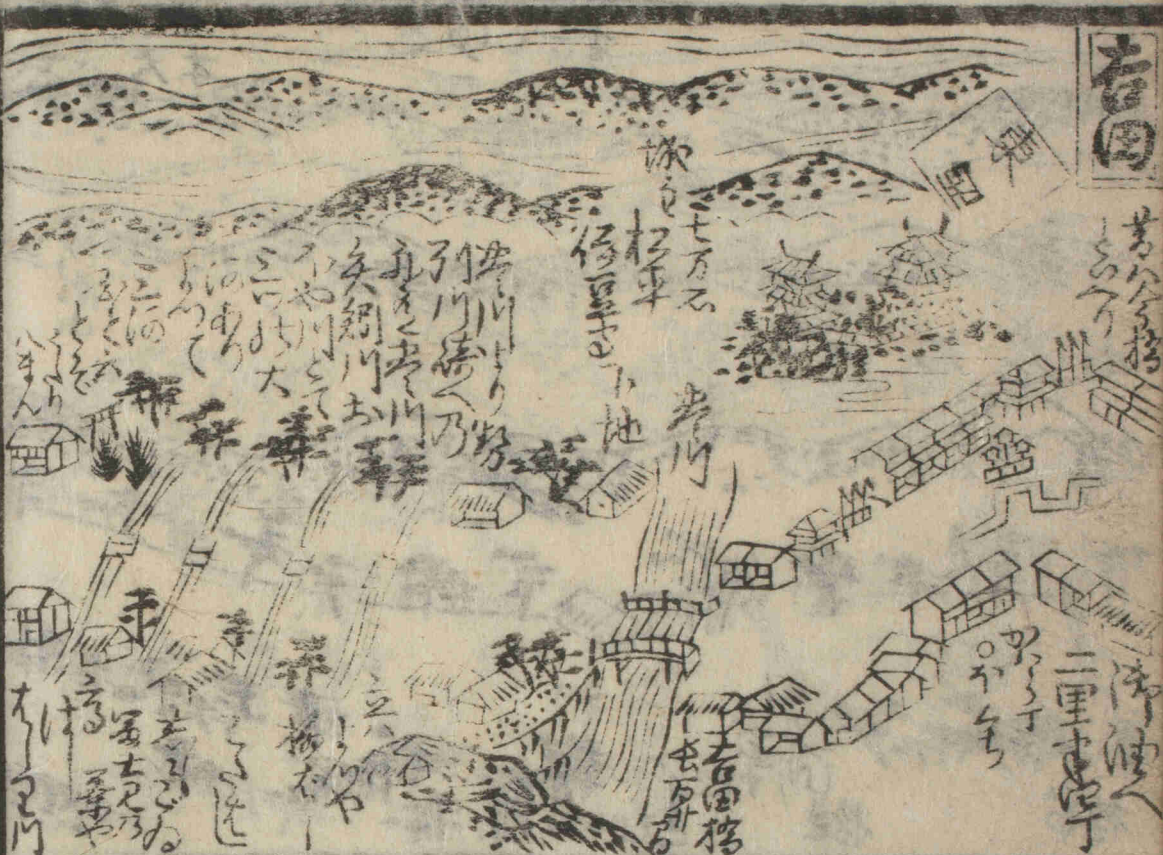
山



吉田

吉田

吉田

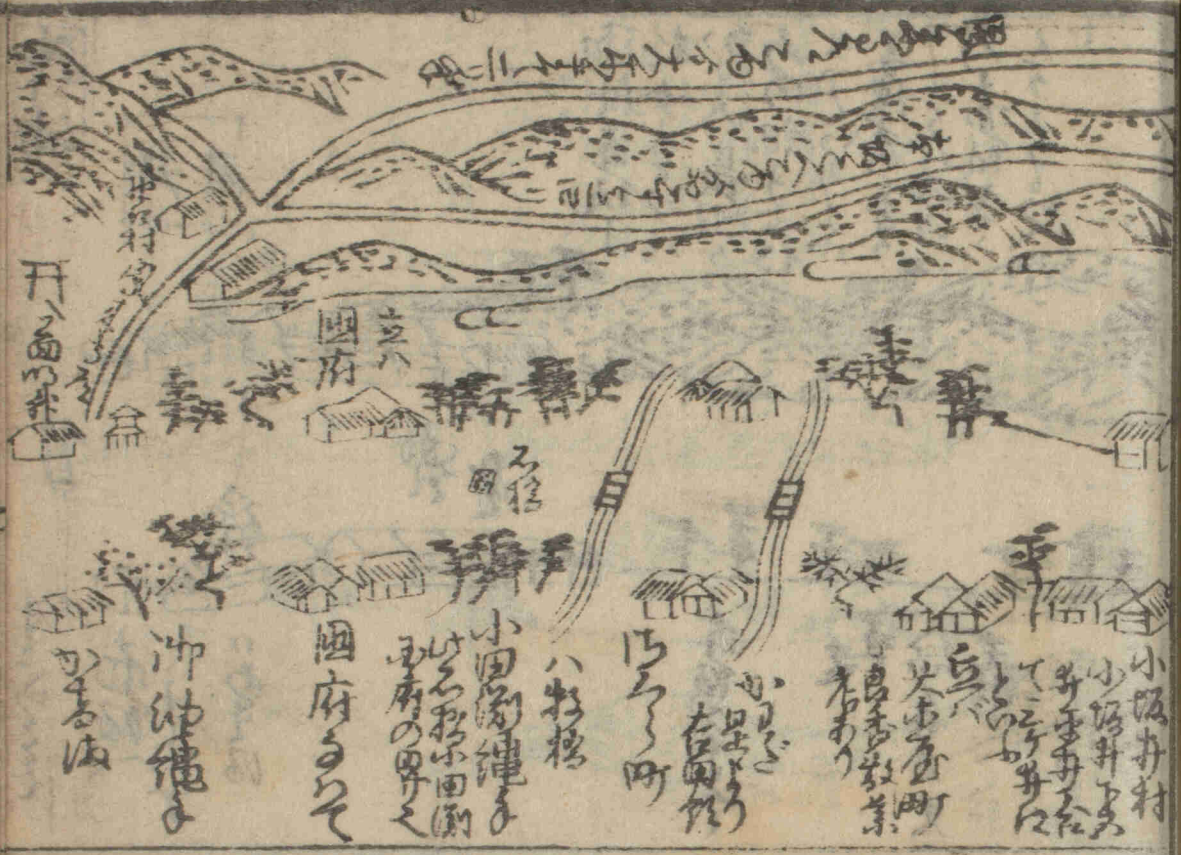


萩原

車西



吉田



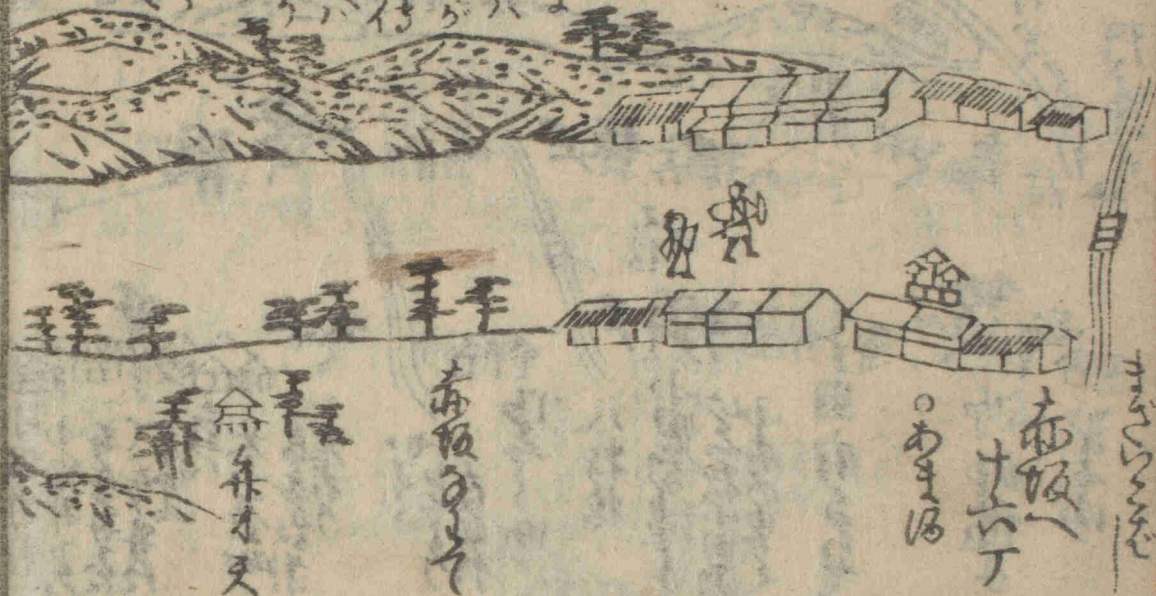
吉田



陣油

陣油

市油希飯
柱女あまハ
の記し長明
生てつりハ
美濃あま
乃希飯あ
んくもく



長明乃記
小多柳の石
をきて宮
とて地希飯
こつりも
けあの
が頼朝卿
上流の時
陽の光
宮あけ
ふ布し
古ふ宿



陣油

陣油



みえ川へ
一里半
こんちあま
の記し長明
生てつりハ
美濃あま
乃希飯あ
んくもく

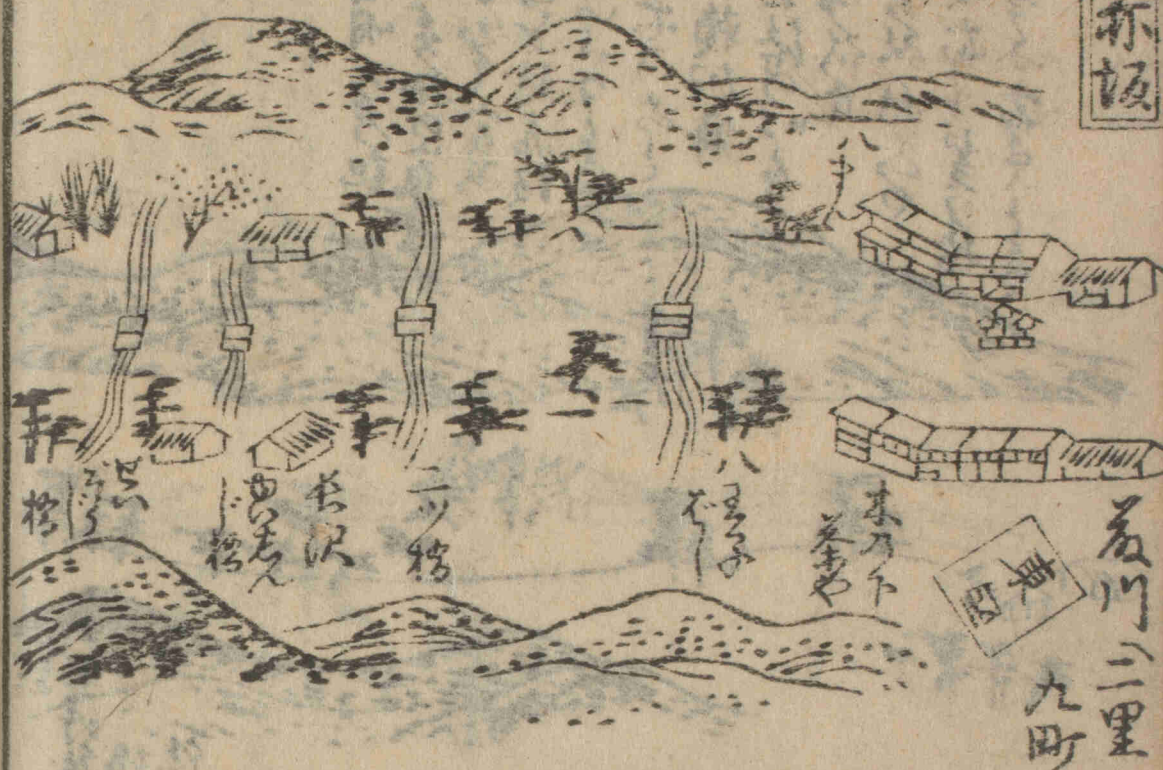
社の訪諏



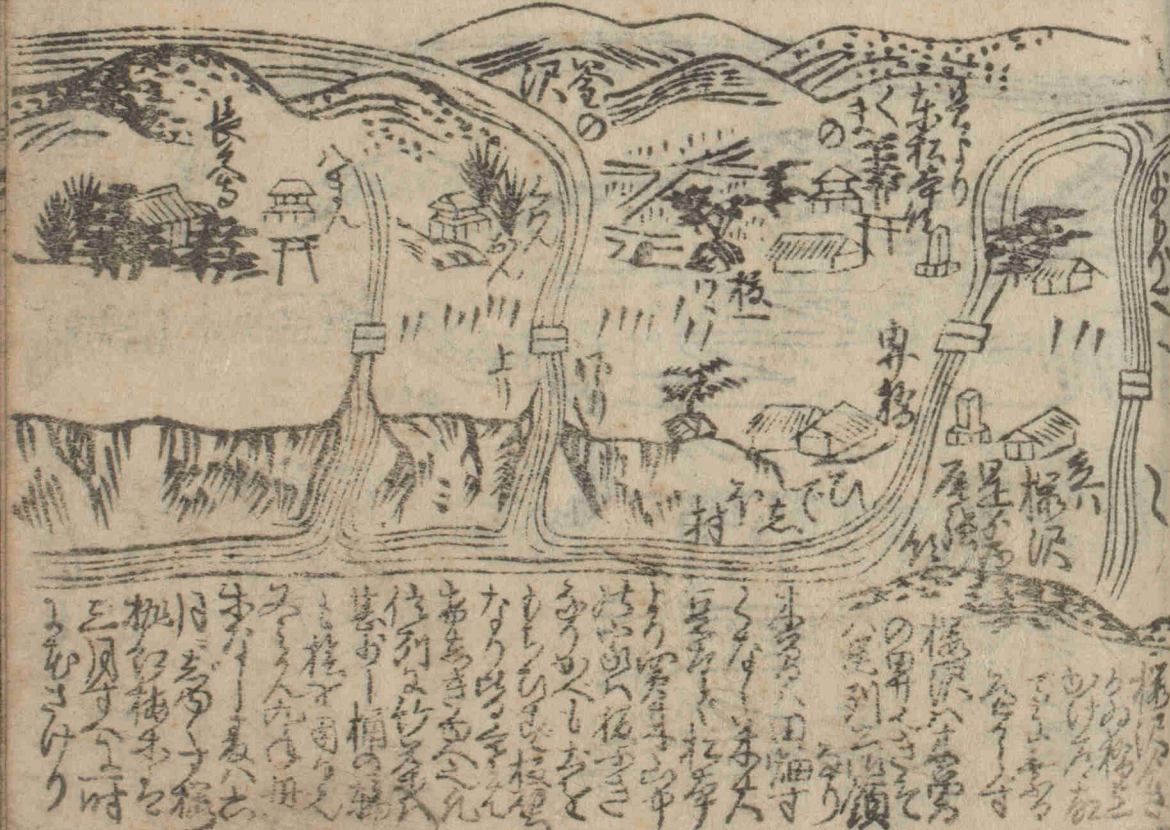
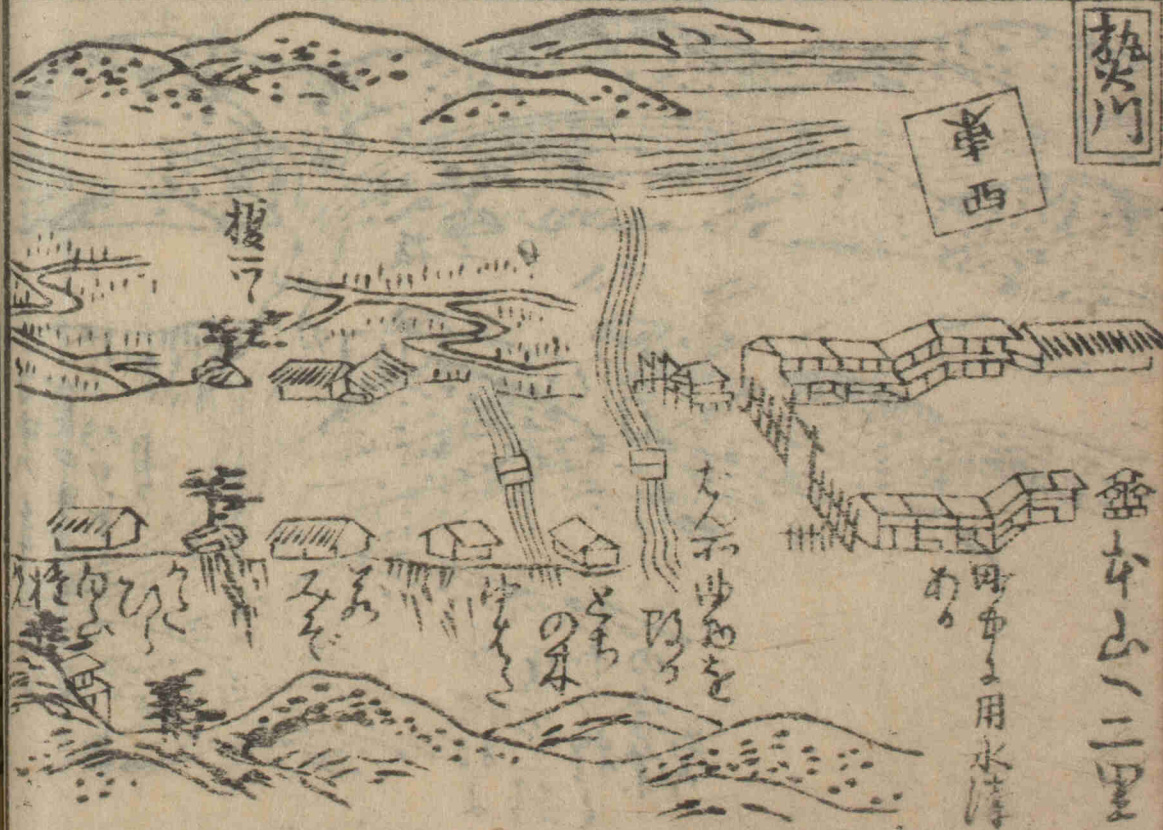
長明乃記
小多柳の石
をきて宮
とて地希飯
こつりも
けあの
が頼朝卿
上流の時
陽の光
宮あけ
ふ布し
古ふ宿



赤坂



赤坂



尾張

五万石

本多中務

東の

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

早

池鯉

田

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

矢

池

西

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

池

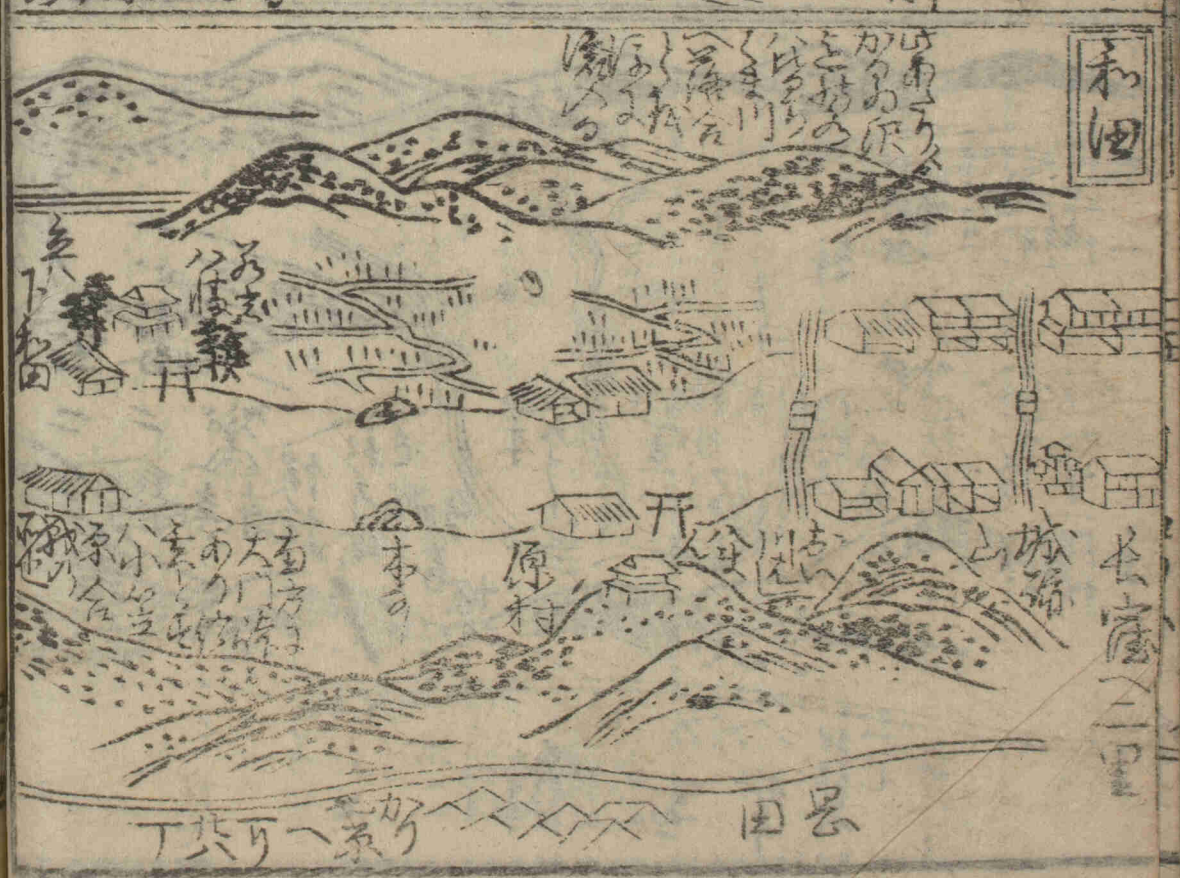
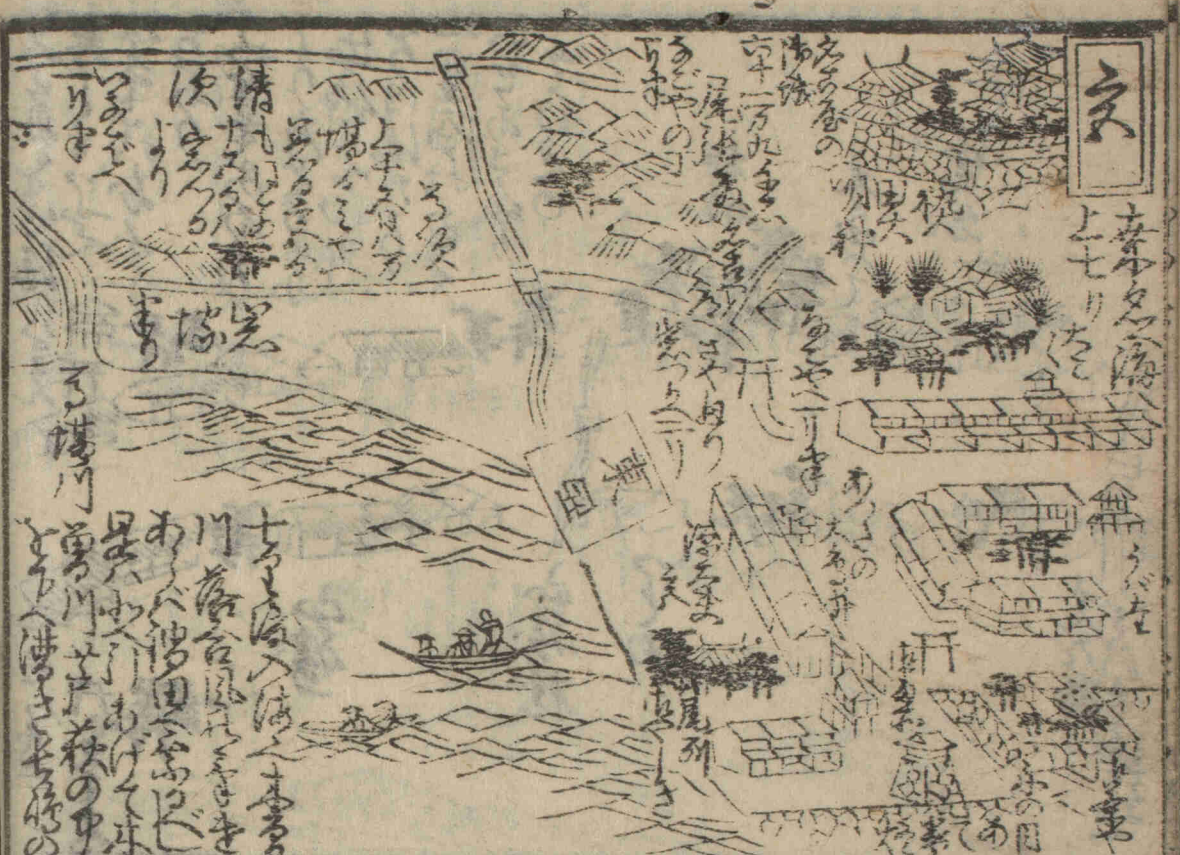
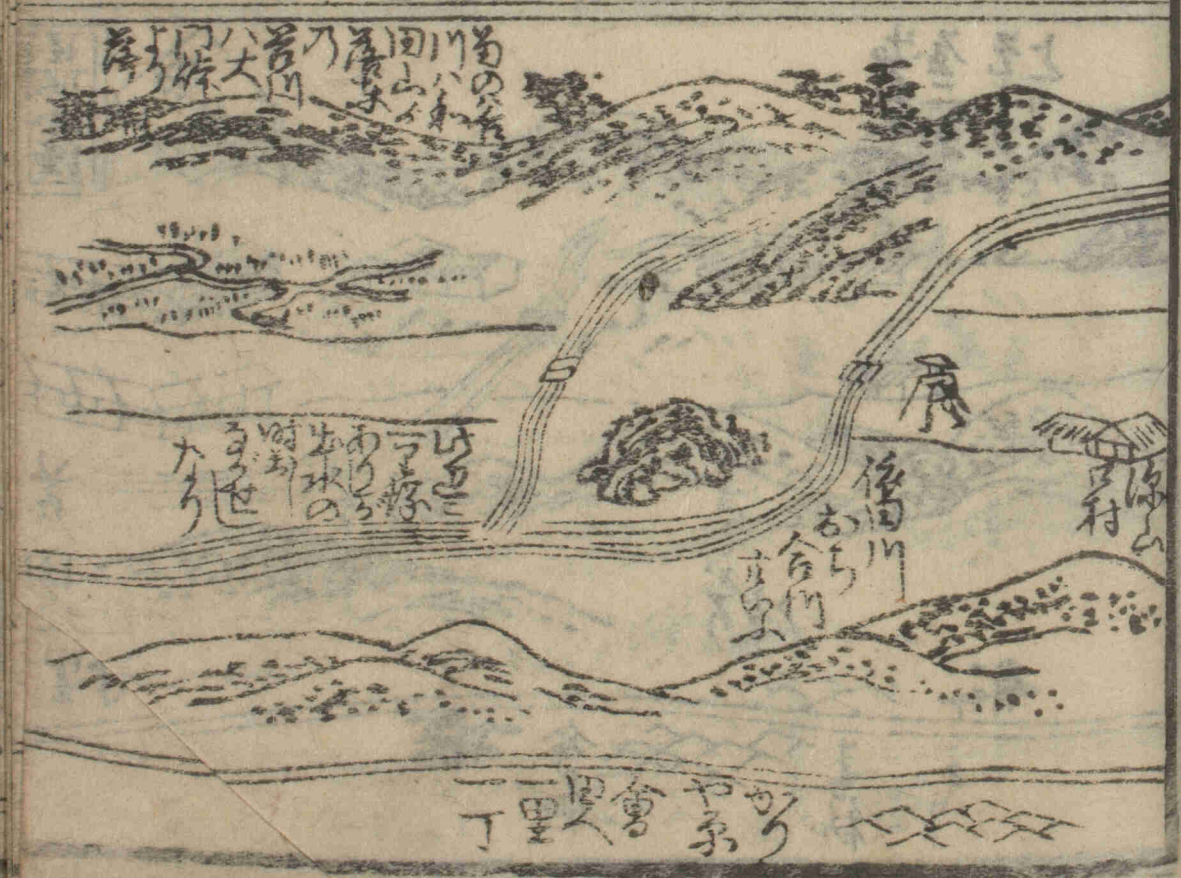
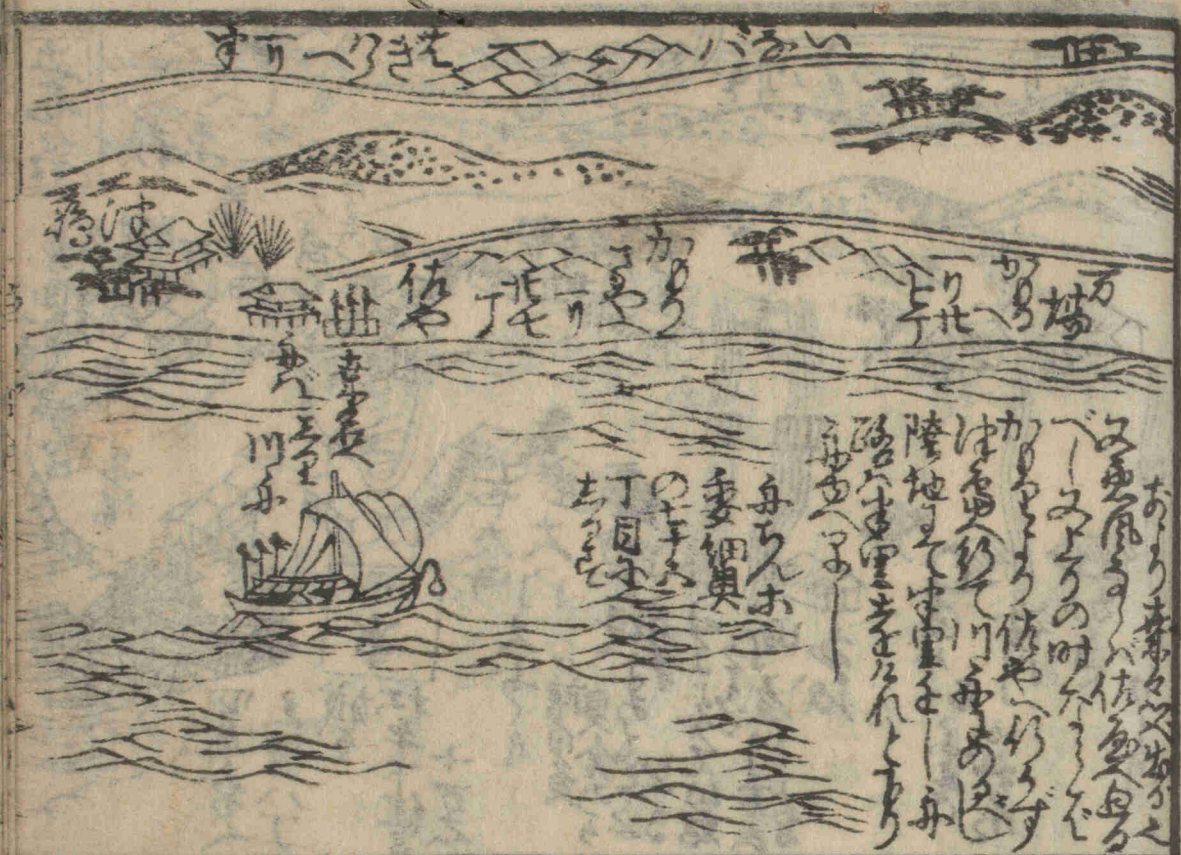
池

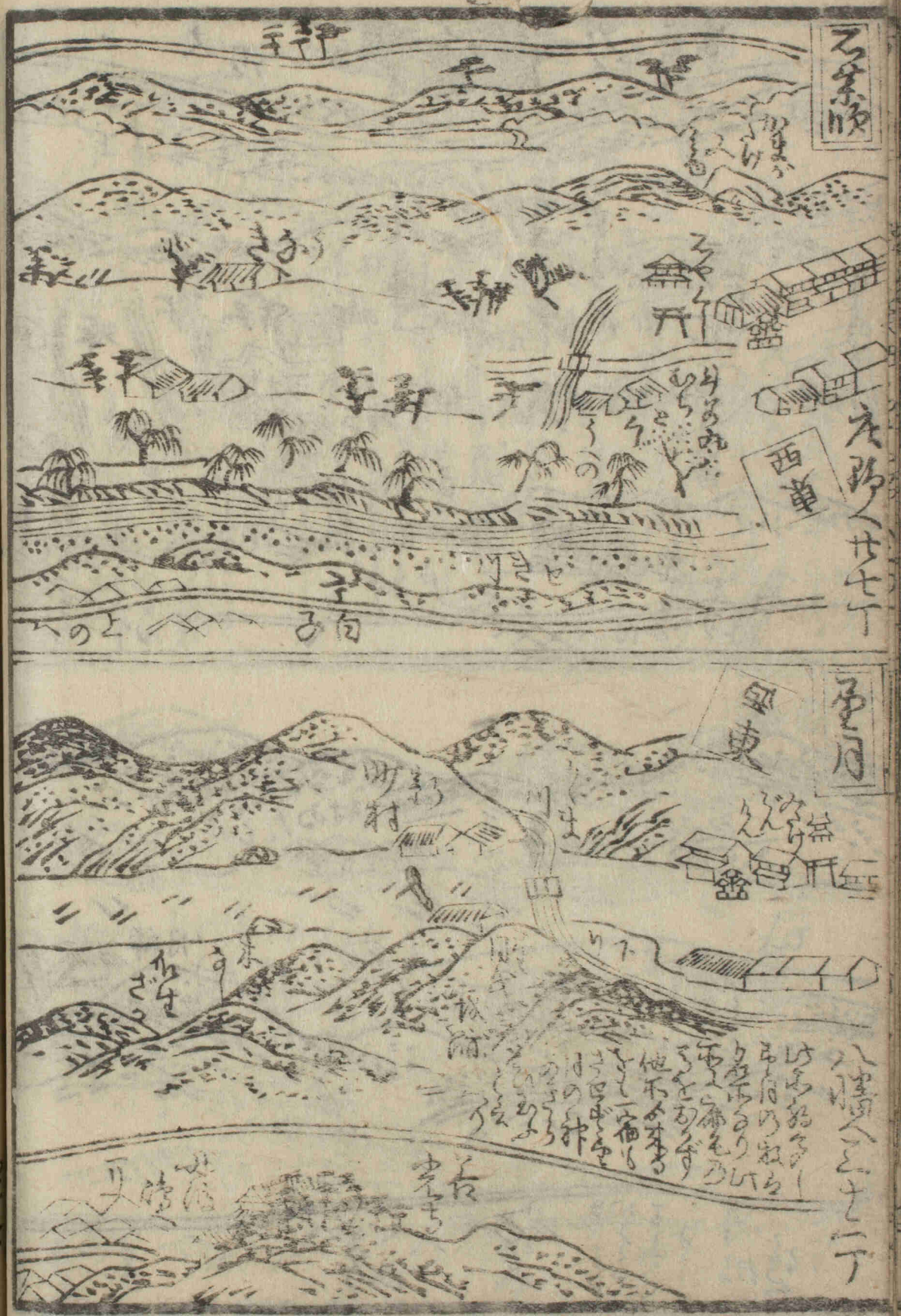
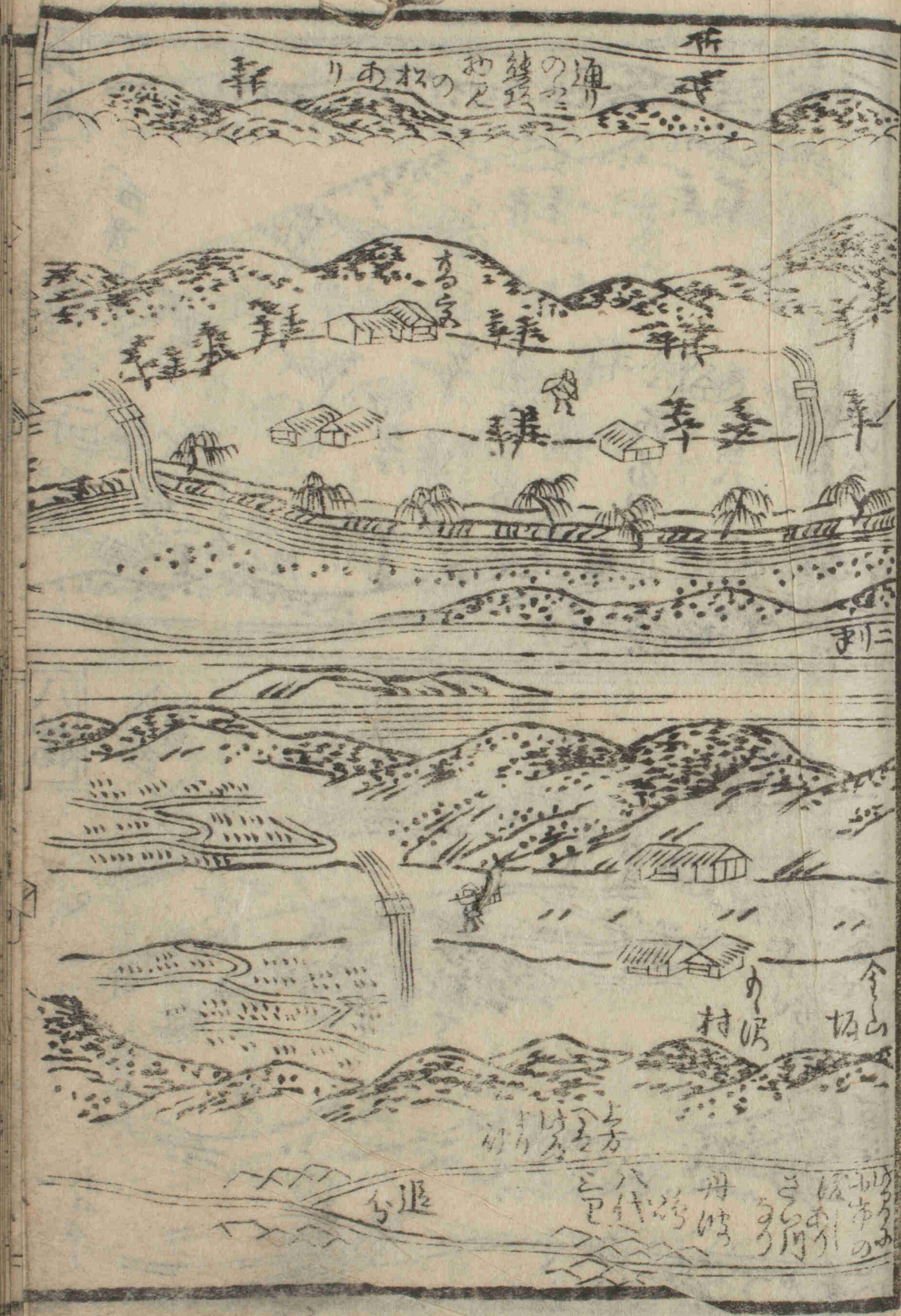
池

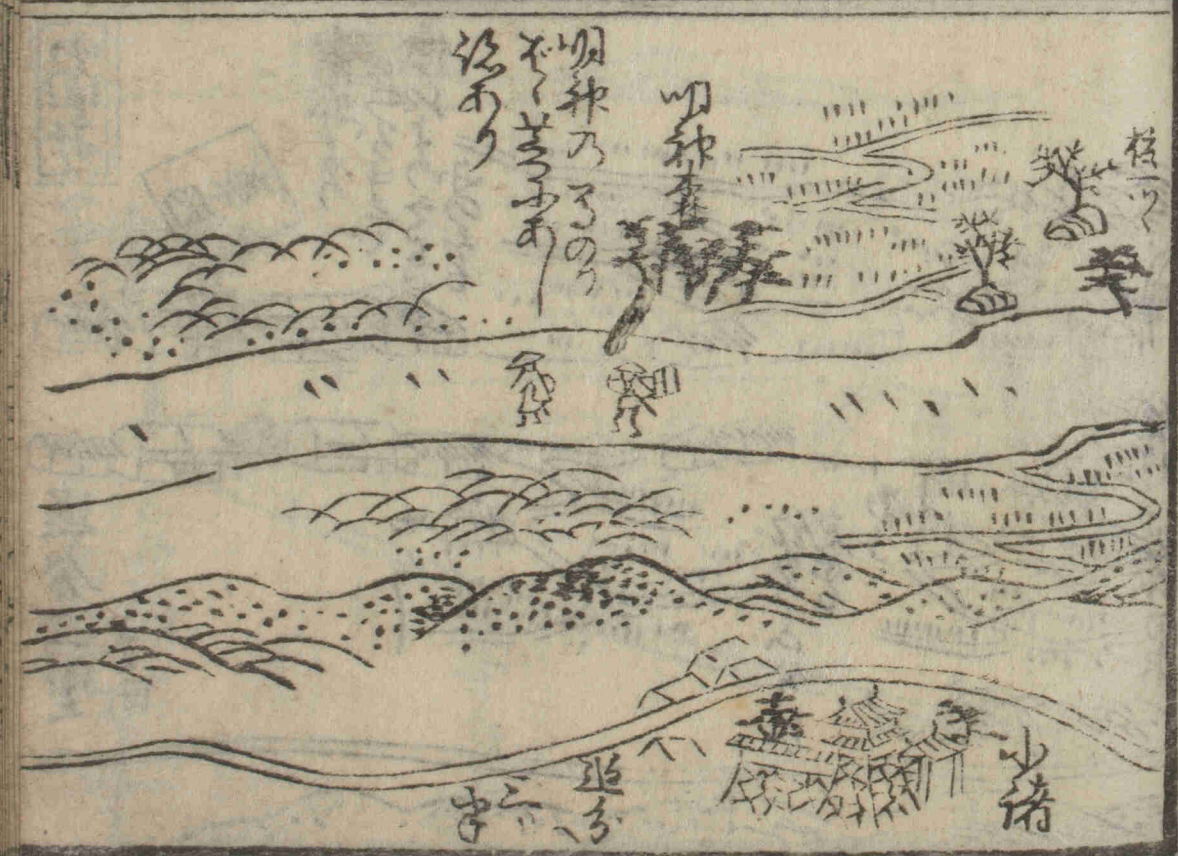
池

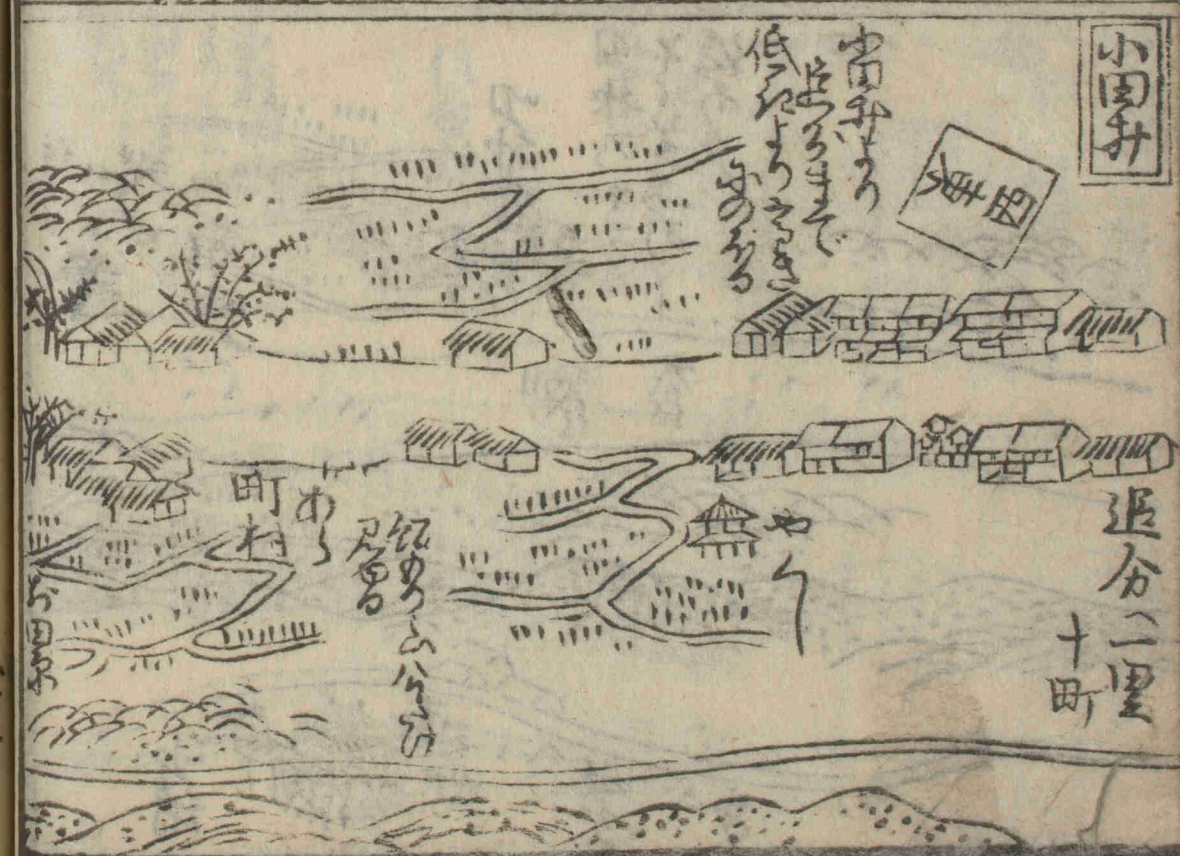
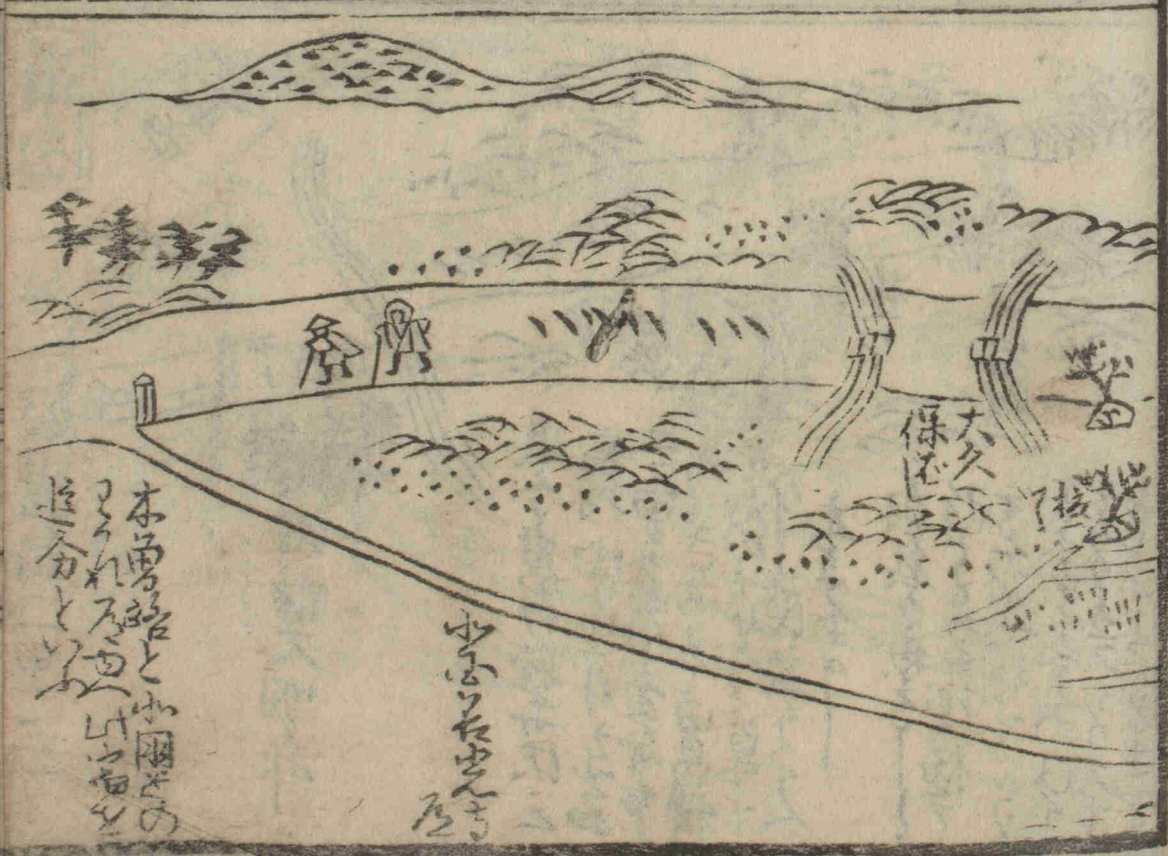
池

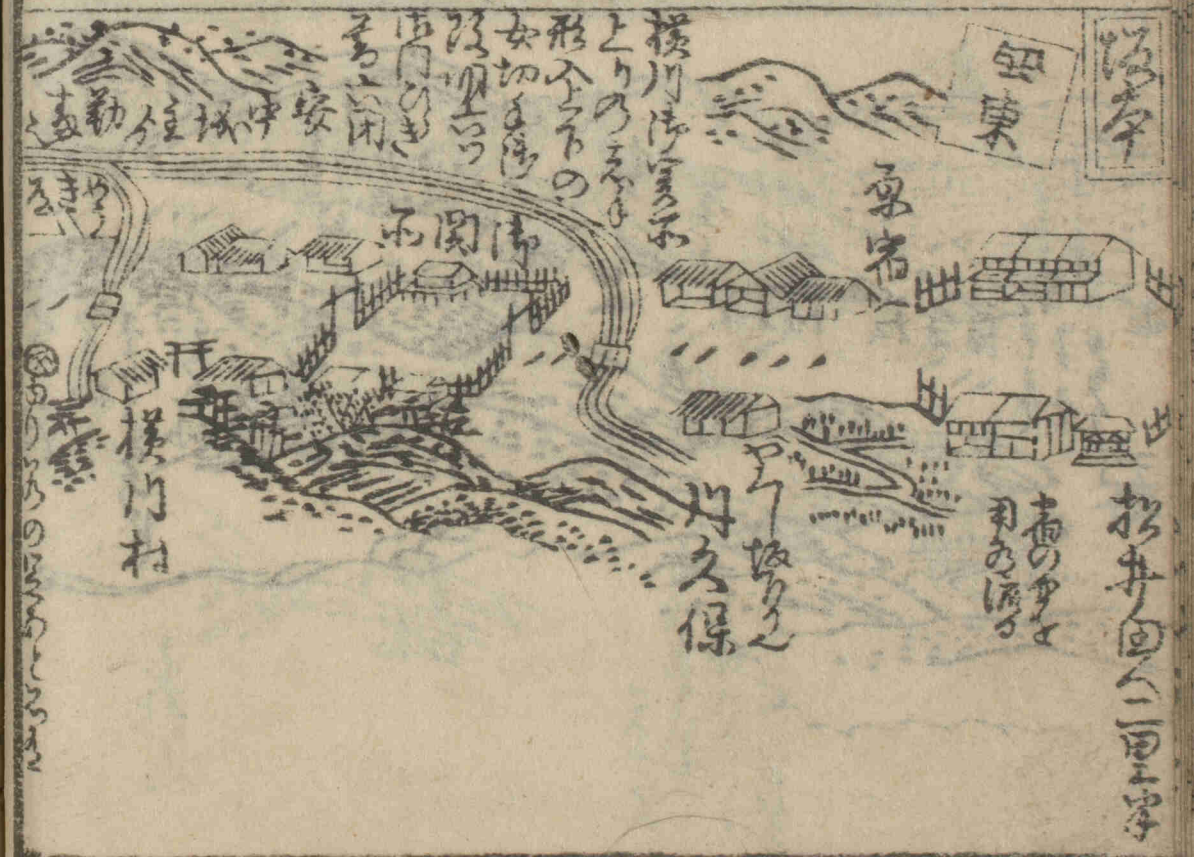
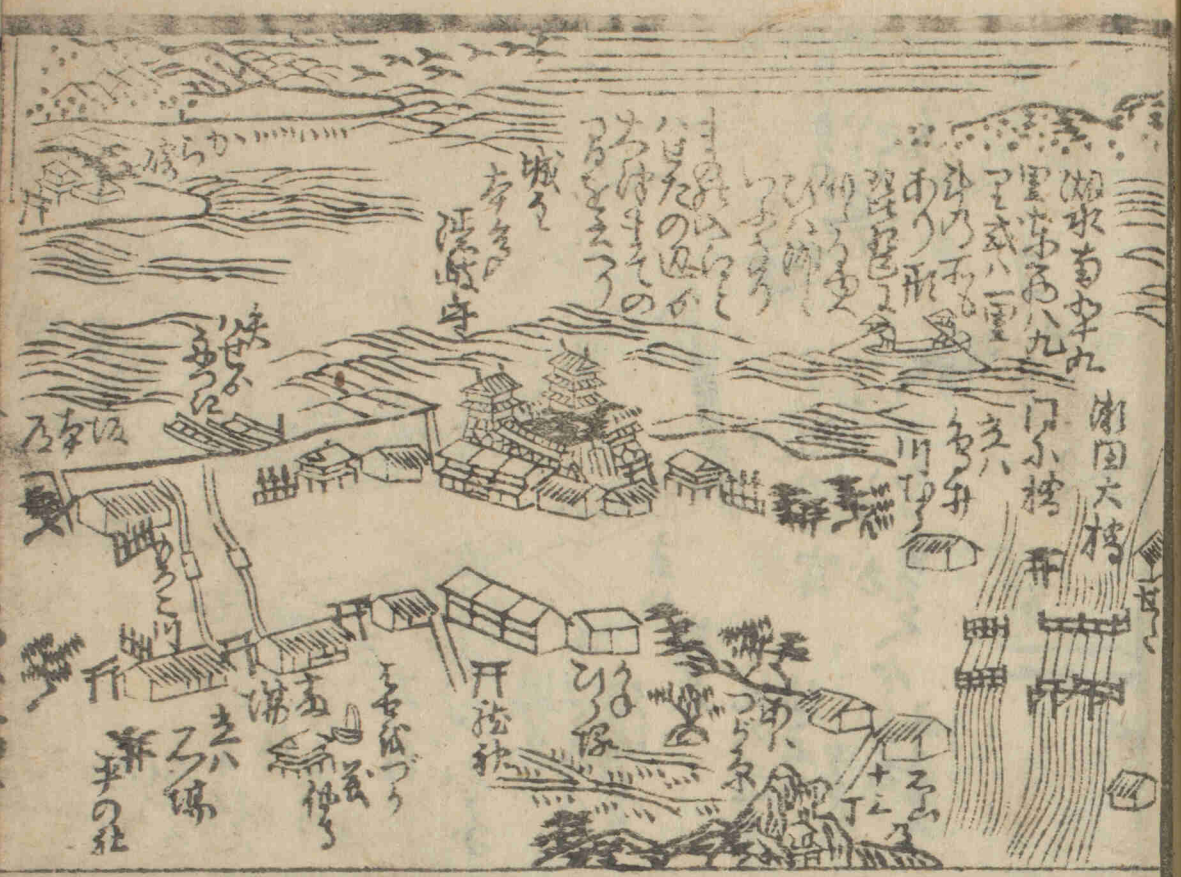
池

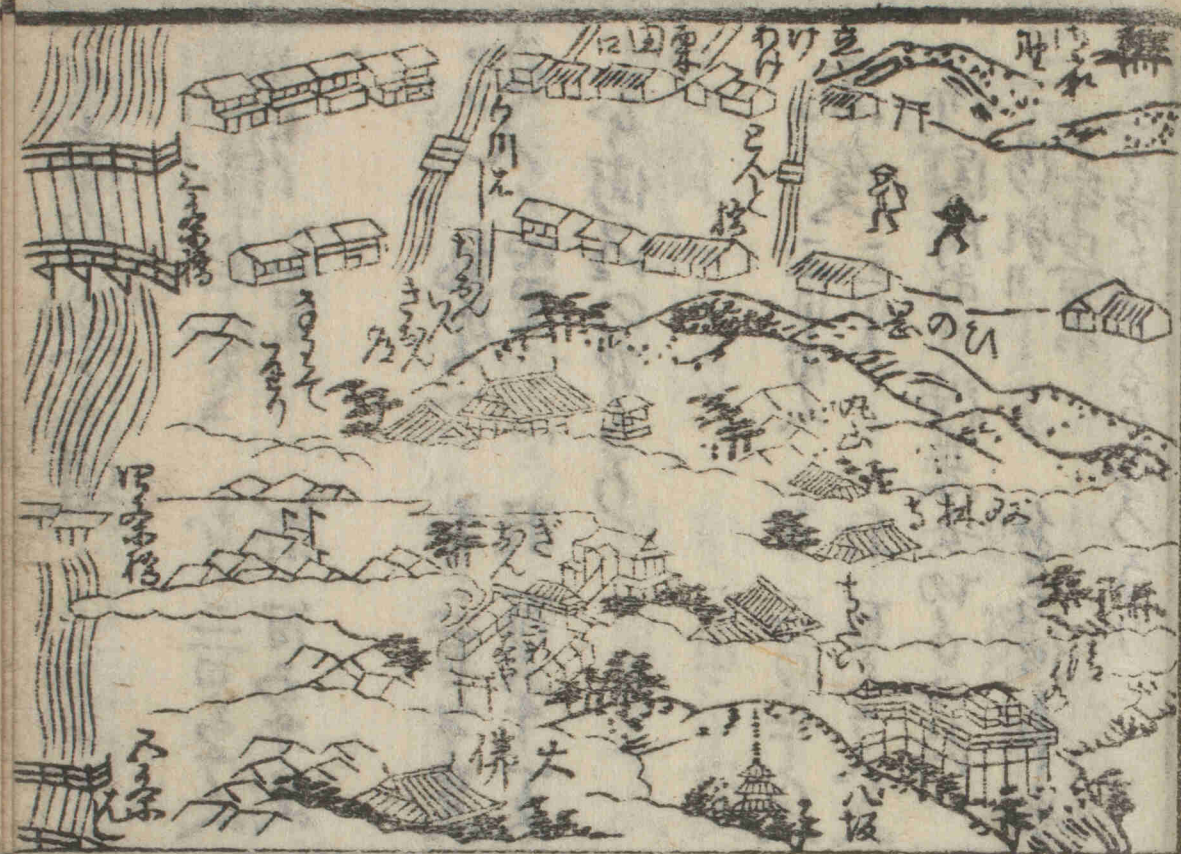












本坂越え道

見附 船人へ
二里 船 二百五十文

船人へ 船人へ
四里 船 二百五十文

お街ろのりより

氣分 二里 船 二百五十文

清園所あり付来女切り

お街ろのりより

お街ろのりより

三田市

吹瀬へ
二里 船 二百五十文

お街ろのりより

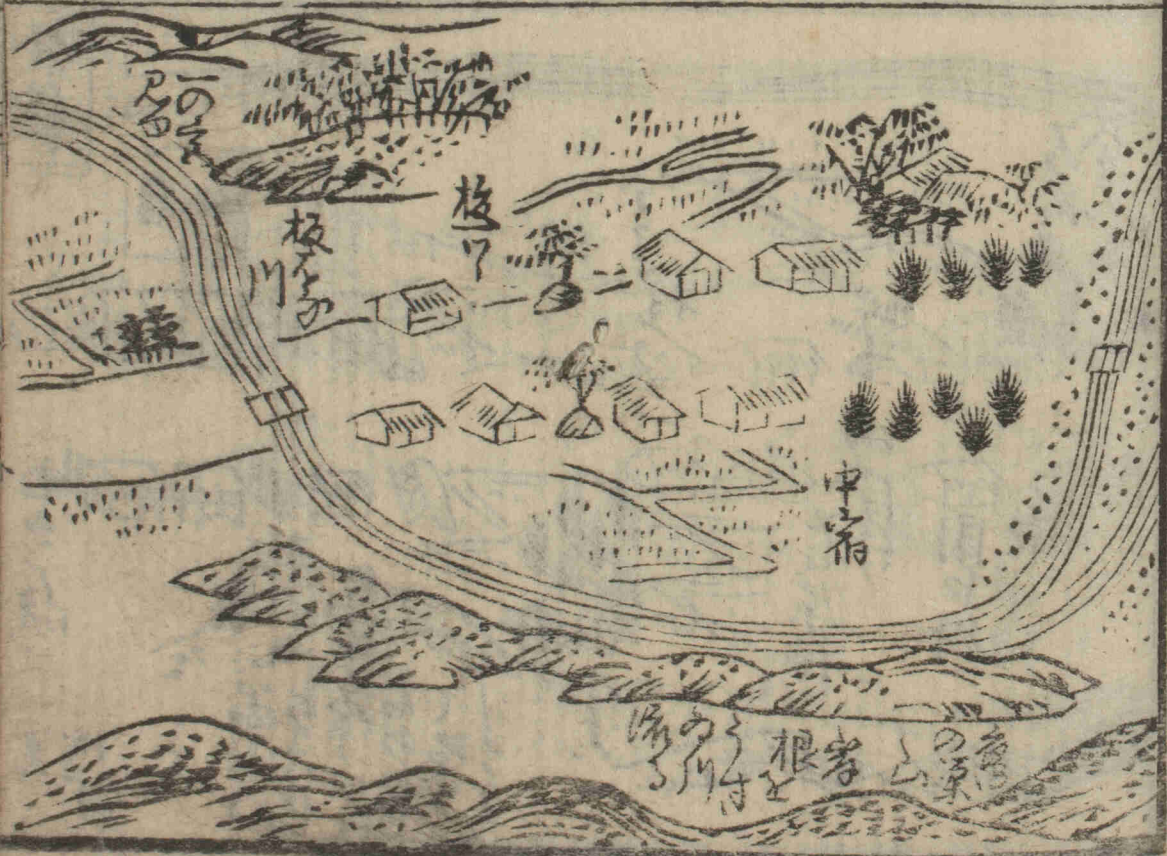
吹瀬へ

船 二百五十文

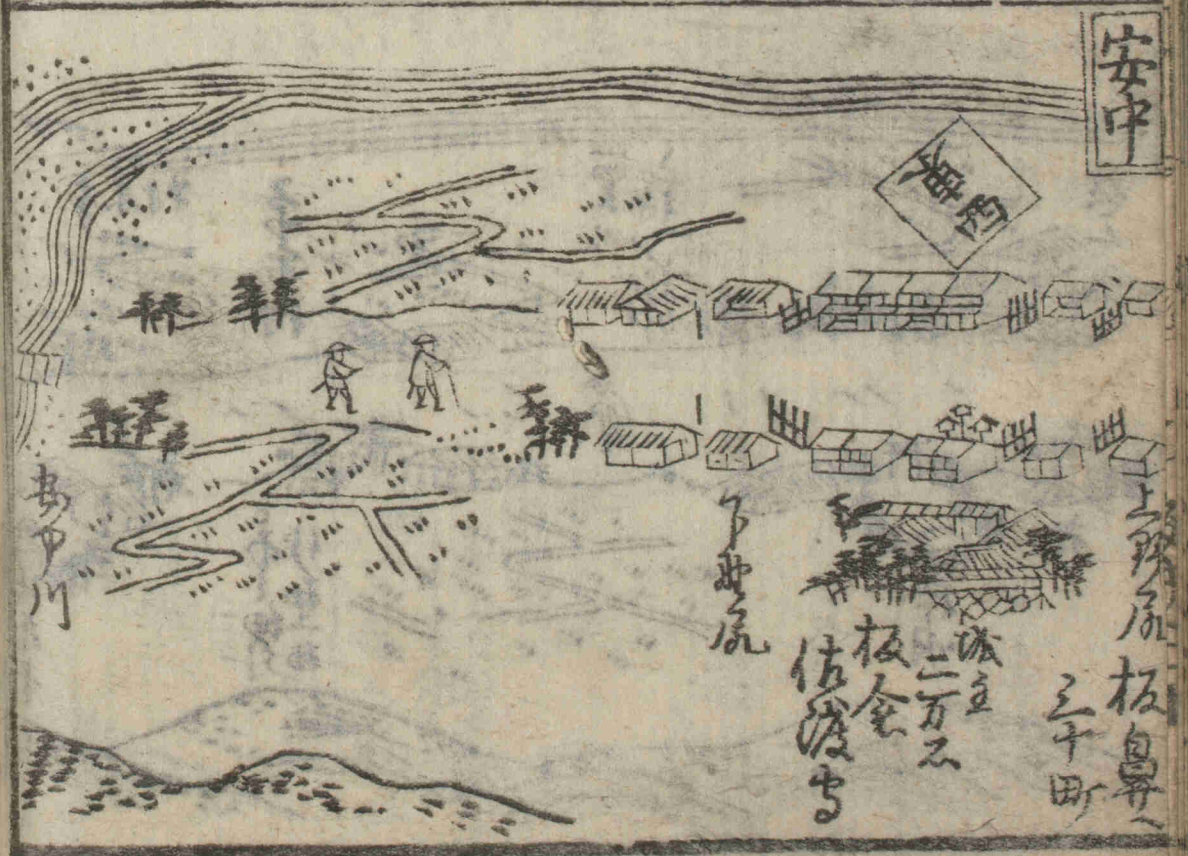
お街ろのりより

涉油

お街ろのりより



安中



東海道より中仙道記

宮 名を重く
名を重く
人 千七百
人 三千

熱田大明神の社やうも
社領七百七
人 千七百
人 三千

名を重く
名を重く
人 千七百
人 三千

東海道沿道
名を重く
人 千七百
人 三千

清洲 稲葉一
人 千七百
人 三千

名を重く
名を重く
人 千七百
人 三千

國府社ありし由り稲葉村

稲葉 稲葉一
人 千七百
人 三千

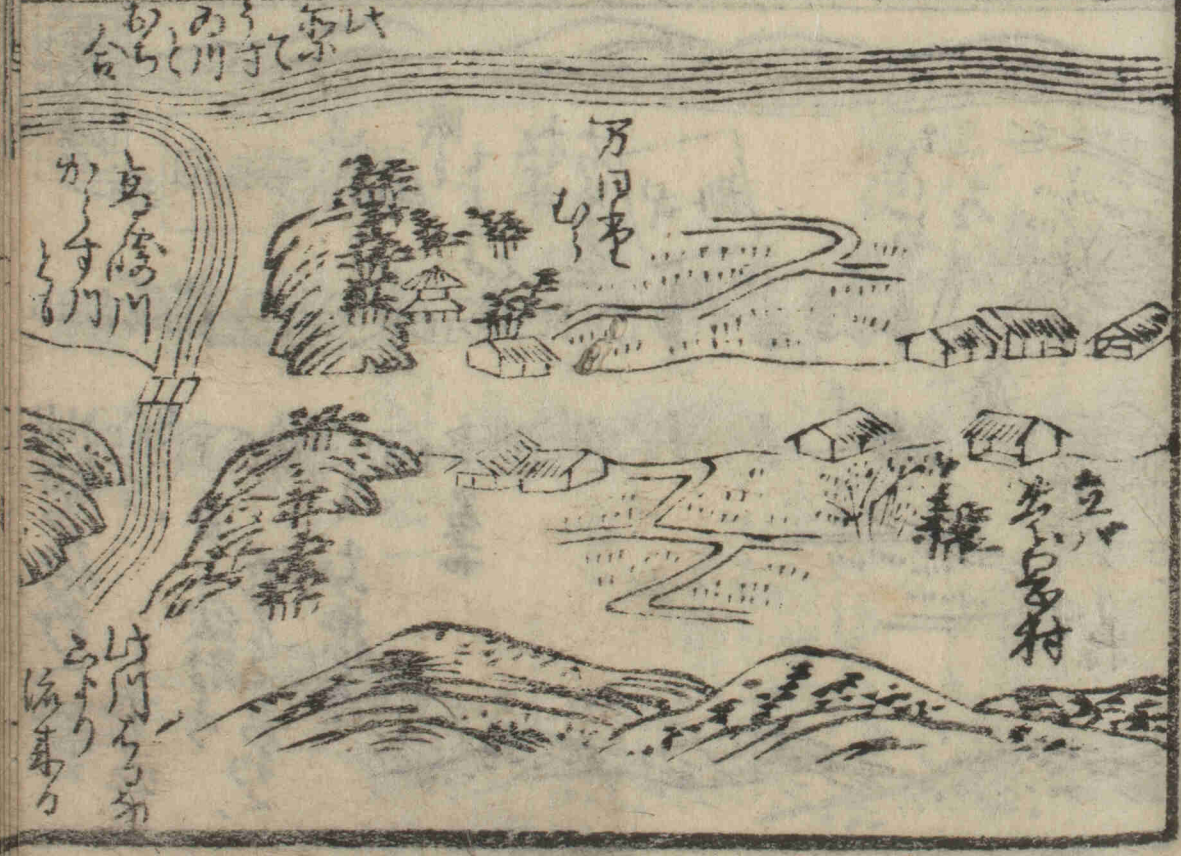
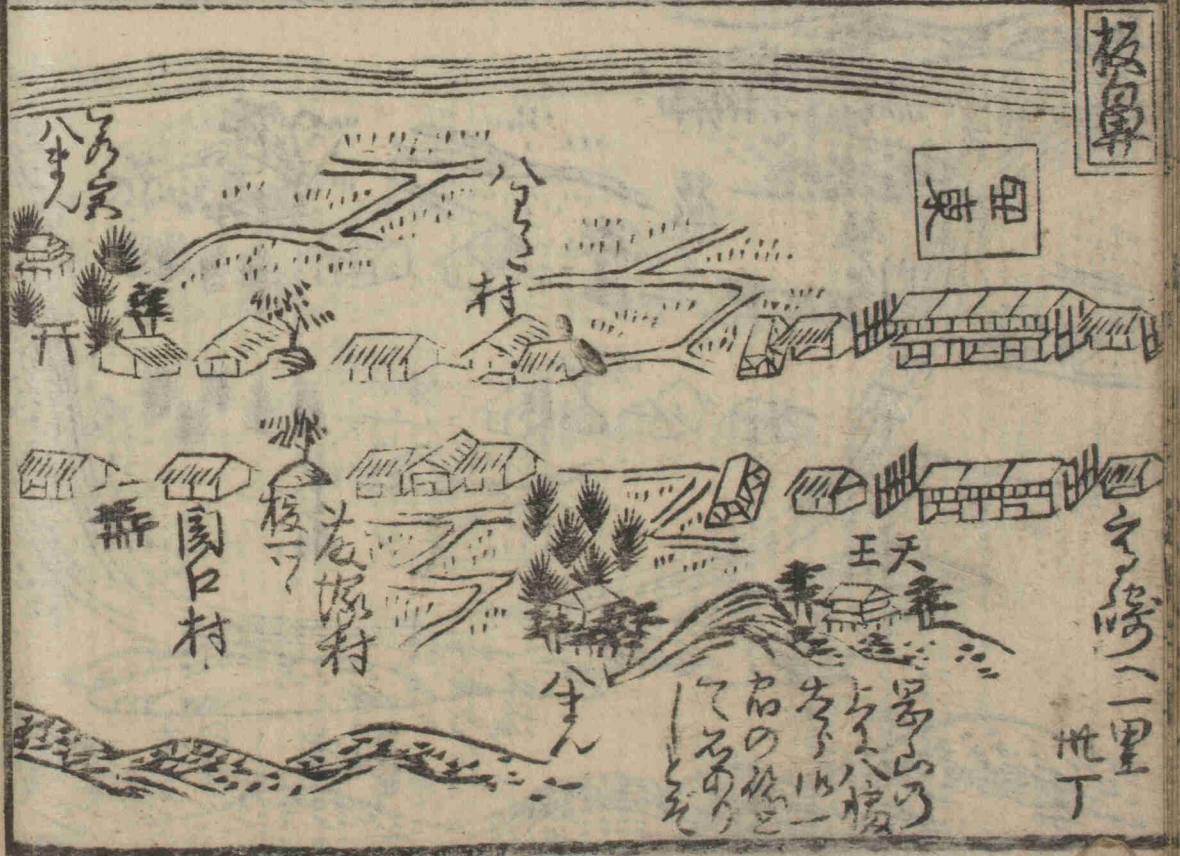
東海道沿道
名を重く
人 千七百
人 三千

名を重く
名を重く
人 千七百
人 三千

秋原 尾越一
人 千七百
人 三千

名を重く
名を重く
人 千七百
人 三千

尾越 洲原一
人 千七百
人 三千



尾城川もあつたなり第一
の入りなりあつて一界川
とあつた川大河なりあつた

洲股 大堤
二里半

本 八十二
輪 五十二
人 軍二

後村小栗照天姫宮あり

さうさう

本 百二
輪 五十二
人 軍九

大垣 二里半

本 百二
輪 五十二
人 軍九

十石

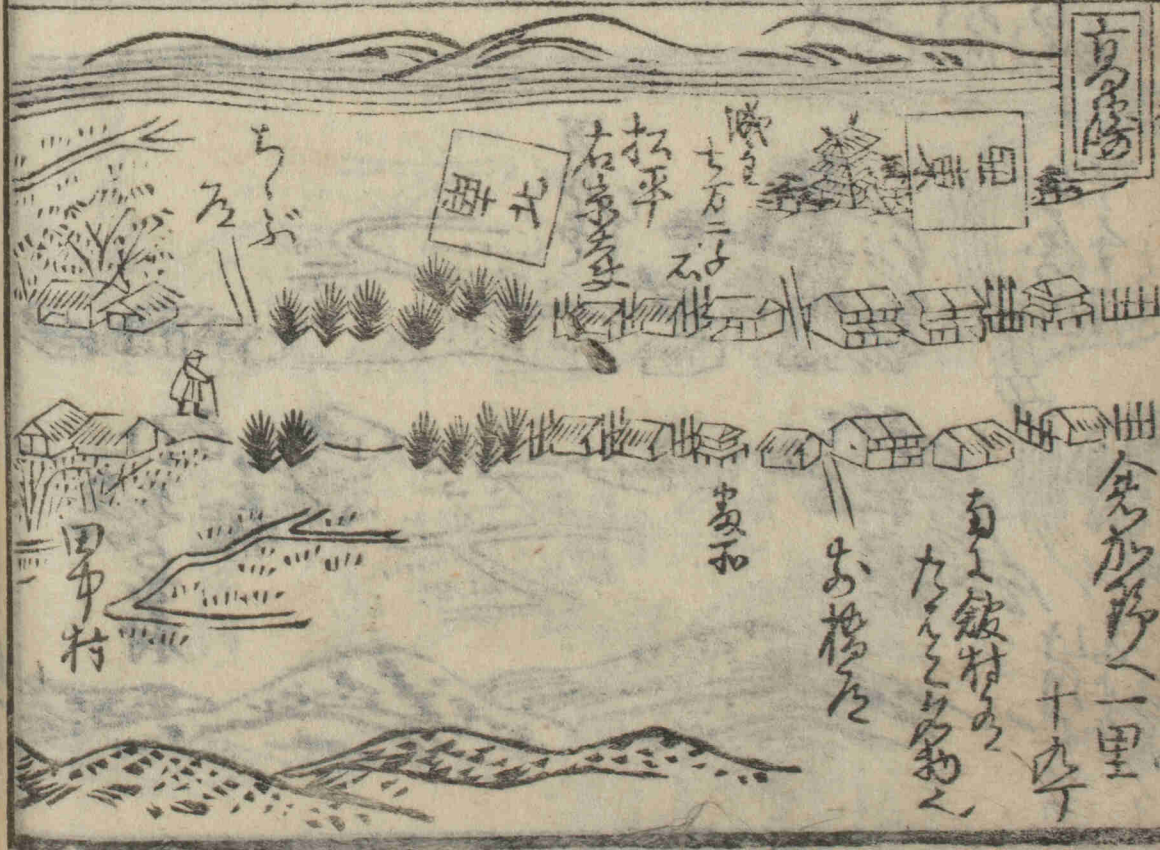
城 戸田米女

名川もあつた長範物見の

松ありあつた川南宮山月の中
さうさう

大井

さうさうさうさうさうさう
さうさうさうさう



佐金剛記

宮

岩次
二里

人輕本
軍卒又

之橋西下村大雁門橋

ありうしと標とふあが村言

法務部より村やなけり

但^レ上^ニナ^ル人^ノモ^トモ^トモ

萬曆二十六年

客須知

方城
古里

人輕年
十
十二
又

万場山史実室リあり大い

十、江のふちあり
西門埽より

加少松あり素多し里中

萬

冠字人
一里中九丁

人輕車
字六文

下砂子村 下田川

ちゝあ

六十九

冠

佐々木
り守丸了

輕人
罕交

つとむ村ある川あり下村と

乃子村自光川樓爲依會乃亭

少壯可憐之行乞者

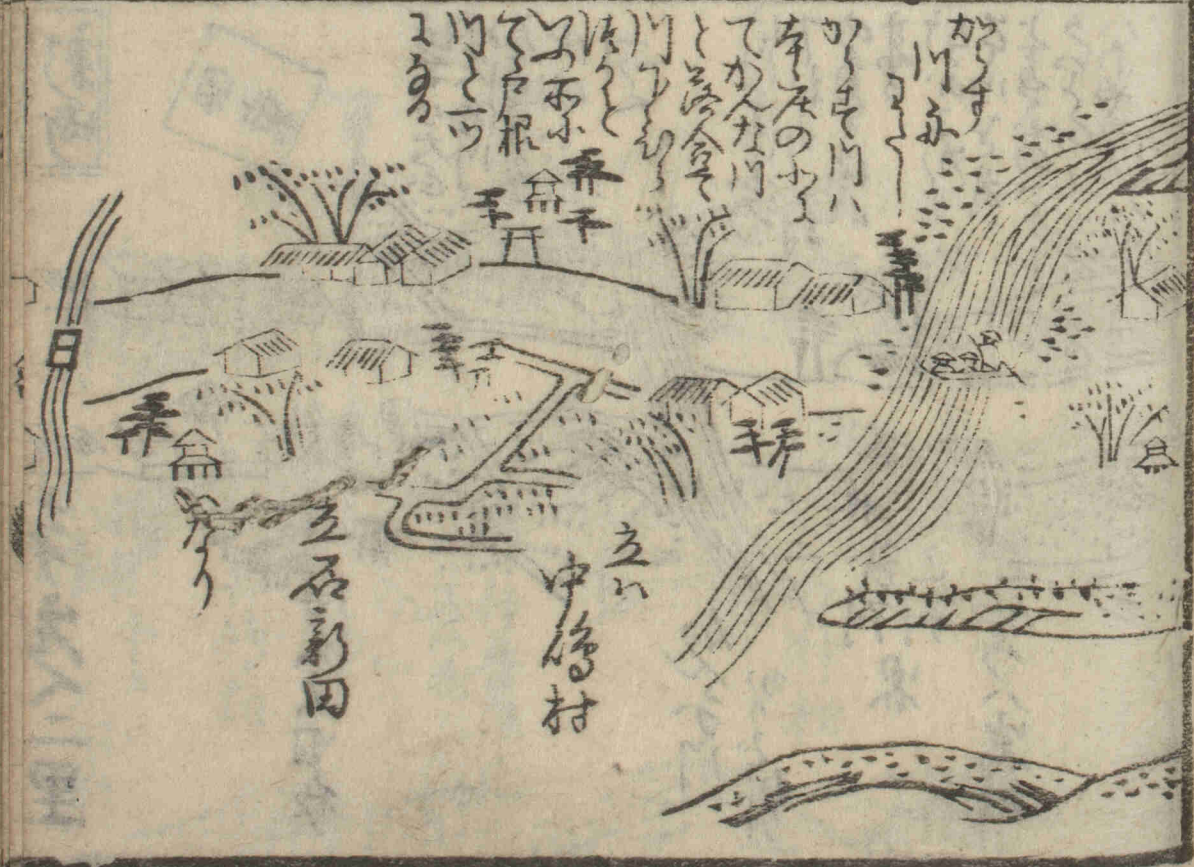
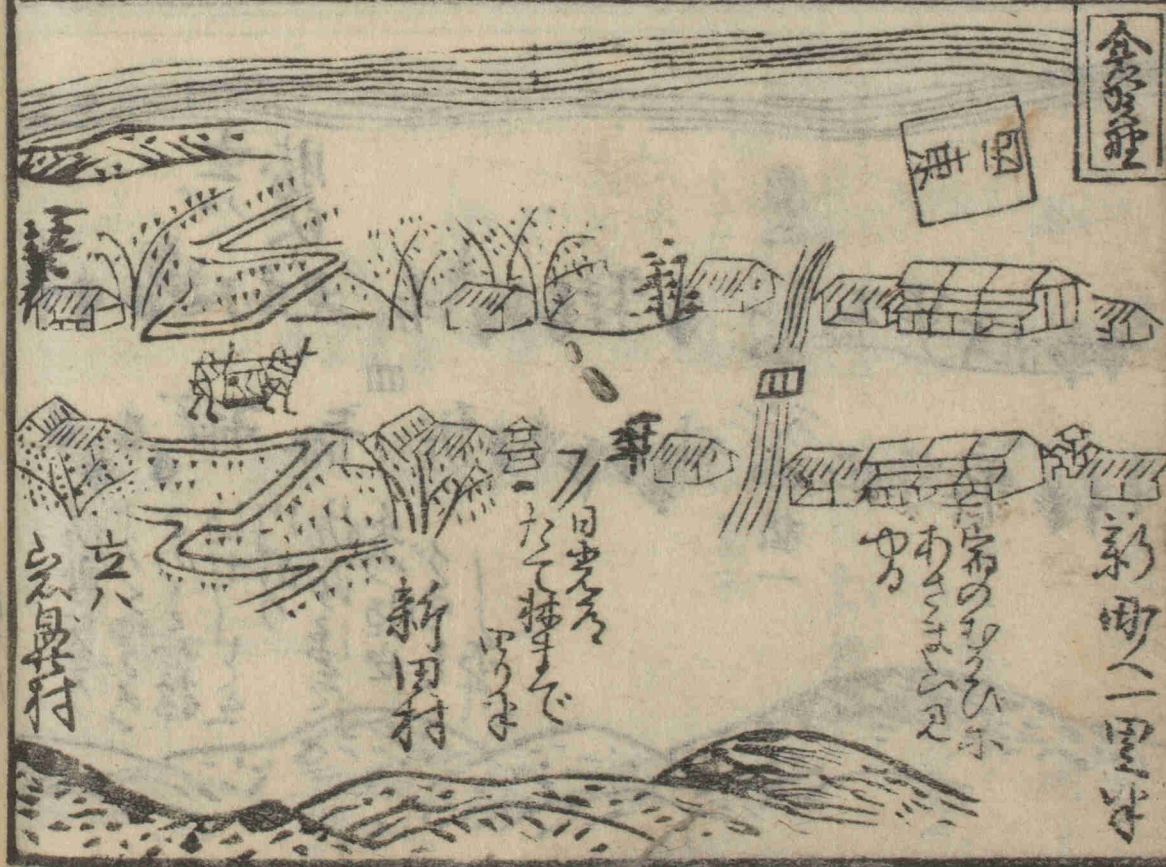
依
川
每
之
り

葉含羞草

十七

二人水主一穗八家 二百守之久

三才圖會卷之八



日人等日二十人余 六百八十支
 六人、日廿八人余 八百十支
 六人、日廿八人余 九百十支
 素名より伏見へ

素名より伏見へ
 二人等一艘八人余 四百七十八支
 二人、日廿八人余 七百十八支
 六人、日廿八人余 九百廿九支
 六人、日廿八人余 千支

素名より伏見へ
 素名より伏見へ

素名より伏見へ
 素名より伏見へ

素名より伏見へ
 素名より伏見へ

素名より伏見へ
 素名より伏見へ

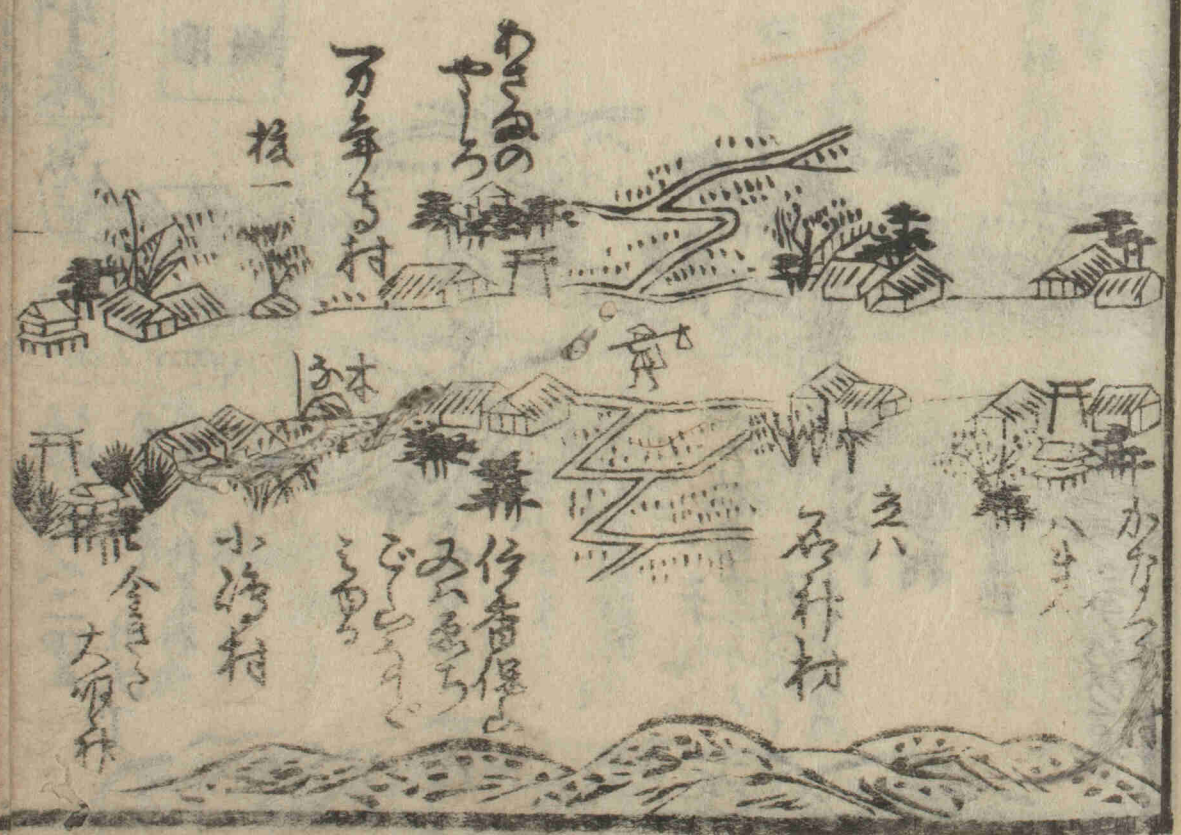
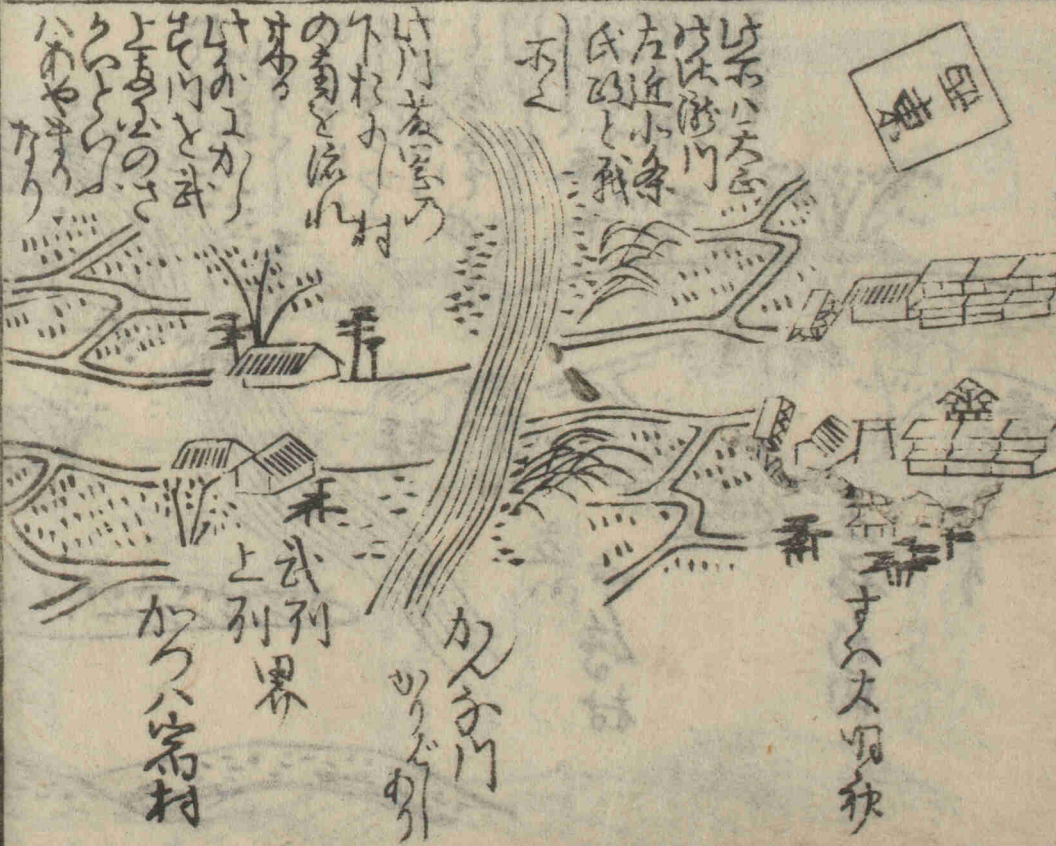
素名より伏見へ
 素名より伏見へ

素名より伏見へ
 素名より伏見へ

素名より伏見へ
 素名より伏見へ

素名より伏見へ
 素名より伏見へ

新町
 素名より伏見へ



七十八

本字一

知了字久

中子久

卷之七

年八十

なる八十一

平石

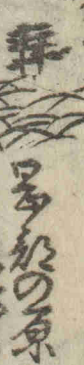
三

輕本
車重文

追分より別れてたの方へ

中
字
文

李回丹波守



白

上卷
一里

輕 半
罕 二 又

寺家村に親善を申しけり
にその様子を乞ふにけり
はあのかきとて諸君に

上野

11. Ben-fer

平 七
平 七

はる一と申といふ一文字の幸え
ありたぬむくやと云われども
右の方より次第あり清水有

津
一

二里

輕車
平車

全一

卷五

友堂和自序

津乃所幸町あり

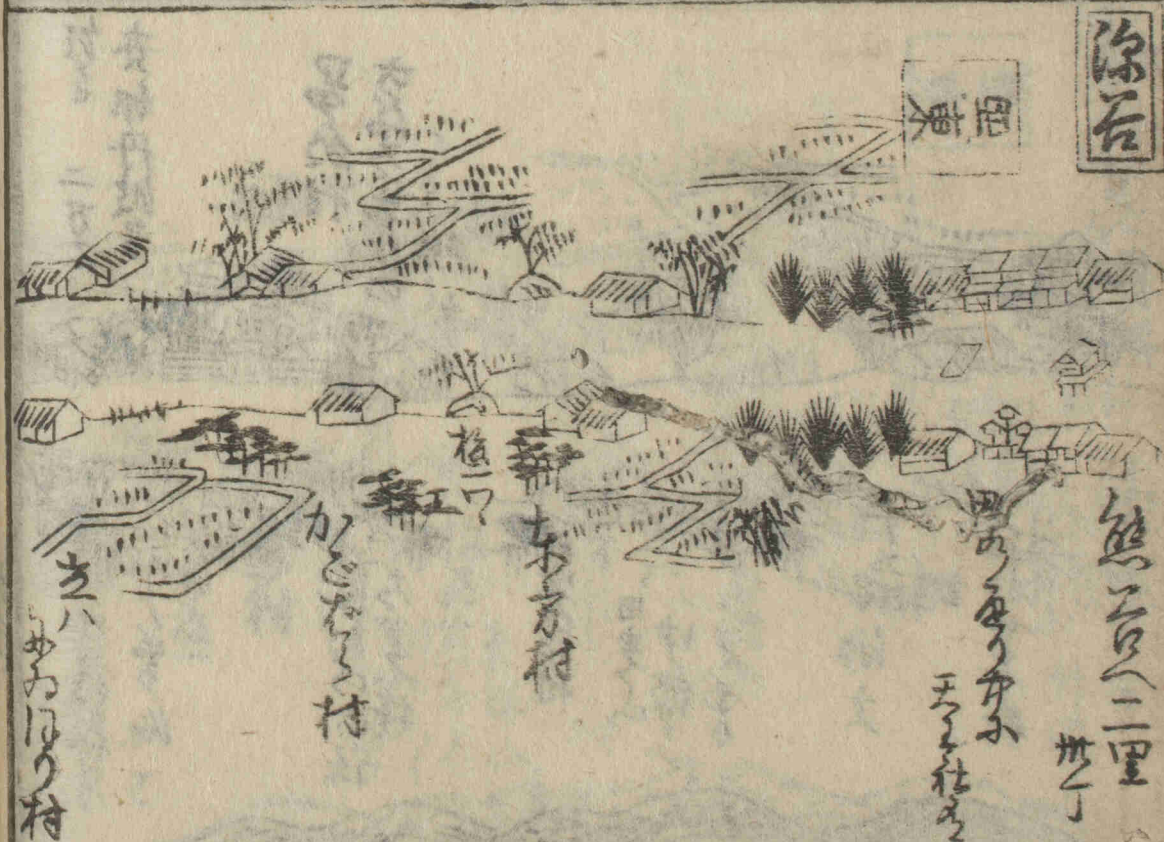
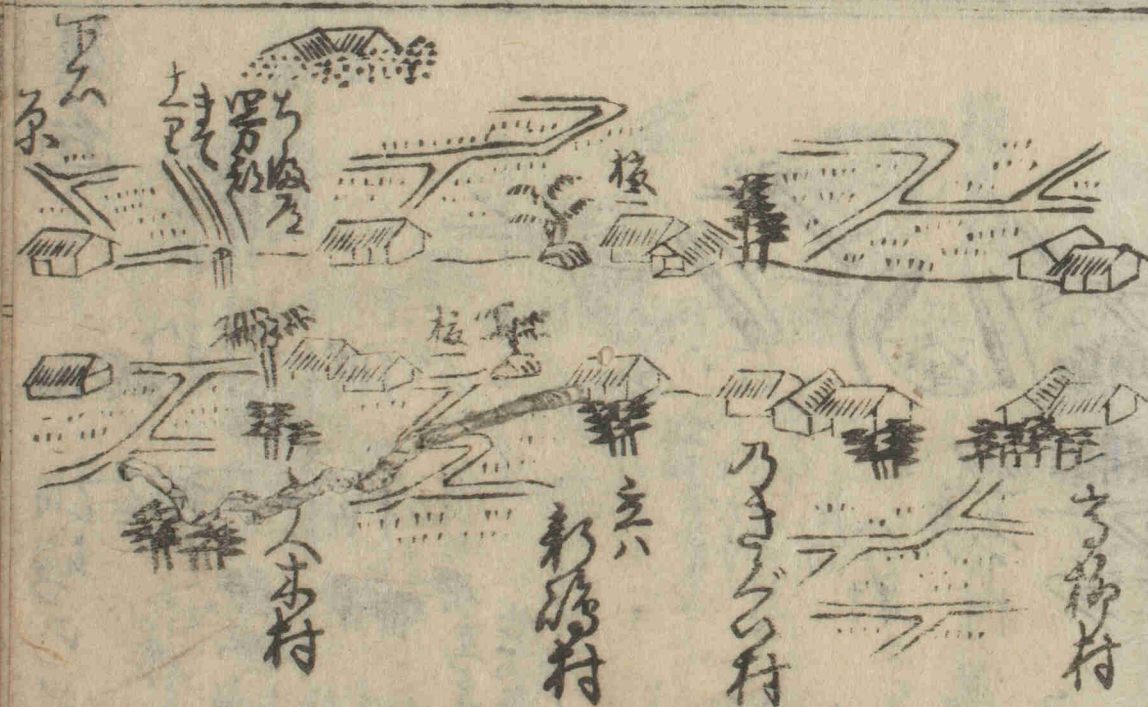
雲津松壩
二里

輕車 車 車 車

中津川を流る橋ありと云路にあり
 一ありと云に佐賀の布引小見
 男曰一川筋に橋ありと云
 由は佐賀の藩と云松のより
 ありと云ふきりひと云と云
 三粒ありと云橋と云れは
 佐賀のよりと云今村立新
 茶や月見はふより佐賀城
 のよりあり 大橋

松坂
少子之
實

輕而有力

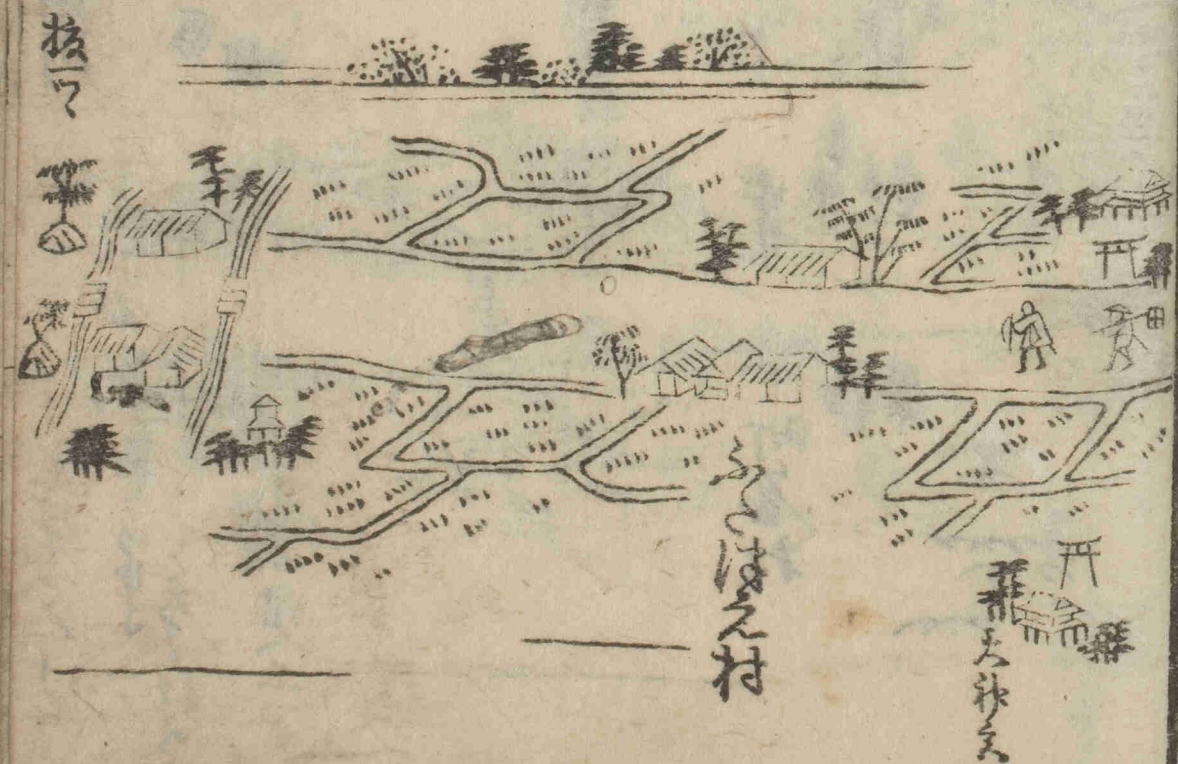
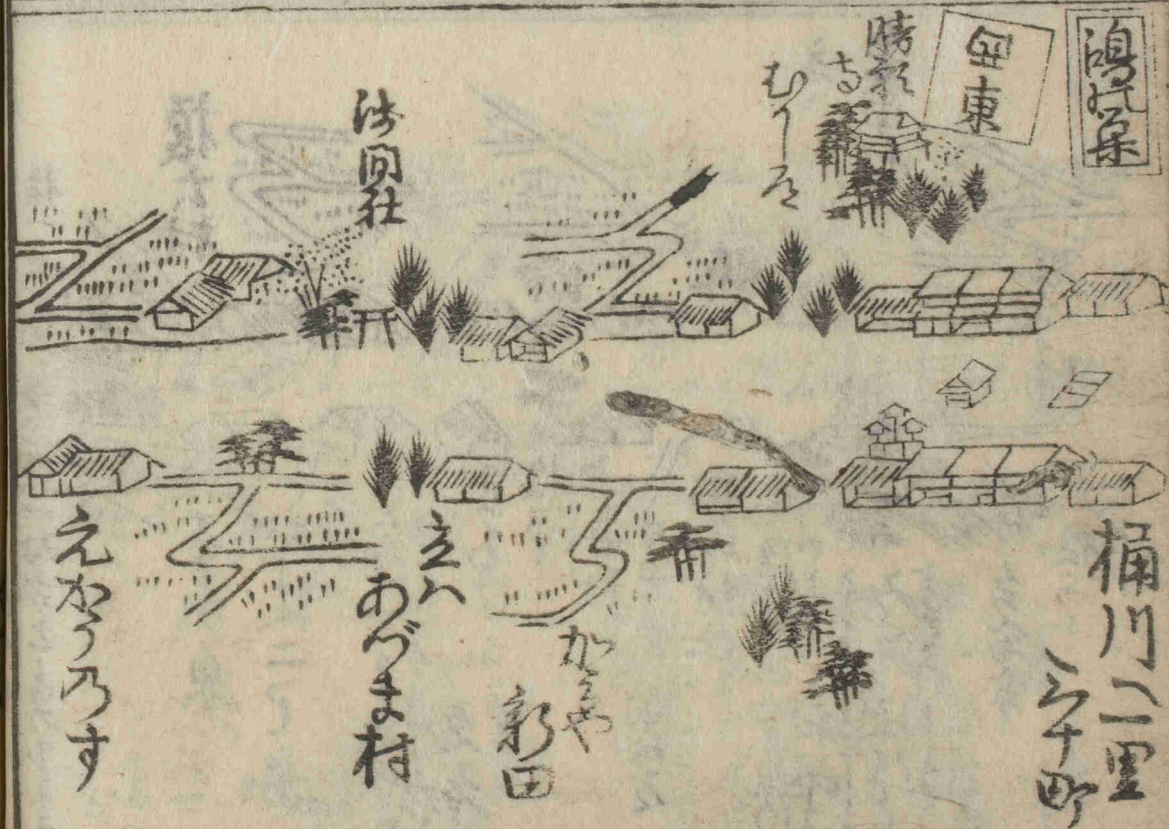


外之の山門にありありと
まの道ハ山門と一の具居と二
あり一は名を山門とす
を式とて山のふもとハ町方
の名をうけて候とてれま
ハ山門より一歩をうけるなり

外宮

市に横は橋のあそび多し
 あり早下り兵具伝を多
 し入るものと横を市川のきき
 と鷹を射の市川をか橋社と
 おしとふふは市社とおし
 なるなり 市社 市社
 坂九丁あり 市社 市社

のほにあり 是より内宮へみ
 所よりたゞ一歩隔てたる所なり
 庫より一歩隔てたる所なり
 小田より一歩隔てたる所なり
 隣のふたつあるの山坂のたゞ一歩
 あり 右の山坂のたゞ一歩
 治部より所のたゞ一歩
 の道あり 中比治所のたゞ一歩
 葛巻石のたゞ一歩あり 牛石
 浦田のたゞ一歩あり 今在る
 太り 是れ方々林檎の店あり
 傍娘社 宇治橋のたゞ一歩
 あり 宇治川のたゞ一歩あり



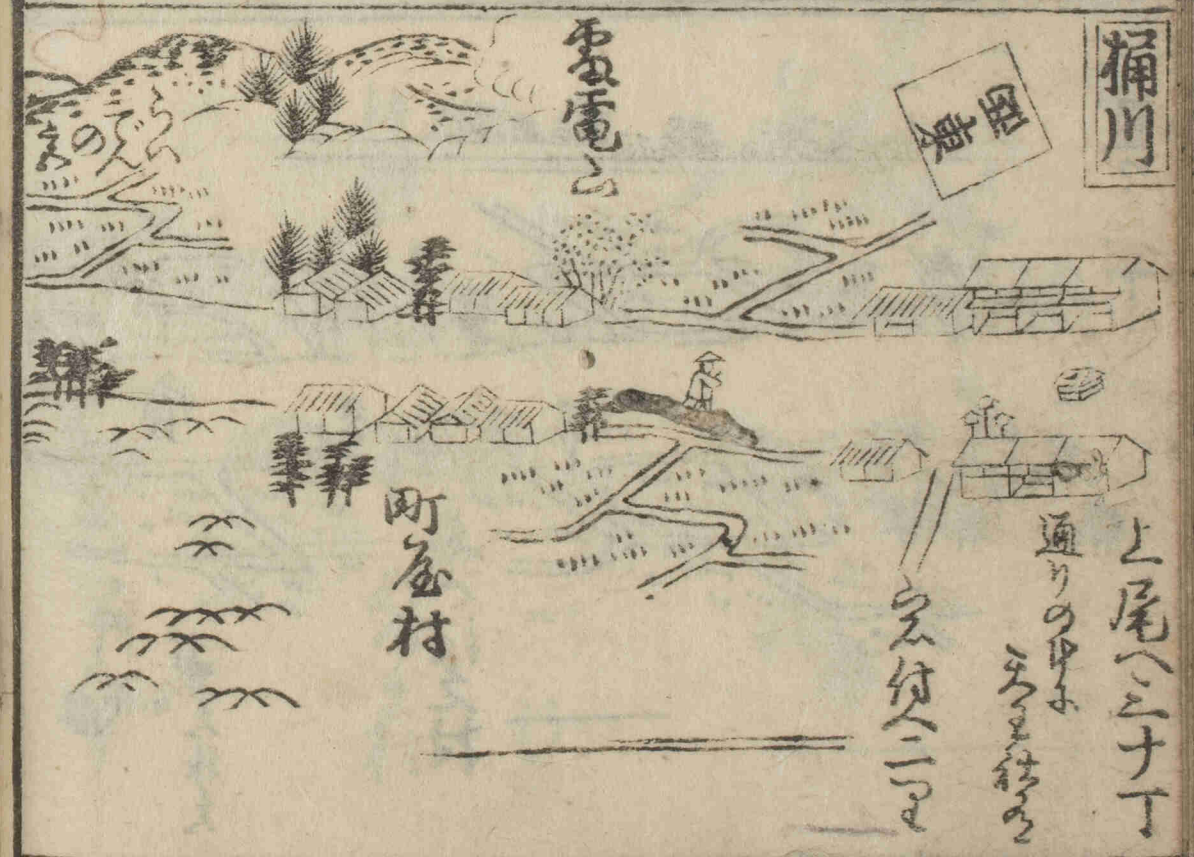
内宮

一二と所を居門と徑て伊を社
とぬーなる也 八十余社 傍
尾のおおみ千川の白にあり
内え系信終つてふと終り
宇治橋ふ下白き一 朝熊
寺不修人ふ山の秋のたき方
のふふ付て信ふ一

朝熊嶽

宇治の寺と宇治町あり 山と
勝寄の金剛堂とつて虚空
の寺なり 本堂の寺人
連珠の池と寺のふより富士
のふの寺あり 朝熊村人

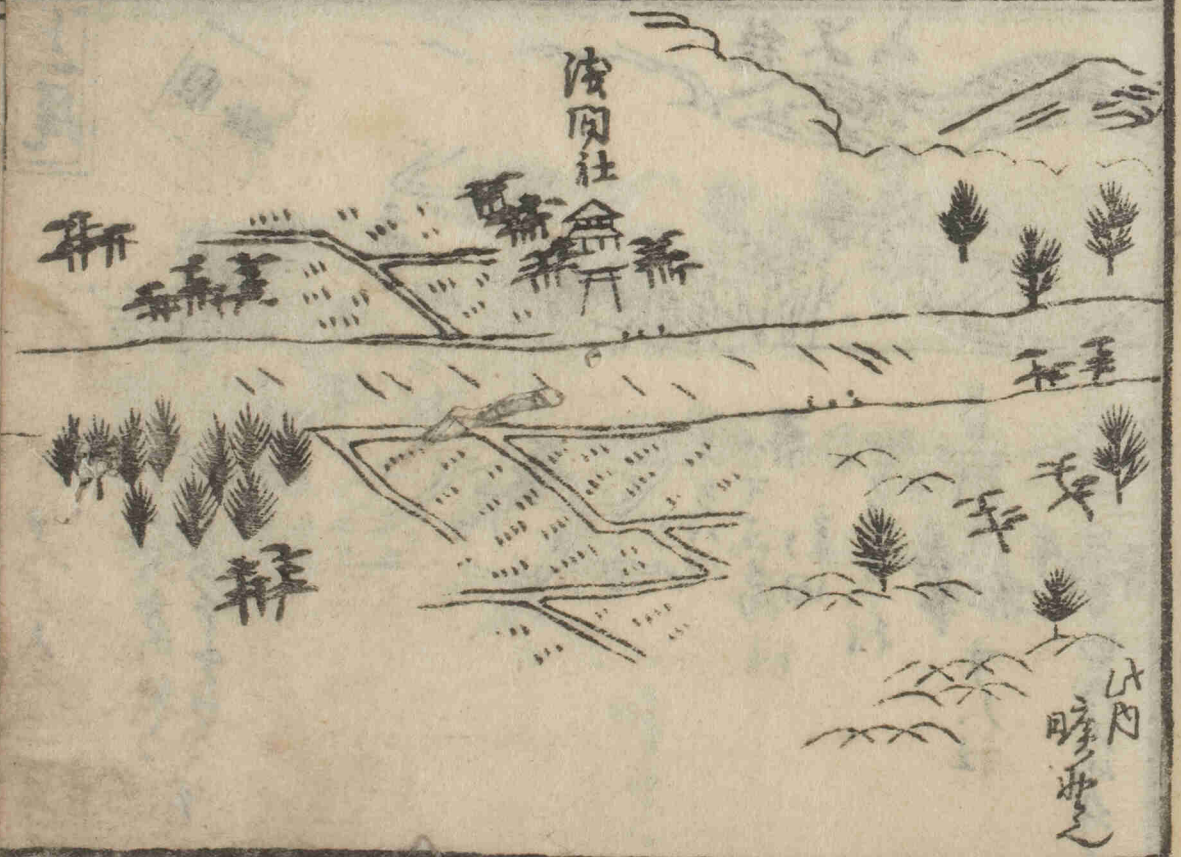
桶川



二見浦 二里

二見浦 二里 二見浦と二里あり 宇治町あり
朝熊村と一里あり 宇治町あり 朝熊村
たふ山国たふ海道あり 鹿嶋
村東のふれとふ朝熊村と朝熊
村より二見浦とふとふとふと
れハ一里あり 朝熊村とふと
ふとふとふとふとふとふと

川邊 ありあり 山国とふとふと
朝熊 二里あり 朝熊村とふとふと
朝熊あり 朝熊村とふとふと
のふとふとふとふとふとふと
ふとふとふとふとふとふとふと
ふとふとふとふとふとふとふと



伊雜宮 山田

宿より宴なりて津までり
のり終るとりけより宿次たの
むと

津

霍更
一里半
輕
字更

はの町より川とらふ橋あり
そとろけきうせいの川橋あり

다
長

陸田

實里

輕
百二石

九の方より愛宕とふ松あり
昔、松かけねといふとぞ

むくとも村ふるまてわはよく

那とて一里の地あり在ふ處ふ
の城よりむくりと八圓二重

園

乞下事御道なり

上尾

田東

松

大玄二里

土の方門越る
たの方定はる 有

校二

弄
子
新
田

三

開
益
社

五
如虎大傾

加茂村

杏好村

金華

同慶堂

五八
土子村

大津分大坂通

大津 佐へ
里半

本 百七十五
輕 百七十五
人 八十文

効修寺村のあちわ茶大龜山
長け誠呂て涼草むる方に
る也 故處 墨深持本所

京橋

本 百七十五
輕 百七十五
人 八十文

伏見 佐へ
里半

墨より大坂とてあちわ 佐堤
大橋百七十五里 多時街
るるれみちあり

淀 佐方へ
二里半

本 百七十五
輕 百七十五
人 八十文

橋本とて墨里けりふ八橋へあり
るありナナナあり

なまき

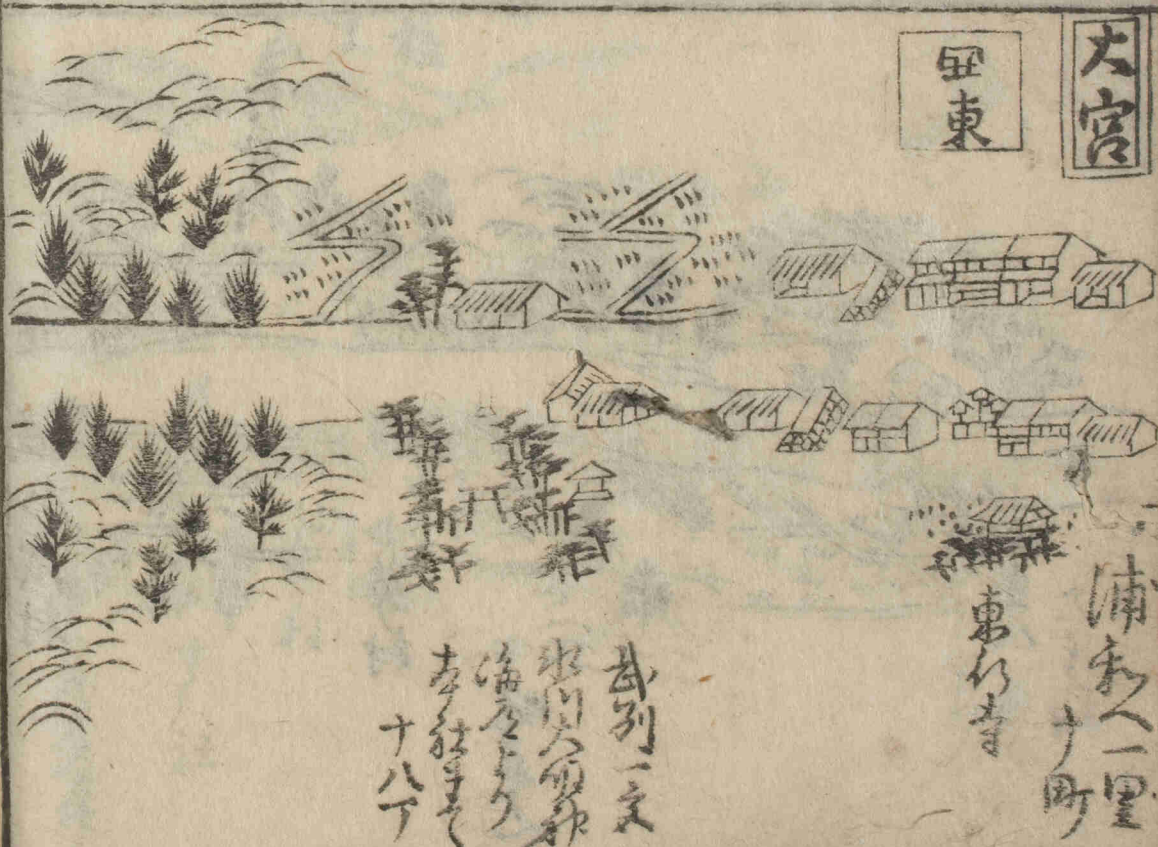
板方 佐へ
五里

本 二百七十五
輕 二百七十五
人 八十文

佐方村大津の社ありて寺あり
立場より板方より大坂へ
人足八里ありて淀より半より
大坂へ二里

大宮

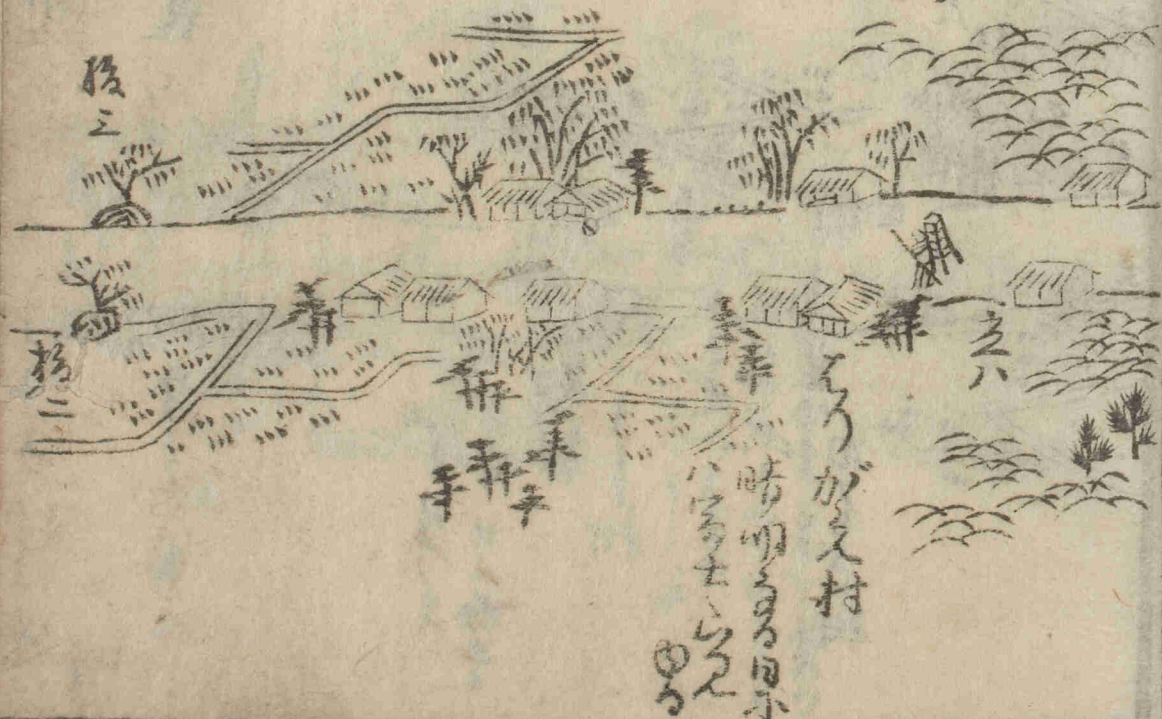
東



浦和へ二里
十町
東の寺

武列二文
水戸の御所
海老より
寺の御所
十八丁

大宮
系乃
乃乃
十町
十町



ろりがえ村
晴明の御所
八家士に
り

箱根十湯廻り とうの湯園所
 湯めぐりする人多し 湯に依りて
 下りかけの先づうとあるなり

釜の湯 御りたす 釜金人 申す

底金 まつて 宮の下 湯きき

堂の湯 湯の底 湯きき 湯の底 湯きき

湯本 湯きき 湯の底 湯きき

横よりと八中街あり

文分家名と海海士里

船賃附

乗合を金 一斗ふえ

ひろ一板 銭半斗ふえ

湯の湯 一斗ふえ 一人ふえ

湯の湯 一斗ふえ 一人ふえ

湯の湯 一斗ふえ 一人ふえ

湯の湯 一斗ふえ 一人ふえ

湯の湯 一斗ふえ 一人ふえ

箱

東

横根二里八丁

えりてび

堀村 とうとうと

戸田村 とうとうと

戸田村 とうとうと

戸田村 とうとうと

戸田村 とうとうと

戸田村 とうとうと



卷之五

A hand-drawn map of a village, likely a historical or fictional one. The map features several buildings, some with multiple stories, and a river flowing through the landscape. There are also trees and a small bridge. The map is labeled with Japanese text, including '新井' (Shinai) and '新井' (Shinai). The text is written in a stylized, calligraphic font. The map is oriented with the river at the top and the village below it. The overall style is that of a traditional Japanese woodblock print or a hand-drawn sketch.

下リ
四日市分をよは後海十里

船賃附
四日市分ハ五後より

米合をよお 六十六文

ひろを枚 四十六文

あひゆらふり 六十六文 米合をよ

換名一 六十六文 日

具足名一 六十六文 日

米十市法留お付 八十六文 一合をよ

本法をよ 百六十七文

米合をよ 百六十七文 二人おに

米合をよ 百六十九文 日

米合をよ 百六十九文 日

米合をよ 百六十九文 日

本曾路六十九次船賃附

本馬 輕鹿 人足

京 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

大津 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

京 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

守山 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

武佐 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

高文 三 百六十九文 百六十九文 八十五文

ちのり 九十二文
 ちのり 八十九文
 ちのり 八十九文

御定荷物貫目

一駄荷 三拾六貫目

糸掛下 十貫目より
十八貫目まで

軽尻の付 二貫目より
六貫目まで

人足荷 五貫目

妻鈴	八十二文	八十二文	八十二文
このり	百廿文	八十九文	八十二文
砂尻	百三十三文	百三十三文	百三十三文
次系	百廿文	百廿文	百廿文
上松	百廿文	八十九文	八十九文
あは	七十七文	八十九文	八十九文
文越	八十三文	八十九文	八十九文
救系	七十七文	八十九文	八十九文
あは	七十三文	八十九文	八十九文
焚川	九十九文	八十九文	八十九文
本山	三十一文	二十文	十六文
洗る	七十三文	八十九文	八十九文
塩尻	百廿文	百廿文	七十七文
下宿	二百廿文	二百廿文	二百廿文
和田	八十九文	八十九文	八十九文

東海道五十三次駄賃貫目

馬 軽尻 人足

目黒 九十九文 六十一文 八十九文

品川 百廿文 七十三文 八十九文

河崎 百廿文 七十三文 八十九文

鎌倉 百十九文 三十三文 二十文

新倉 百八文 六十九文 八十九文

戸塚 八十六文 八十八文 八十九文

荻沢 百廿文 百廿文 七十八文

平塚 三十三文 三十三文 十八文

大磯 百廿文 百廿文 九十九文

長久保	六十九文	八十九文	三十九文
あは	八十九文	三十九文	三十九文
八	三十九文	二十文	十六文
塩尻	八十九文	三十九文	三十九文
小田	八十九文	三十九文	三十九文
新倉	八十九文	三十九文	三十九文
書掛	八十九文	三十九文	三十九文
藤沢	八十九文	三十九文	三十九文
坂本	八十九文	三十九文	三十九文
新田	八十九文	三十九文	三十九文
安中	八十九文	三十九文	三十九文
板倉	八十九文	三十九文	三十九文
大磯	八十九文	三十九文	三十九文
大磯	八十九文	三十九文	三十九文

墨嶺	茂川	赤坂	涉油	赤田	二河	白浪	新居	赤坂	溪松
三十一	三十一	九十一	十	四十一	一	十	七	一	二
百七十八	七十八	百七十八	二十三	百十八	七十三	六十七	七十六	三十八	百七十八
百七十八	八十一	六十八	十六	七十八	四十七	四十七	八十一	三十一	七十九
百七十八	三十九	八十一	十二	八十七	三十九	三十九	三十九	三十一	六十一

旅之奇

たのむと名目少くせす

七十五

坂下 ニリ ナ	園 一ナ ナ	桑心 一ナ ナ	桑心 ニリ ナ	石菜 一ナ ナ	冒市 ニリ ナ	桑心 ニリ ナ	桑心 一ナ ナ	桑心 一ナ ナ	桑心 一ナ ナ
二百九文	百十七文	六十九文	八十文	三十文	百十七文	百十七文	百十七文	百十七文	百十七文
百十七文	七十三文	四十文	八十文	二十文	八十文	九十文	九十文	九十文	九十文
百十七文	八十文	三十文	四十文	十八文	六十文	七十文	七十文	七十文	七十文

本馬	又也 ^{上リ} 七百六十五文	又也 ^{下リ} 七百六十五文
輕尾	同 七百六十五文	同 七百六十五文
人足	同 七百六十五文	同 七百六十五文
寛政七卯七月改正増高引		
系都	里敷食自井田里半十二丁	
大井	三百六十五文	三百六十五文
石部	七百六十五文	七百六十五文
水口	七百六十五文	七百六十五文
本山	七百六十五文	七百六十五文

東海道千里友 模本 全一冊
 驛路幸次行程訪書并社社佛圖
 名不曰記故より東海道并社社佛圖
 外而よりより遠末を記す

本曾路安見繪巻 全一冊
 此巻は安見の地を記し、紙に墨
 定、社社佛圖、山城を付寄、村、山、
 小名、立場、桑、桑、桑、桑、桑、桑、
 桑、桑、桑、桑、桑、桑、桑、桑、

天明六丙午正月吉日
 日本橋南壹町目
 須原屋茂兵衛蔵

